

# 熊本大学構内遺跡発掘調査報告 XIII

(2013年度：1309調査地点)



2018

熊本大学埋蔵文化財調査センター







# 熊本大学構内遺跡発掘調査報告 XIII

(2013年度：1309調査地点)

2018

熊本大学埋蔵文化財調査センター





1. 1309調査地点出土遺物



2. 近代土坑墓群検出状況（北より）

## 序 文

本報告書は、2013年度の調査成果の一部である。

本報告書が対象とする黒髪南地区1309地点の近代土坑墓群から得られる知見は、熊本監獄・刑務所墓地の運用実態を示す貴重な事例である。とりわけ熊本監獄における合葬の実態を物語るものとして興味深い。近代史研究においても、文献資料をふまえたうえでの考古学的研究手法の有効性が高いことを如実に示すものといえよう。是非とも読者諸賢の吟味をお願いしたい。

熊本監獄については、熊本大学の前身である第五高等中学校の赤煉瓦の製造に囚人がかかわっていたことが、2015年度の発掘調査によって考古学的に明らかになっている。また、2016年度は熊本地震によって落下した赤煉瓦の調査を実施しており、その成果は本年度刊行の年報に記している。こちらにも関心をもっていただければ幸いである。

2017年度は、「熊本地震」の復興工事によって発掘調査が過密となったため、運営基盤管理部施設企画・施設管理をはじめとする関係部局の方々に例年ではない特段のご配慮をいただいた。関係部局の方々のご理解とご配慮に、記して深く謝意を表したい。

平成30年3月

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査センター

センター長 伊藤正彦

## 例　　言

1. 本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査センター（平成23年10月1日に「熊本大学埋蔵文化財調査室」より改組）が2013年度に実施した発掘調査の一部に関するものである。
2. 本書に収録した報告は、2013年度に埋蔵文化財調査センターが実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、1件の発掘調査に関する成果である。
3. 上記調査地点について、下記のとおり報告する。  
II章：黒髪南地区 1309調査地点
4. 以上の調査を実施した2013年度の埋蔵文化財調査センターの組織と調査体制は以下のとおりである。  
室　　長：木下尚子（文学部教授）  
調　　員：松田光太郎（センター准教授）・大坪志子（センター助教）・山野ケン陽次郎（センター助教）・柴田亮（技術補佐員）・浦辺栄治（技術補佐員）  
事務補佐員：大崎喜美子
5. 本文は、2章1節の一部を柴田が執筆した。人骨に関する所見、文章については、松下真実・松下孝幸両氏が執筆した。それ以外は全て山野が執筆した。
6. 本書に使用した遺構実測図は、柴田と山野が作成した。また、過去の調査地点については各報告書の遺構図を再トレースし使用した。
7. 本書に使用した遺物実測図・拓本は、井上裕美、小山正子、後藤恵、園田智子、吉留広が作成した。
8. 本書に使用した図版の製図はAdobe社の「Illustrator」と「Photoshop」を使用して、山野、柴田、鬼塚美枝、増井弘子がおこなった。
9. 遺構実測及び製図には手書きによる記録とともに、株式会社CUBICの遺跡実測支援システム「遺構くん」および製図システム「トレース3Dくん」を使用した。
10. 本書に使用した現場写真是1309調査地点を柴田が、1418調査地点を山野が撮影した。遺物写真是山野、江口路、末吉美紀、小山が撮影した。
11. 本書で使用した遺物観察表は、山野、首藤優子が作成した。
12. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財センターで保管している。出土人骨は2017年3月時点では土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムで保管している。
13. 本書で使用した調査地点配置図および遺構図の座標は世界測地系による。
14. 遺物番号として通し番号を1から付けており、写真図版中の番号はこれに一致する。
15. 出土した遺物への注記は遺跡略号+調査地点番号+出土遺構（位置）の順でおこなった。
16. 土層・遺物の色調観察は「小山正・竹原英雄編著『新版標準土色帖』日本色研事業株式会社」に基づく。
17. 本書の編集は山野・柴田がおこなった。

## 本文目次

### I 構内遺跡と調査の概要

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要 .....	1
2. 調査に至る経緯 .....	4
3. これまでの調査と本書収録の遺跡 .....	5

### II 黒髪南地区の調査

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新營その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)	
(1) 調査の目的と経過 .....	23
(2) 調査区の基本層序 .....	25
(3) 検出遺構 .....	28
(4) 出土遺物 .....	33
(5) 植物遺体 .....	46
(6) 本調査地点の土地利用に関する考察 .....	47
(7) まとめ .....	54
熊本市中央区黒髪町遺跡群1309調査地点出土の近代人骨 .....	58

## 挿図目次

図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000).....	2	35
図2 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000).....	24	36
図3 1309調査地点南壁土層断面図 (1/200) .....	26	37
図4 1309調査地点周辺土層模式図 (1/50) .....	26	38
図5 1309調査地点遺構配置図 (1/200) .....	27	40
図6 1309調査地点調査区西側遺構配置図 (1/150) .....	28	41
図7 1309調査地点調査区東側遺構配置図 (1/100) .....	30	42
図8 9909・0203・1309・1418調査地点遺構配置合成図 (1/500) .....	31	42
図9 1309調査地点蔵骨器出土状況図 (1/10・1/20) .....	32	44
図10 1309調査地点出土遺物実測図1 (1/4) .....	34	45
図11 1309調査地点出土遺物実測図2 (1/4)		47
図12 1309調査地点出土遺物実測図3 (1/4)		
図13 1309調査地点出土遺物実測図4 (1/4)		
図14 1309調査地点出土遺物実測図5 (1/4)		
図15 1309調査地点出土遺物実測図6 (1/3)		
図16 1309調査地点出土遺物実測図7 (1/2)		
図17 1309調査地点出土遺物実測図8 (1/2)		
図18 1309調査地点出土遺物実測図9 (1/2)		
図19 1309調査地点出土遺物実測図10 (1/2)		
図20 1309調査地点出土遺物実測図11 (1/2)		
図21 1309調査地点出土植物遺体 .....		

図22 昭和47年頃の熊本大学黒髪南地区における  
熊本刑務所墓地の位置 ..... 48

図23 熊本県監獄署附属埋葬地圖 ..... 53

## 図 版 目 次

- 図版1 1309調査地点 ..... 71  
 写真1 近代土坑墓群検出状況（北より）  
 写真2 近世烟壺検出状況（北より）
- 図版2 1309調査地点 ..... 72  
 写真3 調査区南壁土層断面1（北より）  
 写真4 調査区南壁土層断面2（北より）  
 写真5 調査区南壁土層断面3（北より）  
 写真6 松下孝幸先生指導風景  
 写真7 松下孝幸先生人骨取り上げ風景
- 図版3 1309調査地点 ..... 73  
 写真8 1号墓蔵骨器出土状況（方位不明）  
 写真9 2号墓蔵骨器出土状況（方位不明）  
 写真10 3号墓蔵骨器出土状況（方位不明）  
 写真11 4号墓蔵骨器出土状況（方位不明）  
 写真12 5号墓蔵骨器出土状況（方位不明）  
 写真13 7号墓蔵骨器出土状況（方位不明）  
 写真14 9号墓蔵骨器出土状況（方位不明）  
 写真15 10号墓蔵骨器出土状況（方位不明）
- 図版4 1309調査地点 ..... 74  
 写真16 11号墓蔵骨器群出土状況（南より）  
 写真17 12号墓蔵骨器群出土状況（北より）  
 写真18 13号墓蔵骨器出土状況（方位不明）  
 写真19 14号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真20 16号墓人骨出土状況（方位不明）
- 図版5 1309調査地点 ..... 75  
 写真21 16号墓銭出土状況（方位不明）  
 写真22 17号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真23 18号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真24 19号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真25 20号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真26 21号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真27 22号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真28 24号墓人骨出土状況（方位不明）
- 図版6 1309調査地点 ..... 76  
 写真29 26号墓人骨出土状況（方位不明）

- 写真30 29号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真31 30号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真32 32号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真33 33号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真34 34号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真35 35号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真36 36号墓人骨出土状況（方位不明）
- 図版7 1309調査地点 ..... 77  
 写真37 37号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真38 41号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真39 42号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真40 45号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真41 46号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真42 48号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真43 51号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真44 56号墓人骨出土状況（方位不明）
- 図版8 1309調査地点 ..... 78  
 写真45 58号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真46 60号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真47 61号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真48 62号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真49 63号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真50 64号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真51 65号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真52 66号墓人骨出土状況（方位不明）
- 図版9 1309調査地点 ..... 79  
 写真53 67号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真54 68号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真55 72号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真56 73号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真57 74号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真58 75号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真59 76号墓人骨出土状況（方位不明）  
 写真60 80号墓人骨出土状況（方位不明）
- 図版10 1309調査地点 ..... 80

写真61	81号墓人骨出土状況（方位不明）	写真75	142号墓人骨出土状況（方位不明）
写真62	82号墓人骨出土状況（方位不明）	写真76	143号墓鉄製品出土状況（方位不明）
写真63	83号墓人骨出土状況（方位不明）	図版12	1418調査地点.....82
写真64	83号墓縫維検出状況（方位不明）	写真77	近代土坑墓検出状況（南より）
写真65	84号墓人骨出土状況（方位不明）	写真78	調査区南壁土層断面（北より）
写真66	84号墓縫維検出状況（方位不明）	図版13	1309調査地点出土遺物1.....83
写真67	85号墓人骨出土状況（方位不明）	図版14	1309調査地点出土遺物2.....84
写真68	96号墓人骨出土状況（方位不明）	図版15	1309調査地点出土遺物3.....85
図版11	1309調査地点.....81	図版16	1309調査地点出土遺物4.....86
写真69	109号墓鉄製品出土状況（方位不明）	図版17	1309調査地点出土遺物5.....87
写真70	111号墓人骨出土状況（方位不明）	図版18	1309調査地点出土遺物6.....88
写真71	112号墓人骨出土状況（方位不明）	図版19	1309調査地点出土遺物7.....89
写真72	115号墓青銅製品出土状況（方位不明）	図版20	1309調査地点出土遺物8.....90
写真73	120号墓人骨出土状況（方位不明）	図版21	1309調査地点出土遺物9.....91
写真74	136号墓人骨出土状況（方位不明）		

## 表 目 次

表1	熊本大学歴史地理文化財包蔵地指定一覧表	表4	資料数.....59
	.....1	表5	年齢区分.....59
表2	既往調査地点と本書収録調査地点一覧表	表6	1309調査地点出土人骨・埋葬遺構一覧表
	.....6		.....60
表3	明治13年から昭和15年における熊本監獄・刑務所の死亡人数一覧表.....51	表7	1309調査地点出土遺物一覧表
			.....63



## I 構内遺跡と調査の概要



## 1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪（北・東・南）地区・宇留毛地区・本荘（北・中・南）地区・大江地区・渡鹿地区・京町地区・城東地区および新南部地区の8地区、市外の益城地区・合津地区的2地区の計10地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表1）。本章ではこのうち、本書で報告する黒髪南地区的1309調査地点を含む「黒髪町遺跡群」について詳細を述べる。

熊本大学の法学部・文学部・教育学部・工学部・理学部などが設置されている黒髪地区は、黒髪町遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No8-88）に含まれている。本遺跡は、熊本市市街地の北東にそびえる立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面に位置しており、西を坪井川の造る中位段丘、南を白川右岸の低位段丘によって囲まれる。遺跡の範囲は東西約900m、南北約1000mであり、縄文時代から近代に至る遺構・遺物を包蔵している。

遺跡の発見は昭和10年（1935：以後和暦の後の括弧内に西暦を付す）、大学に隣接する熊本県立中学済々賀（現済々賀高等学校）の校庭から弥生時代の壺棺2基などが見つかり、下林繁夫・小林久雄により調査されたことに始まる（田添夏喜1986）。戦後、昭和40年（1965）には隣接する九州女学院（現ルーテル学院中学・高等学校）敷地内で、弥生時代中期の壺棺や古墳時代の須恵器壺などが発見され、遺跡的重要性が再認識された（笠置1971）。埋蔵文化財調査センター（または埋蔵文化財調査室）による発掘調査でも、黒髪南地区的北西に位置する9704調査地点において弥生時代中期後半の須恵式と黒髪式を用いた壺棺墓群が見つかった（小畠・大坪編2008）。その後、0206調査地点でも汲田式の壺棺墓1基が発見され（大坪編2014）、1121調査地点でも黒髪式の壺棺墓が1基検出された（大坪編2013）。これにより熊本大学構内も含めて弥生時代中期の墓域が広範囲にわたり確認できることが判明した。このように本遺跡は弥生時代中期の中九州に主として分布する「黒髪式土器」の標識遺跡として著名である。加えて、昭和58年（1983）に実施された済々賀高等学校内における調査によっ

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表

No.	地区名（学部等名）	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区（法・文・教等）	熊本市中央区黒髪2丁目40-1			縄文・弥生・奈良・平安・近世・近代	
2	黒髪東地区（教育学部附属特別支援学校）	熊本市中央区黒髪2丁目17-1	黒髪町遺跡群 集落址・墓地			
3	黒髪南地区（工・理）	熊本市中央区黒髪2丁目39-1				
4	宇留毛地区（学生寄宿舎・職員宿舎等）	熊本市中央区黒髪7丁目	宇留毛特社周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・平安	
5	本荘北地区（医学部附属病院・医学部等）	熊本市中央区本荘1丁目1-1	本荘遺跡	散布地・集落址・墓地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世・近代	
6	本荘中地区（発生医学研究所・エイ・文学研究所等）	熊本市中央区本荘2丁目21	（熊大病院敷地遺跡）			
7	本荘南地区（保健学科等）	熊本市中央区久品寺4丁目24				
8	大江地区（薬学部等）	熊本市中央区大江町5-1	官衛址		周辺遺跡	
9	渡鹿地区（課外活動施設）	熊本市中央区渡鹿4丁目1-1	大江遺跡群	集落址	奈良・平安	
10	渡鹿地区（職員宿舎）	熊本市中央区渡鹿1丁目16				
11	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市中央区京町本1丁目12	京町台遺跡群	集落址	弥生・近世	
12	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市中央区城東町59	熊本城址	城址址・熊本城周辺遺構		
13	新南部地区（教育学部新南部農場）	熊本市東区新南部6丁目58	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
14	益城地区（地域共同ラボラトリ）	上益城郡益城町田原2081-7	上原ノ平遺跡	散布地	縄文～中世	
15	合津地区（沿岸域環境科学教育研究センター）	上天草市松島町合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度調査により貝塚でないと判明

\*遺跡の種類・時代は近年の調査成果を反映させた。

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

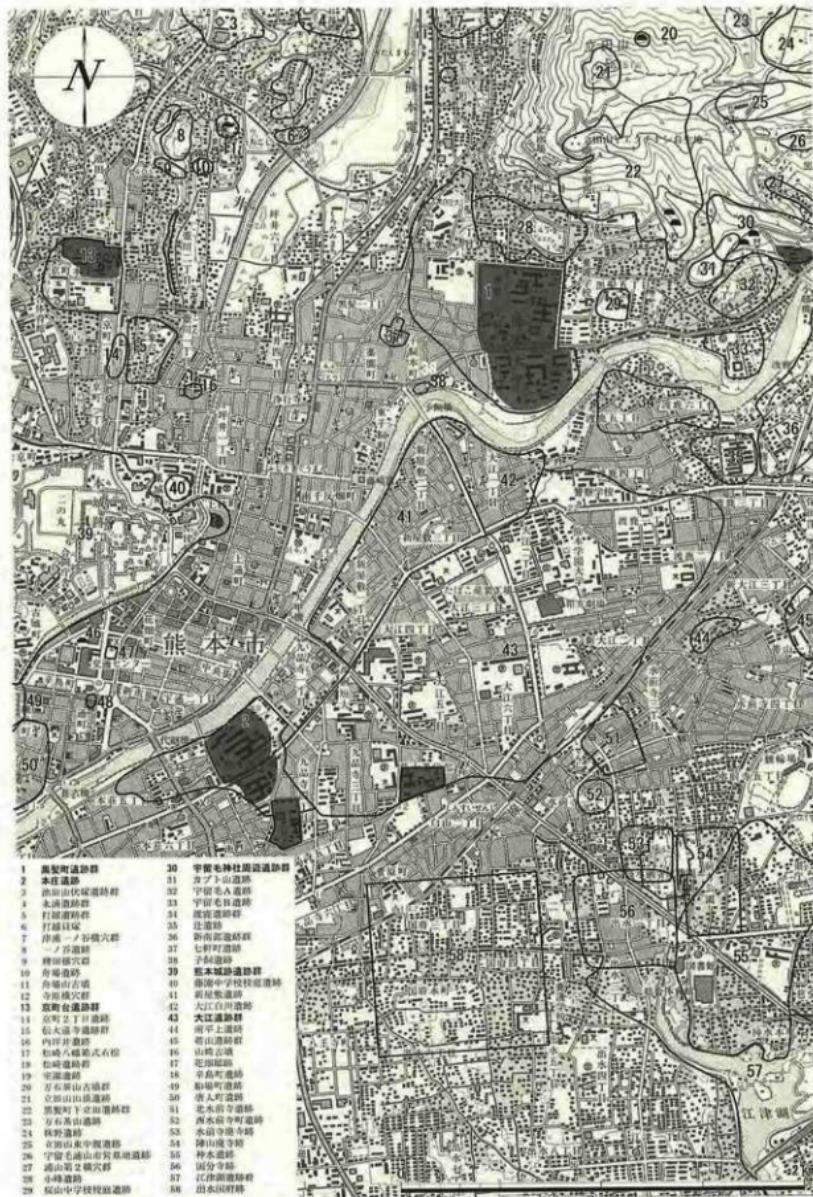


図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)

て、古代の堅穴住居址や「寺門」銘の墨書き土器が出土するなどし（田添 *ibid*）、古代飽田郡における提点的性格をもつ遺跡である可能性が示されるようになった（新熊本市史編纂室編1996）。また、同地域は古代の官道や駅伝制の研究上、「延喜式」に記された西海道上の駅である「蚕養駅」、あるいは旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1979・木下1995）。鶴嶋俊彦は肥後國北部の古代官道について分析する中で、本センターによる黒髪南地区9603調査地点における発掘成果を受け、南北方向に走る2本の溝が駅路の側溝であるとの見解を示し、周囲の掘建柱建物との関係性も含め、熊本大学構内に蚕養駅の駅家が存在した可能性に言及した。近年の大学構内の調査では、黒髪北地区や南地区から古代の堅穴住居や掘建柱建物が広い範囲に確認されており、飽田郡家や駅家に関連する集落と考えられる。さらに、濟々榮高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司建部公の居所であり、飽田郡家として比定されるなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡群は古代律令制下の駅伝制を考え上できわめて重要である。

また本遺跡では、熊本市教育委員会や当センターにおける調査の蓄積により縄文時代の文化層が広い範囲で確認されている。黒髪北地区9802調査地点（小畠編2009）や黒髪南0302調査地点（小畠・大坪編2011）では縄文時代早期の押型文土器や条痕文土器が当時地山と考えられていた土層中から出土した。その後の黒髪地区の各調査地点では、古代の包含層中や地山と想定していた土層から縄文時代後・晚期の土器が少ないうながらも発見されている。このほか、2006年に熊本市教育委員会により実施された黒髪町遺跡群第4次調査では、阿高式土器や南福寺式土器が一定量得られており、遺構の検出こそなかったものの、小規模な集落の端部に位置するものと報告されている（美濃口編2008）。このように縄文時代の資料が増加する中、2013・2014年度には大きな調査成果が得られた。黒髪南地区的東側、理学部棟周辺のライフライン再生工事に伴う発掘調査が実施され、白川右岸の平野部から出水式・御手洗A式土器を主体とする文化層と、配石墓に埋葬された縄文人骨などが発見された（山野編2016）。御手洗A式土器は西北九州から中九州にかけて分布する縄文時代後期前葉の土器だが、出土数が少なく全容が不明瞭であった。本調査成果が、後前葉の土器の詳細と集落や文化様態の解明の一助となると思われる。また、縄文人骨が貝塚や洞穴遺跡などの人骨が残存しやすい立地・条件下ではなく、平野部で発見されたことも重要である。人骨は矮小な調査区から3体検出されており、周囲が墓域であったと考えられる（山野2015）。詳細については次年度以降に報告予定である。

近年では本地區における近代の調査事例でも重要な成果を得ることができている。熊本大学の黒髪北地区は明治23年（1890）に設立した第五高等中学校・高等学校の敷地を引き継いでおり、その南側に対面する黒髪南地区は明治39年（1906）に設立した熊本高等工業学校の敷地を含む。そのため、大学構内には明治から大正にかけての煉瓦建築物が複数現存している。このうち黒髪北地区に所在する五高記念館、化学実験場、正門と、黒髪南地区に所在する工学部研究資料館はいずれも煉瓦造りで国の重要文化財に指定されている。また、黒髪南地区的本部棟（旧熊本高等工業学校本館）は大正期に建てられた初期の鉄筋コンクリート建築であり、登録有形文化財に登録されている。2015年度にはこの建物周囲の発掘調査を実施しており、周辺から煉瓦の基礎が広い範囲で発見された（山野編2016）。これらは明治41年（1908）に竣工した熊本高等工業学校日本館の建物基礎であることが判明し、周囲からはこの建物が大正12年（1923）に全焼した際の溶けたガラスや木片、生活道具などが出土した。この他、黒髪北地区1528調査地点では第五高等学校の寮である「習業寮」の浴室・炊事場の煉瓦基礎が確認され、レンガに「熊本監獄製造印」が押されていることが確認できた（松田・大坪編2017）。これら煉瓦の積み方や刻印、法量などは近代熊本の建築や煉瓦生産の実態について様々な知見を与えてくれる。

## 2. 調査に至る経緯

以上、熊本大学黒髪地区について遺跡の概要と近年の調査成果について触れた。黒髪地区を含む黒髪町遺跡群は縄文時代から近代の遺物・遺構を包含する複合遺跡であり、その内容は多岐にわたっている。本報告においては、黒髪南地区1地点の発掘調査記録を収録している。

## 2. 調査に至る経緯

熊本大学の熊本市内の校地は先に示したように8地区に分散しており、どの校地も狹隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年（1985）に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区的医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成5年（1993）に現地再開発することが決定され、全学が現地で再開発に取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などにより古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成5年（1993）10月から黒髪南地区において総合情報統括センターの建設工事が始まった際、熊本市文化振興課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成5年4月1日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成6年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも9月または10月頃から調査を開始することとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となつてもうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始まられた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略す）を設けることになった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」と略す）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成6年（1994）4月7日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成6年5月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が開始した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元眞之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成6年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。

平成23年（2011）10月1日には、熊本大学埋蔵文化財調査室から、熊本大学埋蔵文化財調査センターとして発足した。これを契機とし、埋蔵文化財の発掘調査を主体的業務としながらも、「速報展示」や「地下の文化財散歩」の開催など、これまでの調査成果を用いた活用事業にも尽力している。

経緯の詳細については『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』等を参照されたい（以上、松田・大坪編2017を引用・一部改変）。

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

平成7年（1994）以後、平成28年（2016）3月末日まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表2のような調査が実施されてきた。本書はこの中から平成25年（2013）度に実施した黒髪南地区における（黒髪南）国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査（1309調査地点）について報告する。試掘・立会と小規模な調査などについては年報において既報告があるので、本書からは除外した。ただし平成26年（2014）度に実施した1418調査地点は1309調査地点に隣接した調査地点であり、一部遺構の検出を実施しているため、一括して報告する。

#### 引用・参考文献

- 大坪志子編 2013『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』IX 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第9集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 大坪志子編 2014『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』X 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第10集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘巳編 2009『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』V 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第5集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘巳・大坪志子編 2008『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』IV 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘巳・大坪志子編 2011『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』VI 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第8集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 笠置英行 1971「九州女学院遺跡」『熊本市北部地区文化財調査報告書』熊本市教育委員会
- 木下良 1979「第六節 肥後國」『古代日本の交通路』IV pp.99-130 大明堂
- 木下良 1995「肥後國府の変遷について」『古代文化』9-27 pp.1-19 古代学協会
- 新熊本市史編纂室編 1996『新熊本市史料編第1巻考古資料』新熊本市史編纂室
- 田添夏喜 1986『黒髪町遺跡多士会館敷地発掘調査報告 黒髪町遺跡』財団法人多士会館
- 鶴嶋俊彦 1997「肥後國北都の古代官道」『古代交通研究』第7号 pp.39-66 古代交通研究会
- 松田光太郎・大坪志子編 2017『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』XII 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第12集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 美濃口雅朗編 2008『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書集』平成19年度 熊本市教育委員会
- 山野ケン陽次郎 2015「熊本大学構内遺跡の発掘調査－縄文時代後期を対象に－」『第11回日韓新石器時代研究会発表資料集』pp.106-119 九州縄文研究会・韓国新石器学会
- 山野ケン陽次郎編 2016『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』21 熊本大学埋蔵文化財調査センター

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

表2 既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1994年度								
94-4-15~17	9401	(黒北) 暖熱施設(照明塔建設)工事	発掘調査	120m <sup>2</sup>	古代	古代土器部・埴輪器	年報1	
94-4-21	9402	(黒北・南) 基幹施設(教育学部エレベーター室建設)工事	発掘調査	475m <sup>2</sup>	現代	ガラス・鏡・骨器	年報1	
94-4-25	9403	(黒北・南) 地区基幹整備(工学部エレベーター室建設)工事	発掘調査	48m <sup>2</sup>		包含層確認・土器片	年報1	
94-5-13~14	9404	(黒北) 福利施設建設予定地の標木移植	立会調査	20m <sup>2</sup>	古代	拠支土器・焼成土器・埴輪器・土	年報1	
94-5-17~6-25	9405	(京町) 聖高校中学校舎建設工事	立会調査	400m <sup>2</sup>	近代・近世	拠支土器・焼成土器・埴輪器・瓦・ガラス瓶	本報告1	
94-5-20~23~24	9406	(黒北) 武夫原運動場整備(集水構築)工事	発掘調査	100m <sup>2</sup>	古代		年報1	
94-5-23~7-28	9407	(黒北) 福利施設建設工事	立会調査	1290m <sup>2</sup>	古代		本報告1	
94-6~8~10~10	9408	(酒衛) グラウンド下水新設整備工事	立会調査	494m <sup>2</sup>	古代	土器器	本報告1	
94-8-11	9409	(黒北) 武夫原駅前岸壁工事・外灯基礎工事	立会調査	234m <sup>2</sup>		包含層に達せし遺物なし・土器器	年報1	
94-8-12	9410	(京町) 駒木中学校延引き込み配溝工事	立会調査	13m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報1	
94-9-22	9411	(黒北) 基幹施設(関国音韻学スロープ建設)工事	立会調査	25.5m <sup>2</sup>		包含層に達せし・遺物・遺物なし	年報1	
94-9-22~10-31	9412	(黒北) 工字の美術棟新設工事	立会調査	7438m <sup>2</sup>	古代	古代空穴柱脚・古代土器器・埴輪器・瓦・土製器・瓦器・鐵器・石器	本報告1	
94-11-11~12-22	9413	(酒衛) グラウンド整備工事	立会調査	200m <sup>2</sup>	韓文・古代	古墳型空柱脚・道路跡・古代土器器・包含層・遺物・石器	本報告1	
95-1-17~21	9414	(黒北) 福利施設建設工事	立会調査	169m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報1	
95-1-19~11-1	9415	(黒北) 工学部同潤排水渠	立会調査	50m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報1	
95-2-27	9416	(城東) 霧氣站掘削排水管敷設工事	立会調査	1297m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報1	
95-3-15~23	9417	(黒北) 福利施設工事						
1995年度								
95-4-25~5-2	9501	(黒北) 工学部研究実験棟新営1期共同溝建設工事	発掘調査	90m <sup>2</sup>	古代・近代	古代堅穴住居跡・柱穴・窓・鐵・甕・甌・土器土器片・古代土器器	本報告1	
95-5-9~10	9502	(黒北) 工学部附属工機器センター新設工事	試掘調査	20m <sup>2</sup>	古代	包含層確認・古代土器器・埴輪器	年報2	
95-5-15~16	9503	(黒北) 工学部I期研究実験棟建設及び基礎調査	試掘調査	20m <sup>2</sup>	古代	甕・古代土器器・埴輪器	年報2	
95-5-29~30 6-21	9504	(黒北) 工字研究実験棟新設電気設備(その2)に伴う掘削	立会調査	38m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報2	
95-6-21	9505	(黒北) 工字低圧送信設備設置	立会調査	14m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報2	
95-8-22	9506	(黒北) 施事場内外打配修改	立会調査	10m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報2	
95-9-8~10-12	9509	(町) 球形電気風扇新設工事所新設施設改修工事	発掘調査	298m <sup>2</sup>	韓文	甕・古代土器器・石器	年報2	
95-11-2	9510	(黒北) 工学部研究実験棟新設看守1期に伴うガス配管	立会調査	10m <sup>2</sup>	古代	古墳含蓄層確認・古代土器器	年報2	
95-11-6~8	9511	(本荘) 医学生宿舎合せ寮遣伝子実験施設建設及び石切り口上	試掘調査	200m <sup>2</sup>	古代	古代含蓄層確認・堅穴住居跡・古代土器器・埴輪器	年報2	
95-11-13~16	9512	(黒北) 工学部研究実験棟新営1期に伴う排水管敷設	発掘調査	60m <sup>2</sup>	古代	古代堅穴住居跡・柱穴・包含層・鐵・甌・土器土器片・古代土器器・埴輪器	本報告1	
95-11-17	9513	(黒北) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査			遺物・遺物なし	年報2	
95-11-17	9514	(黒北) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古代	古代土器器・埴輪器片	年報2	
95-11-21~22	9515	(黒北) 工学部I期研究実験棟建設に伴う基礎調査	立会調査		古代	古代土器器・埴輪器	年報2	
95-11-22	9515	(黒北) 工学部I期研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古代	包含層確認・古代土器器	年報2	
95-11-24	9516	(本荘) 医学生宿舎合せ寮遣伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含層確認・遺物・遺物なし	年報2	
95-11-28~29	9516	(黒北) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	発掘調査	72m <sup>2</sup>	韓文・古代	古代含蓄層確認・堅穴住居跡・古代土器器・埴輪器	本報告1	
95-12-1	9511	(本荘) 医学生宿舎合せ寮シテー遣伝子実験施設建設に伴う立会調査	立会調査			包含層確認・遺物・遺物なし	年報2	
95-12-4	9517	(本荘) 医学生宿舎合せ寮シテー遣伝子実験施設建設に伴う樹木	立会調査			遺物・遺物なし	年報2	
95-12-5	9518	(黒北) 工学部I期研究実験棟建設工事に伴う外溝工事	立会調査	10m <sup>2</sup>	古代	古代柱穴・甕・古代土器器・埴輪器	年報2	
95-12-12~14	9519	(黒北) 工学部研究実験棟新営1期に伴うガス配管	立会調査		古代	包含層確認・古代土器器	年報2	
95-12-18	9520	(黒北) 敷養部前道路改修	立会調査	10m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報2	
95-12-25~ 96-2-22	9521	(本荘) 医学生宿舎合せ寮シテー遣伝子実験施設建設	立会調査	976.9m <sup>2</sup>	韓文・古代	古代堅穴住居跡・獨立柱建物・甕・瓦・石器・柱穴・瓦器・土器・石器・古代土器器・埴輪器	本報告1	
96-3-1	9521	(黒北) 工学部新設	試掘調査		弥生	先史土器・ビット・先史中期土器	年報2	
96-3-8	9522	(黒北) 文法学部・第五高等學校記念館新築工事	立会調査		古代	包含層確認・古代土器器	年報2	
96-3-21	9523	(城東) 教育部附属基盤施設西造2階並足洗い場設施改修	立会調査			遺物・遺物なし	年報2	
96-3-25~26	9524	(京町) 教育部附属小学校給排水管敷設工事	立会調査	27.6m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報2	
1996年度								
96-4-19	9601	(本荘) 医学生宿舎建設	試掘調査	33m <sup>2</sup>	古代	古代包含層・甕・古代土器器・甕	本報告N	
96-5-10	9602	(黒北) 法文学部記念修繕	立会調査	1m <sup>2</sup>		遺物・遺物なし	年報3	

96・5・10~6・24	9001	〔黒巣〕工学部校舎建設	発掘調査	1000m <sup>2</sup>	縄文・弥生 ・古代	縄文初期後半層・古代銅文化層 ・第一回柱基礎・土器・貝灰 ・縄文中期土器・後半中空土器・古 代土器類・須恵器・執器・瓦	本報告書 年報3
96・5・13	9004	〔黒巣〕教育学部ATMネットワーク付設工事	立会調査	80m <sup>2</sup>	近・代	遺構・遺物なし	年報3
96・5・14	9005	〔京町〕教育学部附属小学校ATMネットワーク付設工事	立会調査	14m <sup>2</sup>	古代施設	遺構・遺物なし	年報3
96・5・15	9006	〔大江〕農業系ATMネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報3
96・6・17	9007	〔黒巣〕法文学部新図書館工事	立会調査	4m <sup>2</sup>	古・代	一部柱基確認。古代頃遺物	年報3
96・6・19	9008	〔黒巣〕工学部川崎棟配線工事	立会調査	21m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
96・8・5	9009	〔黒巣〕人材探査室建設工事(試験)	発掘調査	4m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
96・8・6~9	9010	〔本庄北〕医学部校舎建設に伴う骨木移植・野木橋建設工事	発掘調査	45.7m <sup>2</sup>	古墳・古代	古墳時代前期後半層・古代堅 穴柱基礎・古墳時代土器・古代 七輪器・須恵器	本報告書 年報3
96・8・22~27	9011	〔本庄北〕医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設(4区)	発掘調査	37.4m <sup>2</sup>	古・代	堅穴柱基礎・柱灰・古代土器等・ 須恵器	本報告書 年報3
96・8・29~30	9012	〔本庄北〕医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設(5区)	発掘調査	28.2m <sup>2</sup>	古・代	堅穴・古代土器類・須恵器	本報告書 年報3
96・9・6	9013	〔黒巣〕教育部新図書館建設	試掘調査	9m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
96・10・1~9	9014	〔本庄北〕医学部校舎建設に伴う排水管等引込み工事(6区)	発掘調査	104.2m <sup>2</sup>	古・代	古代遺構・堅穴柱基礎・古代土器 等・須恵器	本報告書 年報3
96・10・11~ 97・1・17	9015	〔本庄北〕医学部化合物水槽工事(本調査区)	発掘調査	1.096m <sup>2</sup>	縄文・古墳	縄文文化層・古墳土壤・古代出 土品・堅穴柱灰・柱灰柱灰・土器 ・古代墓地・縄文瓦製土器・古墳 ・古代土器等・須恵器・執器・石 器	本報告書 年報3
96・10・21~29	9016	〔本庄北〕医学部校舎建設に伴う排水管等引込み工事(7~8~9 区)	発掘調査	62.5m <sup>2</sup>	古・代	古代堅穴柱基礎・堅・古代土器等 ・須恵器	本報告書 年報3
96・11・12~13	9017	〔本庄北〕医学部校舎建設に伴う排水管等引込み工事(10区)	発掘調査	21.8m <sup>2</sup>	古・代	古代堅穴柱基礎・古代土器等・堅 等	本報告書 年報3
96・11・12	9018	〔黒巣〕工学部外灯設置工事	立会調査	0.4m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
96・12・18	9019	〔黒巣〕工学部外部廃棄物処理工事	立会調査	71.8m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
97・3・3~31	9020	〔黒巣〕工学部研究施設新設工事(新幹研究所建設工事)	立会調査	175m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
97・3・7	9021	〔黒巣〕工学部新エネルギー実験室火薬庫取扱工事	立会調査	10.0m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
<b>1997年度</b>							
97・4・8	9201	〔本庄北〕医学部機械リサイクル教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21m <sup>2</sup>		一部配管を複数・遺構なし・古 代土器等	年報4
97・5・7	9202	〔明南〕理学部ハーリウム標準塔・ハーリウム管理設置工事	立会調査	126.6m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報4
97・5・28	9203	〔本庄北〕医学部外壁表面研究床底血成形装置等取扱工事	試掘調査	4m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報4
97・7・28~11・4	9204	〔黒巣〕工学部校舎新設工事	発掘調査	1.823m <sup>2</sup>	縄文・古・代	生存・古代堅穴柱基礎・古代堅穴柱 ・須恵器・縄文瓦製土器・柱灰 ・古代墓地・須恵器・執器・石器 ・代土器等・近世陶器	本報告書 年報4
97・10・29	9205	〔本庄北〕医学部機械リサイクル教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	26m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報4
97・10・22	9206	〔黒巣〕法文学部専用施設改修建立	立会調査	12.2m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報4
97・11・11~	9207	〔本庄北〕医学部基礎研究施設別館改修工事	立会調査	370m <sup>2</sup>	古代・古 代	近代墓地・古代土器・柱穴・壺・ 人骨・墓石等・古代土器	年報4
98・3・31	9208	〔黒巣〕工学部外灯設置改修工事	立会調査	17.5m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報4
98・1・30~2・12	9209	〔黒巣〕法・文・教育学部外灯設置改修工事	立会調査	61.9m <sup>2</sup>	古・代	遺構・遺物なし	年報4
98・2・9~2・13	9210	〔黒巣〕管路係楽場6号管路取り扱い工事	立会調査	116m <sup>2</sup>	古・代	一部管路を修理・遺構なし・堅 化した古代土器	年報4
<b>1998年度</b>							
98・4・14	9301	〔黒巣〕工学部校舎建設に伴う排水管等工事	立会調査	8m <sup>2</sup>		掘削により遺構なし	年報5
98・6・26~7・2	9302	〔本庄北〕医学部分子生物学研究センター・動物資源開発センター 新ガス支管配管改修工事	立会調査	24m <sup>2</sup>	古・代	遺構・遺物認められず	年報5
98・7・6	9303	〔本庄北〕同前・耐震改修工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報5
98・7・13	9304	〔黒巣〕工学部3号超臨界気体改修工事	立会調査	3m <sup>2</sup>	古・代	遺物合層を認定	年報5
98・7・28~9・10	9305	〔本庄北〕医学部分子生物学研究センター・動物資源開発セン タ新改修工事	試掘調査	97.2m <sup>2</sup>	縄文・古墳	堅穴柱基礎・柱灰・須恵器・古 代土器等・近世陶器	本報告書 年報5
98・9・21~22	9306	〔黒巣〕文化部叢書工芸に伴う無塗装木工事	立会調査	9m <sup>2</sup>		遺物・遺構なし	年報5
98・9・25~11・6	9307	〔黒巣〕工学部新エネルギー実験室火薬庫改修工事	発掘調査	57.6m <sup>2</sup>	縄文・古 代	管路改修・無塗装木・漆・土器等 ・石器・遺構・遺物合層	本報告書 年報5
98・9・28	9308	〔本庄北〕大学病院新診療所に伴う無塗装木工事	立会調査	10m <sup>2</sup>		遺物・遺構なし	年報5
98・9・29	9309	〔本庄北〕大学東京中央歴史唯物論研究室改修工事	試掘調査	5m <sup>2</sup>		河岸砂礫層を検出・遺構・遺物な し	年報5
98・9・30	9310	〔本庄北〕大学病院新築附属施設等改修工事	試掘調査	2m <sup>2</sup>	古・代	遺物・遺構・柱灰・須恵器・古 代土器等	年報5
98・10・6	9311	〔黒巣〕工学部3号超臨界気体改修工事	立会調査	30m <sup>2</sup>		遺構面に迷子・遺物なし	年報5
98・10・28~ 11・20	9312	〔本庄北〕大学病院新築附属施設等改修工事	発掘調査	175m <sup>2</sup>	古・代	縄文土器・石器等・古代堅穴柱 ・須恵器・遺構	本報告書 年報5
98・11・2	9313	〔本庄北〕医学部エコシステム研究センター・動物資源開発セン タ新改修工事	試掘調査	128m <sup>2</sup>		掘削により遺構なし	本報告書 年報5
98・12・14~18	9314	〔黒巣〕理学部新研究新施設改修工事	立会調査	35m <sup>2</sup>	古・代	遺物・遺構・柱灰・須恵器・古 代土器片	年報5
98・12・16	9315	〔黒巣〕文化部新蔵書工芸に伴う無塗装木工事	立会調査	35m <sup>2</sup>	古・代	遺構・遺構・遺物・遺物なし	年報5
98・12・17~	9316	〔本庄北〕大学病院新築新官に伴う支管配管改修工事	立会調査	330m <sup>2</sup>	古・代	堅穴柱基礎・古土器・漆	年報5
99・1・12	9317	〔黒巣〕工学部実験更設改修工事	試掘調査	14m <sup>2</sup>	縄文・古 代	遺物・遺構・柱灰・須恵器・古 代土器	年報5

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

99-1-21~3-25	9810 (黒南) 理学部自然科学研究会実験棟新設工事	発掘調査	1,080m <sup>2</sup>	羅文・古代 離文化土器、石器等、古代竖穴住居 柱・柱穴、近世酒造	本報告V
99-2-2	9802 (黒北) 環境整備事業に伴う文化施設整備	立会調査	280m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報5
99-2-10	9802 (黒北) 環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	80m <sup>2</sup>	遺構面にはせず、遺物なし	年報5
99-2-18	9802 (黒北) 環境整備事業に伴う破壊工事	立会調査	12,3m <sup>2</sup>	地表下2mで弥生時代遺物を包含する 遺構面を確認。遺構・遺物なし	年報5
99-2-9~3-9	9802 (黒北) 環境整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	1m <sup>2</sup>	地表下90cmで水田土を検出。遺 構・遺物なし	年報5
99-3-11~12	9812 (大江) 西庭園地東側ブロック改修工事	立会調査	70m <sup>2</sup>	包含層・遺構面確認。遺構・遺物 なし	年報5
99-3-10~31	9801 (本荘北) 医学生エイズ学研究センター・動物資源開発研究、立会調査	発掘調査	575m <sup>2</sup>	吉・代 一部陪食層・遺骨層確認(ビット)・遺物なし	年報6
<b>1999年度</b>					
99-4-5~8-31	9901 (本荘北) 病院(袖) 施設工事	発掘調査	2,805m <sup>2</sup>	羅文・古墳 桶文化代石器・玉、古墳時代住居 ・古代・近・土器・土器窯・古代柱足・柱 穴溝・土壌層・土器窯・須恵器、 瓦器・陶芸窯・土器、近代洋	本報告X
99-6-14~7-14	9902 (本荘北) 医学生エイズ学研究センター・動物資源開発研究、立会調査	立会調査	40m <sup>2</sup>	古・代 古代柱穴、遺物を少量検出	年報6
99-6-17	9903 (黒南) 工学部研究施設II・新設工事に伴う建設工事	立会調査	10m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報6
99-7-19~26	9904 (本荘北) 医学生エイズ学研究センター・動物資源開発研究、立会調査	立会調査	2m <sup>2</sup>	古・代 遺構・遺物なし	年報6
99-7-29~7-30	9905 (黒南) 自然科学研究員・理学部综合研究実験棟新設工事	立会調査	20m <sup>2</sup>	遺物・遺構なし	年報6
99-7-2~8-7	9906 (黒南) 自然科学研究員・理学部综合研究実験棟新設工事	立会調査	200m <sup>2</sup>	古・代 古代6条・柱穴2個、古代土器群 少量・柱根	年報6
99-9-22~10-5	9907 (黒南) 工学部実験用プレハブ施設工事	発掘調査	136.5m <sup>2</sup>	羅文前期～ピット群、桃文化土器群上 地帯	本報告X
99-11-24~25	9908 (黒南) 副属施設校舎改修工事	試掘調査	42m <sup>2</sup>	近世柱脚・トレンチャ式設定で調査したが 遺構なし。近世柱脚	年報6
00-2-14~3-24	9909 (黒南) 工学部施設・廃校舎改修研究センター・サテライト・試掘調査	試掘調査	1,853m <sup>2</sup>	近世・近代 瓦片・墓地、近世廃校舎、壁礎、 瓦、瓦屑	本報告X
00-1-25	9910 (本荘北) 血液貯蔵庫改修管理装置	試掘調査	2m <sup>2</sup>	開削孔なし、遺構・遺物ともに確 認できず	年報6
00-3-6~14	9911 (黒南) 本生動物研究会新設工事	発掘調査	70m <sup>2</sup>	桃文化・古代土器群・須恵器	本報告X
00-3-14	9912 (黒南) 朝日取扱設立会	立会調査	3m <sup>2</sup>	遺物・遺構ともに確認できず	年報6
00-3-2	9913 医学生直連化推進会議設立会	立会調査	78m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報6
00-3-16~17	9914 (本荘北) さく井設備工事立会	立会調査	25m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報6
<b>2000年度</b>					
00-4-7	0001 (黒南) 本生動物研究会新設工事	立会調査	61m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報7
00-4-11	0002 (黒南) 本生動物研究会新設工事	立会調査	41m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報7
00-4-17	0003 (本荘北) 病院施設新設工事	試掘調査	58m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報7
00-10-23	0004 (黒南) 工学部施設、廃校舎改修研究センター・サテライト・ ・サテライト・ピット・ラボラトリー新設工事	立会調査	18m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報7
00-10-30	0005 (黒南) 工学部施設工事	立会調査	63m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報7
00-11-6~22	0006 (本荘北) 鋼構造基層、環境整備施設戸内	発掘調査	119.4m <sup>2</sup>	羅文・古墳 桶文化代石器・古墳時代柱・柱 ・古代・近世・土器群・須恵器	本報告X
00-11-22	0006 (本荘北) 病院施設新設・環境整備第1号戸内水栓接合工事	試掘調査	4m <sup>2</sup>	近・現代墓群・現代墓石・墓地・遺骨	年報7
00-11-27~29	0006 (本荘北) 病院施設新設・環境整備水栓接合工事	立会調査	85.5m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報7
00-12-4~13	0006 (本荘北) 病院施設新設・環境整備排水管接合工事(Ⅱ区)	立会調査	32m <sup>2</sup>	羅文・古代 土器・ガラス玉・良瓦・須恵器	年報7
00-12-8~01-1-10	0006 (本荘北) 病院施設新設・環境整備電気配管工事(Ⅰ区)	立会調査	31.5m <sup>2</sup>	吉・代 遺構なし・土器群	年報7
00-12-19~20-30	0006 (本荘北) 用水施設新設・環境整備排水管接合工事(Ⅱ区)	立会調査	39.4m <sup>2</sup>	吉・代 住居跡・土器群	本報告X
00-12-26~28	0006 (本荘北) 病院施設新設・環境整備水栓接合工事	立会調査	100.7m <sup>2</sup>	近・現代墓群・墓石・遺骨	年報7
01-1-29	0006 (本荘北) 財團病院基層、環境整備排水管接合工事(V区)	立会調査	7m <sup>2</sup>	遺物・遺構なし	年報7
01-1-22~30	0007 (京町) 附属中学校体育器具新設工事	発掘調査	119.4m <sup>2</sup>	吉・代 古代・上古期・馬器・土製鏡 ・鏡章	年報7
01-2-5	0008 (黒北) 生活学習通識研究センター・スロープ取扱工事	立会調査	26m <sup>2</sup>	掘削のため遺構・遺物なし	年報7
01-2-6~9	0009 (黒南) 理学部1-2号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70m <sup>2</sup>	吉・代 包含層を確認、古代土器群・須 恵器	年報7
01-2-16~19	0010 (黒北) 体育系施設解体・新設工事	立会調査	372m <sup>2</sup>	遺物・遺構なし	年報7
01-2-22	0011 (大江) 旧食堂解体搬去工事・耐力柱ライアーサー解体搬去工事	立会調査	132m <sup>2</sup>	遺物・遺構なし	年報7
01-3-5~6	0012 (黒北) 外灯設置工事	立会調査	3m <sup>2</sup>	遺物・遺構なし	年報7
01-3-6	0013 (大江) 屋内運送車両「尚古館」取り廃し工事	立会調査	500m <sup>2</sup>	遺物・遺構なし	年報7
01-3-22	0014 (黒北) 旧生活指導組合事務所解体搬去工事	立会調査	66m <sup>2</sup>	遺物・遺構なし	年報7
<b>2001年度</b>					
01-4-9~7-3	0101 (本荘北) 球蹴場施設改修工事	発掘調査	1,733.75m <sup>2</sup>	古墳・古代 住居跡・溝・塚・瓦器・墓石・土器 ・柱	本報告X
01-5-14	0102 (黒南) 基幹・環境整備	試掘調査	48m <sup>2</sup>		本報告X
01-5-14	0103 京町地区高台ケーブル改修工事	立会調査	595m <sup>2</sup>	遺物・遺構なし	年報8
01-7-9~26	0102 (黒南) 基幹・環境整備	発掘調査	418.5m <sup>2</sup>	桃文化土器・寛永通宝・風呂桶本 周空塗	年報8

## I 構内道路と調査の概要

01-7-4~10-29	0101	(本荘北) 地質病院基幹・環境整備（共同調査）	発掘調査	1023.8m	縄文・古生 住居址・諸・礎石器・陶器 ・古墳・古 上部・土器段・施設跡、石器、其 他の	本報告書
01-7-13	0105	(京町) 正門改修工事	立会調査	7.12m	遺構・遺物なし	年報8
01-7-30~11-14	0106	(黒北) 大学教育研究センター等改修工事	立会調査	390.7m	遺構・遺物なし	年報8
01-7-31	0107	(大口) 葉楽部室共用施設改修工事	立会調査	97.84m	遺構・遺物なし	年報8
01-8-1~13	0108	(京町) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	25m	遺構・遺物なし	年報8
01-8-2~21	0109	(黒北) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38m	遺構・遺物なし	年報8
01-9-27	0110	(大口) 常樂部室改装工事	立会調査	20m	遺構・遺物なし	年報8
01-9-4	0111	(本荘南) 医学生キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	278m	遺構・遺物なし	年報8
01-6-22~9-4	0112	(黒北) 其他施設テラス改修工事	立会調査	602m	遺構・遺物なし	年報8
01-9-14 10-1	0113	(本荘北) 施設技術研究開発科キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	105m	遺構・遺物なし	年報8
01-9-17	0114	(本荘北) 痢疾病院キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38m	遺構・遺物なし	年報8
01-10-19	0115	(黒南) 理学2号棟改修工事	立会調査	84m	遺構・遺物なし	年報8
01-10-22~ 02-2-19	0116	(本荘北) 地質病院基幹・環境整備（A～D地区・ガイド施設改修等）	立会調査	426.1m	遺構・遺物なし	年報8
01-12-8~02-2-9	0117	(本荘北) 医学生部棟研究開発科キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	1331m 古代 住居址・井戸跡 上部段・埴輪	年報8	
01-12-12~02-2-1	0118	(黒南) 黒雲・環境整備（精高会場改修等・精良その他）	立会調査	111.7m	遺構・遺物なし	年報8
02-2-25~ 3-20	0119	(本荘北) 風呂屋用ダム供給設備取扱工事	発掘調査	205.8m 縄文・古墳 住居址・諸・組立柱建物址・陶器 ・古代 上部・土器段・埴輪・須恵器、瓦瓶	本報告書	
02-3-18	0120	(本荘北) 地合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1,927.0m	遺構・遺物なし	年報8
02-3-18	0121	(本荘北) 医学生部棟新規工事（住上II）新完工事	立会調査	1,976.4m	漢式・遺物なし	年報8
02-3-22	0122	(本荘北) 地質病院西棟床底気密化改修工事（住上II）	立会調査	54m	遺構・遺物なし	年報8
<b>2002年度</b>						
02-4-3~4	0201	(黒北) 大学教育研究センターC棟地下調査工事船橋水及・立会調査	立会調査	29.3m	遺構・遺物なし	年報8
02-4-15~16	0202	(黒北) 室外防暑施設工事	立会調査	199m	遺構・遺物なし	年報8
02-4-17	0203	(黒南) インシュベーション施設新官工事	試掘調査	3m		年報8
02-4-17	0204	(黒北) 総合研究棟新官工事	試掘調査	4m		年報8
02-4-24	0205	(黒北) 其他施設カーラインシリウ工事	立会調査	673m	遺構・遺物なし	年報8
02-5-20~29	0206	(黒北) 施設研究棟新官工事	発掘調査	28m	夷柏	本報告X
02-5-30~8-2	0207	(黒南) インシュベーション施設新官工事	発掘調査	810m 古代 旗 旗足	遺構・遺物なし	年報8
02-6-3	0208	(黒北) 施合研究棟新官工事	立会調査	32m	遺構・遺物なし	年報8
02-6-12~8-14	0209	(黒北) 総合研究棟新官工事	発掘調査	280m 縄文・古墳 住居址・諸・火葬墓・埴輪・土器 ・古代 上部段・埴輪	本報告X	
02-7-2	0308	(黒北) 図書館附属学生部屋单層拡張工事	立会調査	21m	遺構・遺物なし	年報8
02-8-29	0309	(京町) 附属小学校スロープ新設工事	立会調査	13m	遺構・遺物なし	年報8
02-10-1~ 10-31/1-18	0210	(黒北) 工学科新木造工事	発掘調査	61.9m	弦纹陶・稚文土器・石器	本報告X
02-10-7	0211	(本荘北) 医学生部研究棟新官工事（段丘下部分）	立会調査	32m	遺構・遺物なし	年報8
02-12-3~5/11	0212	(黒北) 外灯設置工事	立会調査	480m	遺構・遺物なし	年報8
02-12-17	0213	(本荘北) 地合研究棟新官工事	立会調査	216m	遺構・遺物なし	年報8
02-4-17	0214	(本荘北) 純幹環境整備外灯工事	立会調査	216m	遺構・遺物なし	年報8
02-5-18	0215	(大口) 医学生部附属施設新官工事	立会調査	34m	遺構・遺物なし	年報8
03-2-21	0216	(黒北) 外灯設置工事	立会調査	18.5m	遺構・遺物なし	年報8
03-3-7	0217	(本荘北) 体育部（フレハブ）新設工事	立会調査	3m	遺構・遺物なし	年報8
03-3-10	0218	(黒北) 外灯設置工事	立会調査	27m 古代 住居址・上部段・施設跡・瓦石	年報8	
03-3-11	0219	(本荘北) 新設工事	立会調査	26m	遺構・遺物なし	年報8
03-3-26	0220	(新南) 教育学部附属農場栽培竹垣、盆地端部取引	立会調査	80m 古代 住居址・柱穴・諸・古代土器等・瓦 ・埴輪	年報8	
<b>2003年度</b>						
03-4-10	0301	(黒北) 工学科新品庫新官工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし	年報8
03-4-19	0302	(黒北) 組合研究棟新官工事	試掘調査	94m	土器段	年報8
03-5-20	0303	(黒北) 事務機械排水装置新官工事	立会調査	16.8m	遺構・遺物なし	年報8
03-6-2~7-2	0304	(本荘北) 純幹・環境整備工事	発掘調査	335.5m 縄文・古墳 住居址・土器段・施設跡 ・古墳・古代 望楼形・近井向御器	本報告X	
03-7-18	0305	(黒北) 組合研究棟新官工事	立会調査	296m	遺構・遺物なし	年報8
03-8-19	0306	(京町) 附属小・中学校ランプ新設工事	立会調査	44.3m	遺構・遺物なし	年報8
03-8-6~9-12	0307	(黒北) 組合研究棟新官工事（1F）	発掘調査	168.2m 縄文・古代 ピット・埴輪・土器・遺物包含層 ・陶文土器	本報告書	
03-9-4~9-8	0308	(本荘北) 民宿技術研究部北駁接場地整備工事	立会調査	509.2m	遺構・遺物なし	年報8
03-9-5	0309	(京町) 大江ビル研究棟新官工事及び空氣工事	立会調査	7.54m	遺構・遺物なし	年報8
03-9-29	0310	(宇留市) 小和宿古び複数木造新官工事	立会調査	364m	遺構・遺物なし	年報8
03-10-2	0311	(本荘北) 隅野慰安街新官工事	立会調査	402m	遺構・遺物なし	年報8
03-10-1~10-10	0312	(黒北) 組合研究棟新官工事	発掘調査	253.5m 縄文・古代 ピット・埴輪・土器・遺物包含層 ・陶文土器	本報告書	
03-10-27		(黒北) 改修整備工事	試掘調査	13.75m	遺構・遺物なし	年報8
03-11-6	(第)	記念館建設工事	試掘調査	7.4m 古代 上部段	年報8	
03-11-17~28	0313	(本荘北) 発生研究研究センター施設整備事業	立会調査	557m	遺構・遺物なし	年報8
03-11-26	0314	(黒北) 組合研究棟新官工事（ガズブ）	立会調査	366m	遺構・遺物なし	年報8
03-12-9	(本荘北)	発生研究センター施設整備事業	試掘調査	26.58m	遺構・遺物なし	年報8

### 3. これまでの調査と本古収録の遺跡

03-12-10	0311	(本荘市) 中央設計棟(軸)設営工事	立会調査	4m	遺構・遺物なし	年報10
01-1-13	0312	東京開成工事	立会調査	11.2m	遺構・遺物なし	年報10
04-1-14	0307	(東) 大正治政研究発表会場及び電気工事	立会調査	45.5m	遺構・遺物なし	年報10
04-1-15~19	0313	(黒北) 教堂等工事	立会調査	388.8m	遺構・遺物なし	年報10
01-1-23~27	0314	(本荘市) 医院計画・E棟・R1・旧動物会場工事	発掘調査	1,000m <sup>2</sup> 古代	遺構・ピット・土器群	本報告書
01-1-30	0315	(本荘市) 東洋館等施設工事	立会調査	30.7m	遺構・遺物なし	年報10
01-2-9	0316	(黒南) 理学部4号館裏面プレハブ等設営工事	立会調査	83m	遺構・遺物なし	年報10
01-2-16						
01-2-23	0317	(本荘市) 倉庫本体移築	立会調査	16m	遺構・遺物なし	年報10
01-3-4	0318	(黒北) 附属衛生校門柱道面造修理工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし	
01-3-5~9	0319	(本荘市) 医学院計画・E棟・R1・旧動物会場工事	発掘調査	1,000m <sup>2</sup> 中世・古代 漢・ピット・磁器・土器器	本報告書	
01-3-9	0319	(黒北) 井戸設営工事	立会調査	2.3m	遺構・遺物なし	
01-3-9	0320	(黒北) 井戸設営工事	立会調査	13.19m	遺構・遺物なし	
01-3-10	0321	(黒南) 外灯設置工事	立会調査	34m	遺構・遺物なし	
01-3-10	0322	(黒東) 起合研修棟等設備工事	立会調査	4m	遺構・遺物なし	
01-3-10	0323	(本荘市) 教育科学工事	立会調査	10m	遺構・遺物なし	
01-3-10	0324	(本荘市) 教育科学工事(湖畔施設)	立会調査	44m	遺構・遺物なし	
01-3-11	0324	(本荘市) 外灯設置工事	立会調査	4m	遺構・遺物なし	
01-3-11	0325	(本荘市) 外灯設備工事	立会調査	11.2m	遺構・遺物なし	
01-3-15	0326	(黒北) 外灯設置工事	立会調査	354m	縄文土器片	
01-3-16	0327	(東) 外灯設置工事	立会調査	11.8m	遺構・遺物なし	
01-3-17	0328	(黒北) 教育科学工事(桜井)	立会調査	892m <sup>2</sup> 古代 土器・須恵器・縄文土器片		
01-3-22	0328	(京町) 教育科学工事(中学校)道路整備工事	立会調査	7m	遺構・遺物なし	
01-3-19	0329	(黒北) 沿火点急避地	立会調査	130m	遺構・遺物なし	
2004年度						
04-1-7	0401	黒崎地北地区教育施設工事(西面下設調)	立会調査	33.8m	遺構・遺物なし	年報11
04-1-9	0401	木本組地北地区中央児童遊園(軸)設営工事	試掘調査	10.4m <sup>2</sup> 古代 漢・ピット・土器器	年報11	
04-1-13~5~31	0402	木本組地北地区公民科学研修センター建設工事	発掘調査	1,241.8m <sup>2</sup> 古代 土器器・須恵器・縄文土器	年報11	
04-5-26		黒崎地北地区准本多大学院社会文化学研究科研究室新築工事	試掘調査	72.6m <sup>2</sup> 古代	ビット・土器器	年報11
01-5-14	0403	木田組地北地区中学校施設(軸)設営工事	立会調査	150m <sup>2</sup> 古代 土器器	年報11	
01-10-14						
01-5-21	0404	秦学詔底区植物園又は花置設工事	立会調査	32m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
01-6-25-28	0405	秦学詔底区木本組新宿新設施設及びその整工事 不景北地区(京町) 基盤・基礎整備工事	試掘調査	68.48m <sup>2</sup> 古代・縄文 上昂器・縄文土器・土壤	年報11	
01-5-24-26	0406	革学詔底区木本組新設(假設)建設工事(旧建物撤去・日本 撤去・電気配線・水管配管・ガス配管・舊木筋)	立会調査	1,032.4m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
6-4						
10-26~28	0406	宇都毛組地北組宿泊施設宿泊水配管改修工事	立会調査	38.2m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
01-7-29	0409	黒崎地北地区記念碑設営工事	立会調査	72m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
01-8-6						
01-8-20						
01-9-23						
01-8-9	0410	黒崎地北地区准本多大学院社会文化学研究科研究室新 築工事	試掘調査	11m <sup>2</sup> 古代 桁穴・埴忍器・土器器	年報11	
8-10-11						
11-5-11						
04-8-17~19-23	0411	木本組地北地区(西面)基盤・環境整備(ヨンブア・E1実 験棧取柱・ガス切替・水道・プラウ生・開設復開通)工事	立会調査	429m <sup>2</sup>	土器器・須恵器・縄文土器・堅穴 本報告書 注居柱・溝・ビット	
9-3						
9-14~22						
05-1-27~						
04-9-16	0412	木本組地北地区附設病院都市総合開発整理工事	立会調査	57m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-9-16	0413	京町区役所中学校の施設工による木筋起し	立会調査	8m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-9-16	0414	黒崎地北地区木工学科附属販賣店による木筋起し	立会調査	4m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0415	木本組地北地区木工学科附属販賣店設置及びその整工事	立会調査	10m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0416.1	木本組地北地区木工学科附属販賣店害虫による倒木起し	立会調査	8m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0416.2	木本組地北地区木工学科附属販賣店風呂による倒木起し	立会調査	1.5m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-10-12	0417	黒崎地北地区木工系更衣室化粧廻り設置整工事	立会調査	0.5m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-10-19	0418	黒崎地北地区夏月石井記念修繕施設工事	立会調査	0.3m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-10-22	0419	木本組地北地区(附設病院)福利厚生施設引当複数工事	立会調査	2.22m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-11-1~28	0411	木田組地北地区(京町) 基盤・環境整備	発掘調査	551m <sup>2</sup> 縄文・古墳 ・古代 桁穴柱坑柱・竪穴柱・埴忍器・土器器・堅穴	本報告書 註記	
04-11-26	0420	東洋部地北地区ニニコート整備工事	立会調査	695m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-11-29	0421	黒崎地北地区さくら井筒堆工事	立会調査	43m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-12-6	0422	木本組地北地区中央児童遊園(軸)設営工事	立会調査	66.30m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
04-12-15	0423	黒崎地北地区猪崎ネットワーク館開通工事	試掘調査	18m <sup>2</sup> 古代 住居址・住穴・埴忍器・土器器	年報11	
04-12-21	0423	黒崎地北地区企組(本組)取組工事	立会調査	75m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
05-1-11	0424	木本組地北地区木工学科運営工事	立会調査	14.5m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11
05-2-1~2、7~9	0425	黒崎地北地区猪崎ネットワーク館前事務室工事(配管工事)	立会調査	360.08m <sup>2</sup> 古代 土器器・須恵器	本報告書	
05-2-21~3-30 5-9~6-10	0425	黒崎地北地区猪崎ネットワーク館設営工事	発掘調査	L170.14m <sup>2</sup> 古代 上器器・須恵器	本報告書	
05-2-4~8~9	0426	木田組地北地区中央水塔設営工事	試掘・発掘 調査	81m <sup>2</sup> 清・北	遺構・土器器・馬具・劍銅	本報告書
05-2-4	0427	黒崎地北地区資料館前水道管漏れ修理工事	立会調査	15m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報11

# I 構内道路と調査の概要

05-2-21~22	0428	黒葉地区地図地区明神移工事	立会調査	19m	道情・道物なし	年報11
05-2-21	0429	東部施設(区)水道工事	立会調査	425m	道情・道物なし	年報11
05-2-28~144-1	0430	木賀地区地図地区駐車場整備工事	立会調査	1896m		
05-3-1	0431	黒葉地区事務局新設工事	立会調査	12m	道情・道物なし	
05-3-1	0432	教育学部附属中学校校舎改修工事	立会調査	8945m	道情・道物なし	
05-3-1	0433	教育学部附属幼稚園施設改修工事	立会調査	81m	道情・道物なし	
05-3-2	0434	黒葉地図(区)学部附属施設改修工事(板橋)	立会調査	1925m	道情・道物なし	
05-3-9	0435	黒葉地区(く)井設備工事(追加)	立会調査	36m	道情なし・土砂器	
05-3-10,15,16,18	0436	黒葉地区事務局改修工事	立会調査	6214m	道情なし	
05-3-14~16	0437	大川(区)委部外の改修工事	立会調査	81m	道情・道物なし	
05-3-22	0438	教育学部附属幼稚園施設改修工事	立会調査	444m	道情・道物なし	
05-3-23	0439	黒葉地図(区)木橋工事	立会調査	6m	道情・道物なし	
05-3-21	0440	教育学部附属中学校改修工事	立会調査		道情・道物なし	
05-3-21	0441	教育学部附属小学校改修工事	立会調査	2m	道情・道物なし	
05-3-24	0442	(本店)附属幼稚園施設改修工事	立会調査	9186m	道情・道物なし	
05-3-21	0443	(本店)中央本部連絡施設改修工事	立会調査	0.8m	道情・道物なし	
05-3-25	0444	黒葉地区教育学部附属学校改修工事	立会調査	174m	道情・道物なし	
05-3-26	0445	黒葉地区(伊勢崎市)木橋工事	立会調査	333m	道情・道物なし	
<b>2005年度</b>						
05-1-19~20	0501	木賀地区地図(区)草場堤防整備工事(追加)	立会調査	28m 古代	土砂器・植也器	年報12
05-4-27	0502	京町南附属幼稚園施設改修工事(板橋)	立会調査	4m	道情・道物なし	年報12
05-2-4~6-10	9425	(黒葉)情報ネットワーク部屋工事	免許調査	10632m	國文・古代 研究室別棟・現立往住棟・國文上器、土砂器・植也器、黒色土器	本報告書
05-5-31	0503	(本店)発生研究センター施設整備事業(外構)	立会調査	23372m	道情・道物なし	年報12
6-4-3-14	0504	小篠原整理工事A配管路敷埋工事	立会調査	7m	道情・道物なし	年報12
05-6-7-10	0505	(病院)基礎・環境整備(道情・浅水寺)	立会調査	55.96m	道情・道物なし	年報12
05-6-20	0506	(大川)業務用ドアストップ・マグネット取扱工事	立会調査	2286m	道情・道物なし	年報12
05-6-21	0507	(本店)靴底地図(区)改修工事	立会調査	10.5m	道情・道物なし	年報12
05-7-8	0508	(黒葉)情報ネットワーク部屋改修工事	立会調査	40.9m 古代	土砂器・植也器	年報12
05-7-12-14	0509	(病院)基幹・環境整備(曳き先・移動)	免許調査	11.47m 國文・佐生 墓居屋、清・上細器・植也器	本報告書	
7-19~9-30					古器・古代	
05-7-19	0511	木賀地区地図地区木配管修理	立会調査	76m 古代	植合器・土砂器・植也器	年報12
05-8-1	0512	教育学部附属幼稚園施設改修	立会調査	0.95m	道情・道物なし	年報12
05-8-2~3	0513-1(1)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-1	立会調査	97m 古代	土砂器・植也器	年報12
05-8-2~5	0513-2(2)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2	立会調査	198.75m 古代	土砂器・植也器	年報12
05-8-5	0514	医師部南地区ニユースコート内給水槽工事	立会調査	199.94m	道情・道物なし	年報12
05-8-5~10	0515-1(3)	(医師)工事部施設改修施設改修等事業-1	立会調査	17.8m	道情・道物なし	年報12
05-8-8~16	0515-2(4)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2	免許調査	80.88m 古代	住居屋・土砂器・植也器	年報12
05-8-8~18	0515-3(5)	木賀地区(北条地区)駐車場堤防整備工事(その2)、追加支	立会調査	235.06m 古代	住居屋・土砂器・植也器	年報12
05-8-18~23	0515-4(6)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2	立会調査	147m	道情・道物なし	年報12
05-8-19~29	0513-1(7)	(用賀)工事部施設改修施設改修等事業-4	立会調査	259m	道情・道物なし	年報12
05-8-21	0514	木賀地区地図地区外構改修工事	立会調査	11.4m	道情・道物なし	年報12
05-8-23~29	0513-2(8)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2	立会調査	17.2m	道情・道物なし	年報12
05-8-25	0513-3(9)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-1	立会調査	147m	道情・道物なし	年報12
05-8-25	0513-4(10)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2	立会調査	89.1m	道情・道物なし	年報12
05-8-25	0513-5(11)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-1	立会調査	63m	道情・道物なし	年報12
05-8-25	0513-6(12)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-1	立会調査	120.25m	道情・道物なし	年報12
05-8-29~30	0513-1(13)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2	立会調査	24.6m	道情・道物なし	年報12
05-8-30~9-1	0513-2(14)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2	立会調査	20.4m	道情・道物なし	年報12
05-9-1~13	0513-3(15)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-1	免許調査	67.6m 國文・古代 駐穴式住居址・穀文上器・土砂器・植也器	年報12	
05-9-12	0517	(病院)基幹・環境整備(曳き先・現在地)	立会調査	1337m	道情・道物なし	年報12
05-9-13	0513-5(16)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-1	立会調査	87.53m	道情・道物なし	年報12
05-9-12~17	0513-7(17)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2	立会調査	43.9m	道情・道物なし	年報12
05-9-13	0518	医師部施設改修施設改修等事業	立会調査	29m	道情・道物なし	年報12
05-9-14	0519	(黒葉)学務教育取扱工事	立会調査	157.76m	道情・道物なし	年報12
05-9-15	0513-1(18)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-3	立会調査	0.79m	混合型・ピット	年報12
05-9-15	0513-7(19)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-1	立会調査	40.5m	道情・道物なし	年報12
05-9-15	0520	木賀地区地図地区人蔵施設スローラー取扱工事	立会調査	17.18m	道情・道物なし	年報12
05-9-15	0521	木賀地区(北条地区)台風倒木引札	立会調査	230.6m	道情・道物なし	年報12
05-9-16~10-2	0513-1(20)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2	立会調査	92.342m 古代	土砂器・植也器	年報12
05-9-16	0522	木賀地区(北条地区)台風倒木引札	立会調査	2.5m	道情・道物なし	年報12
05-9-27	0523	(病院)中央本部棟(北上)	立会調査	37.6m	道情・道物なし	年報12
05-10-11~11-7	0513-1(21)	(黒葉)工事部施設改修施設改修等事業-2、3	立会調査	150m 古代	住居屋・清・上細器・植也器	年報12
05-10-11	0524	木賀地区(北条地区)駐車ゲート整備工事	立会調査	26.3m	道情・道物なし	年報12
05-10-12~13-14	0525	(黒葉)情報ネットワーク部屋改修工事	立会調査	73.6m 古代	柱・上細器・植也器	年報12
17.38						
05-10-11	0526	理文調査室内改修機械施設工事	立会調査	20m	道情・道物なし	年報12
05-10-19-20	0527	(黒葉)文部科学省ソーラー整備工事	立会調査	41m	道情・道物なし	年報12

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

05・10・21	0528	工学部ものづくり実習室新宮工事	立会調査	810ml	遺構・遺物なし	年報12
05・10・25	0529	(医歯) 外来臨床研究会開催用環境整備工事	立会調査	381.2ml	遺構・遺物なし	年報12
05・10・26	0530	薬学部温浴室(床座浴室)維修工事	立会調査	55ml	遺構・遺物なし	年報12
05・11・4	0531	旧情報処理センター屋外雨設置工事	立会調査	9ml	遺構・遺物なし	年報12
05・11・7	0532	教育学部附属幼稚園校舎改修引込み漏水修理	立会調査	35ml	遺構・遺物なし	年報12
05・11・7	0533	(黒堀) ガイナー室除虫水槽維修工事	立会調査	11ml	遺構・遺物なし	年報12
05・11・1621	0534	黒堀池地盤防護改修工事	立会調査	121.3ml	遺構・遺物なし	年報12
05・11・29	0513工事	(黒堀) 木部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	46ml 古代	柱崩壊・柱穴	年報12
12・15						
05・11・29~	0513P(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	2ml 古代	柱基址・溝・ピット・土器器・埴	年報12
12・5						
05・12・4	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	117.4ml 古代	土器器	年報12
05・12・7	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	87ml 古代	ピット・土器器・埴器	年報12
05・12・9	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	25ml 古代	柱基解・土器器・埴器	年報12
05・12・12	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2, 5	立会調査	ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・12	0535	教育学部新都構造場監視振興	立会調査	455.7ml	柱穴	年報12
05・12・13	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	0.5ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	3ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	87.5ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	18ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0536	医学部別館改修工事	立会調査	86.6ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0537	工学部別館改修施設整備等事業-2	立会調査	82.2ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・15	0513P(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-1, 2	立会調査	28.5ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・16	0537	理学部グリハブ新研究工事	立会調査	167ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・19.21.25	0538	(黒堀) 情報ネットワーク施設設備工事(追加)	立会調査	70.25ml 古代	土器器・埴器	年報12
05・12・4~11						
2・27~3・2						
05・12・22	0539	本蔵団地(中地区) ゴミ箱置き	立会調査	48.51ml	遺構・遺物なし	年報12
05・12・26	0513P(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10ml	遺構・遺物なし	年報12
06・1~4~19	0513P(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	89ml 古代	柱基址・土器器・埴器	年報12
06・1~5	0513P(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	70ml	遺構・遺物なし	年報12
06・1~18.25	0540	本蔵団地(中地区) 廉價住宅改修工事	立会調査	61.8ml	遺構・遺物なし	年報12
06・1~17	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	1ml	遺構・遺物なし	年報12
06・1~20	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	70.8ml	遺構・遺物なし	年報12
06・1~26	0541	(黒堀) 工学部他校舎改修施設工事(追加・西道加含む)	立会調査	1110ml 古代	土器器・埴器	年報12
2・22.20.27						
06・1~21	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	45.4ml	遺構・遺物なし	年報12
06・1~24	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	12ml	遺構・遺物なし	年報12
06・1~26	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	40ml	遺構・遺物なし	年報12
06・1~27	0541	(医歯) 星野・境隈整地(先づき・移耕跡)	立会調査	160ml	遺構・遺物なし	年報12
06・1~30	0513工(黒堀)	工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	656.1ml	遺構・遺物なし	年報12
06・2~13	0543	附属農業研究科厚生寮改修工事	立会調査	338.9ml	遺構・遺物なし	年報12
06・2~16.3~13	0544	(医歯) 星野・境隈整地(没指・先づき)	立会調査	30ml	遺構・遺物なし	年報12
06・2~17	0545	教育学部附属幼稚園改修工事	立会調査	12ml	遺構・遺物なし	年報12
06・2~24.3~7	0546	(黒堀) 情報ネットワーク施設設備工事(外構工事)	立会調査	1837ml 古代	柱基址・土器器・埴器	年報12
3~8.13.16.17						
06・3~10	0547	(黒堀) 北地区学生会宿泊西バイ塀裏改修工事	立会調査	48ml	遺構・遺物なし	年報12
06・3~13	0548	本蔵団地(中地区) 西引廊下設置	立会調査	5.5ml	遺構・遺物なし	年報12
06・3~21	0549	(医歯) 外来化学療法センター屋外汚水配管工事	立会調査	192ml	遺構・遺物なし	年報12
06・3~30	0550	木工道具工事	立会調査	0.91ml	遺構・遺物なし	年報12
2006年度						
06・4~11	0561	教育学部隣接中学校テニスコート設置	立会調査	594ml	遺構・遺物なし	年報12
06・4~11	0562	(黒堀) 接道工事	立会調査	6ml	遺構・遺物なし	年報12
06・4~11	0563	(黒堀) 貨物刊改修工事	発掘調査	221ml 古代	標準基礎・ピット	本報告書
06・4~11~	0564	(黒堀) 資料館改修工事(屋外排水)	発掘調査	25.12ml 古代	柱基址・溝状遺構・ピット	本報告書
4~12						
06・4~12	0566	工学部研究実験用車庫改修工事	立会調査	49.05ml	遺構・遺物なし	年報12
06・4~13	0565	教育学部中央棧道工事	立会調査	1.8ml	遺構・遺物なし	年報12
06・4~18.19	0567	(黒堀) 工学部他校舎改修施設整備等事業-9	立会調査	5.2ml	遺構・遺物なし	年報12
06・4~21	0568	(黒堀) 前面空地配管修理工事	立会調査	1.3ml	遺構・遺物なし	年報12
06・4~23	0569	理学部駐輪場ガス配管修理	立会調査	1.7ml	遺構・遺物なし	年報12
06・5~2	0570	教育学部附属小学校昇昌殿設置	立会調査	0.98ml	遺構・遺物なし	年報12
06・5~11	0571	(黒堀) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	32ml	遺構・遺物なし	年報12
06・5~22.5~22	0572	(黒堀) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	129ml	遺構・遺物なし	年報12
06・5~22	0572	(黒堀) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	1.1ml 古代	柱穴・土器器	年報12
06・5~22~24	0573	(黒堀) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	24ml 古代	柱穴・土器器・埴器	年報12
06・6~12	0574	(黒堀) 墓地改修等セメント敷き水路工事	立会調査	0.37ml	遺構・遺物なし	年報12
06・6~19	0575	附属病院内診療室改修施設設備工事	立会調査	72.4ml	遺構・遺物なし	年報12
06・6~22.8~22	0576	附属病院内診療室改修施設設備(新生)工事	立会調査	153ml 古代	土器器・埴器	年報12
7~3						
06・6~27.7	0577	(黒堀) 工学部他校舎改修施設整備等事業-4	立会調査	21.98ml 古代	土器器・埴器	年報12

## I 構内遺跡と調査の概要

06-8-7	0016	教育学部附属中学校給水管被移工事	立会調査	1.7m	道筋・遺物なし	年報13
06-8-11	0017	(黒堀) プール周囲等施設改修(アスベスト処理)工事	立会調査	0.39m	道筋・遺物なし	年報13
06-8-11	0018	医学部附属病院幸賀橋塗装修理	立会調査	8.75m	道筋・遺物なし	年報13
06-8-21	0019	教育学部附属幸賀橋小学校外人工芝等の加工工事	立会調査	630.51m	道筋・遺物なし	年報13
06-8-24-25	00110	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 3	立会調査	207m	道筋・遺物なし	年報13
06-8-31~9-1	00110	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 2	立会調査	61.1m 古代	溝・土器器	年報13
06-9-7	0020	教育学部附属小学校トイレ新設施設整備工事	立会調査	2.8m	道筋・遺物なし	年報13
06-9-11	00115	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 10	立会調査	49.64m	道筋・遺物なし	年報13
06-9-12	00116	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 10	立会調査	14.0m	道筋・遺物なし	年報13
06-9-14-15	00117	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 10	立会調査	32.96m	道筋・遺物なし	年報13
06-9-20-21	00118	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 10	立会調査	55.1m	道筋・遺物なし	年報13
06-10-2	00119	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 2	立会調査	10.5m	道筋・遺物なし	年報13
06-10-2	0021	(黒堀) プール周囲等施設改修(アスベスト処理)工事	立会調査	44m	道筋・遺物なし	年報13
事業の2						
06-10-21 27.30 11-13	0022	(医疾) 墓場整備(西御幸塚等)工事	発掘調査	8.075sqm 古代	土加器・埴輪・鏡・文書等	本報告書
				(50.08m)		
06-10-10-12	0023	里塙城外打放取その他の工事	立会調査	26.29m	道筋・遺物なし	年報13
06-10-13	0024	司城附属施設管理後アキュームレーテーードレン漏損修理	立会調査	2.16m	道筋・遺物なし	年報13
06-10-16	0025	(医疾) 基幹・堤防整備(外引)工事	立会調査	296.4m	道筋・遺物なし	年報13
06-10-19	0026	(医疾) 基幹整備(ボイラー設備敷石更置)工事	立会調査	106.7m	道筋・遺物なし	年報13
06-10-25	0027	(大川地区) 用木整備工事	立会調査	0.28m	道筋・遺物なし	年報13
06-11-2	0028	医学部附属病院管内排水外削換工事	立会調査	2.8m	道筋・遺物なし	年報13
06-11-17,27 12-4	0029	(本庄) 医学院部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	298.4m 古代	土加器	年報13
06-11-20	0030	黒堀南地区工学部通関門塗刷工事	立会調査	15m	道筋・遺物なし	年報13
06-11-30	0031	運送路整備用土砂搬入工事	立会調査	56.93m	道筋・遺物なし	年報13
06-12-1	0032	事務局正門木門構架工事	立会調査	3.36m	道筋・遺物なし	年報13
06-12-15,18~ 25,27.28	00123	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 6	発掘調査	162.7m 古代	土加器・埴輪・植物骨	年報13
07-1-4~9						
06-12-19	0033	本荘北地区曲面駐車場改修施設工事	立会調査	294.27m	道筋・遺物なし	年報13
06-12-25	0034	(本庄) 医学院部保健学科校舎改修機械施設工事	立会調査	113.36m	道筋・遺物なし	年報13
07-4-2						
07-1-10,11,19	0035	寄附要譲請ガス弱弱急停	立会調査	13.45m	道筋・遺物なし	年報13
07-1-18,22,23	0036	理容室及び引渡路取扱工事	発掘調査	30.35m 古代	土加器・埴輪・理	年報13
07-1-30	0037	(本庄) 医学院部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2m	道筋・遺物なし	年報13
07-2-1	0038	(宇都宮) ゴミ量り場設置工事	立会調査	35m	道筋・遺物なし	年報13
07-2-20	0039	(本庄) 医学院部保健学科CT掃地機工事	立会調査	42.6m	道筋・遺物なし	年報13
07-2-26	0040	黒堀地区北地区加古屋ガ内隠れ酒蔵	立会調査	152m	道筋・遺物なし	年報13
07-3-1	0041	(本荘) 医学院部廻取取り廻し工事	立会調査	32.42m	道筋・遺物なし	年報13
07-3-6	0042	芋田毛田地区古窯復元工事	立会調査	134.82m	道筋・遺物なし	年報13
07-3-8	0043	(黒堀) 理学院部誕辰殿改築工事	立会調査	101.7m 古代	土加器	年報13
07-3-8	0044	(吉田) 西御幸塚改修工事	立会調査	55.28m	道筋・遺物なし	年報13
07-3-12	0045	本荘北地区ニタヨニテ改修設置設備工事	立会調査	763m	道筋・遺物なし	年報13
07-3-20	0046	(医疾) 地盤整備(急救車庫)機械設置工事	立会調査	5.77m	道筋・遺物なし	年報13
07-3-22	0047	(医疾) 周囲地盤整備(山崎記念館外壁改修)工事	立会調査	23.7m	道筋・遺物なし	年報13
07-3-26	0048	(医疾) 地盤整備(山崎記念館外壁改修)工事	立会調査	1.15m	道筋・遺物なし	年報13
2007年度						
07-4-10	0049	(教) 寄附講義校舎改修工事	立会調査	2m 古代	道筋・遺物なし 溝・穴・土器	年報14
07-4-12		(本庄) 医学院部保健学科新規工事	試掘調査			年報14
07-4-13	0050	教育学部附属幼稚園新規工事	立会調査	18.21m	道筋・遺物なし	年報14
07-4-16,20	00503	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 6	立会調査	61m	道筋・遺物なし	年報14
07-5-7,28	00504	(黒堀) 新規工事に伴う樹木植栽工事	立会調査	44.0m 古代	土加器・埴輪器	年報14
07-6-7		(医) 布野地区新規工事	試掘調査			年報14
07-6-13	00505	(医疾) 廃病棟新規工事に伴う改修施設整備工事(電気設備)	立会調査	7m	道筋・遺物なし	年報14
07-6-19,21,27	005052	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 13	立会調査	809.2m	道筋・遺物なし	年報14
07-6-20	00506	本荘北地区保健学科用木門修理	立会調査	17.3m	道筋・遺物なし	年報14
07-6-20		黒堀北地区改修施設整備新規工事	試掘調査			年報14
07-6-25	005033	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 13	立会調査	31.4m	道筋・遺物なし	年報14
07-6-30,29 7-10,18,19	00507	(本庄) 医学院部講義講堂新規工事	立会調査	1,500m	洋古物報表一、次回解	年報14
07-6-28	00509	(黒堀) 大河セントラル新規木造つまり修理	立会調査	1.5m	道筋・遺物なし	年報14
07-6-29	00509	(本荘) 仮設段り下取改修工事	立会調査	43.5m	道筋・遺物なし	年報14
07-7-3	005030	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 6	立会調査	36m	道筋・遺物なし	年報14
07-7-4	00510	(京町) 教育学部講義講堂中学校新規改修取扱工事(東家)	立会調査	40m	道筋・遺物なし	年報14
07-7-9,10	0050303	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 6	立会調査	58.75m	道筋・遺物なし	年報14
07-7-17	00511	(医疾) 基幹・環境整備(中央歯科診療所新規工事)	立会調査	8.34m	道筋・遺物なし	年報14
07-7-17	005038-1	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 13	立会調査	1,576.6m	道筋・遺物なし	年報14
07-7-19	005038-2	(黒堀) 工学部附属改修施設整備等事業 13	立会調査	3,000.6m	道筋・遺物なし	年報14

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

年月	件名	調査主体	発掘調査	立会調査	現地踏査	備考
07・7・30～9・3	0707 (本庄) 医学部調査講義新設新設工事		1500㎡ 繩文・古代 堅穴住居址・水田遺構・ピット 绳文時代石器・縄文土器・土器 器・組合器・鉢			本報告題
07・8・7	0712 (医病) 東病棟新設工事	立会調査	2m	一次掘削		本報告V
07・8・10	0713 妊産部屋外木質管渠本修理工事	立会調査	1m	遺構・遺物なし	年報14	
07・8・22	0714 (医病) 錠糞部12号槽削除取扱工事	立会調査	157m	遺構・遺物なし	年報14	
07・8・23	0715 (医病) 工事部地盤改良改修施設等事業-19	立会調査	208m	遺構・遺物なし	年報14	
07・8・27～ 10・25	0712 (医病) 東病棟新設工事	発掘調査	389.29m <sup>2</sup> 繩文・古代 桃太郎・土師器・埴輪・石 古代・近・古代瓦器・組合器・馬骨・ 青銅器			本報告V
07・9・3	0716 本庄地区駆逐場出入口整備	立会調査	294.8m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
07・9・14	0717 (医病) 息野・堀堤構造 (日中空港搬送取り扱いに伴う機械・ 設備) 上工	立会調査	49.4m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
10・2	0703 (医病) 工事部地盤改良改修施設等事業-4.16	発掘調査	275.5m <sup>2</sup> 古代	住居跡・ピット・土師器・埴輪器	年報14	
07・9・25～27	0703 (医病) 工事部地盤改良改修施設等事業-4.16	発掘調査	264.32m <sup>2</sup> 古代	唐・土師器	年報14	
10・2	0718 (六口) 医学部本館延改修工事	立会調査	308.68m <sup>2</sup> 古生・古代 ピット・生土器・土師器			本報告V
10・12	0719 (京河) 教育学部附属小中学校合併改修工事	立会調査				
07・10・4.15	1622.25					
08・1・30.31 2・13						
07・10・19	0720 事務局南翼尾付外部水管修理工事	立会調査	2.5m	遺構・遺物なし	年報14	
07・10・26～ 11・28	0719 (京河) 教育学部附属小中学校合併改修工事	発掘調査	230.2m <sup>2</sup> 古生・古代 堅穴住居・ピット・唐・生土 器・土師器・組合器・打目石器			本報告V
07・12・3～ 12・4.6.7	0721 (京河) 小中合併施設改修	立会調査	1.2080.05m <sup>2</sup> 古生・古代 堅穴住居・ピット・生土器・土 器・盆・釜・透器・組合器・埴輪・ 古代陶器			本報告V
08・1・18						
07・12・5	0722 (医病) 工事部8号館内部改修その他の工事	立会調査	95m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
07・12・5.11	0723 (医病) 工事部8号館内部改修延久改修工事	立会調査	14.1m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
07・12・7.20.22	0724 (本庄) 医学部基礎研究施設 (C棟改修) 工事	立会調査	1.003m <sup>2</sup> 古代	土・灰・ピット・土師器	年報14	
07・12・7	0725 (京河) 教育学部附属小中学校合併改修実施監修工事	立会調査	90m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
07・12・17.18.19	0703.8.1 (医病) 工事部地盤改良改修施設等事業-4.18	立会調査	148.75m <sup>2</sup> 古代	ピット	年報14	
08・1・16.17						
07・12・14～ 12・27	0721 (京河) 小中合併施設改修	発掘調査	112.65m <sup>2</sup> 古生・古代 堅穴住居・ピット・近代土灰・紫 色・瓦片・透・生土器・土師器・埴輪・透瓦・ 近代陶器			本報告
07・12・19	0726 医学部基礎研究施設北側周辺	立会調査	1m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・1・16.17	0703.9 (医病) 工事部地盤改良改修施設等事業-20	立会調査	94.5m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・1・22	0727 (医病) 工事部8号館内部改修延久改修工事	立会調査	12m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・1・22	0728 工事部8号館内部改修実施監修指揮工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・1・23	0703.9.2 (医病) 工事部地盤改良改修施設等事業-4.18	立会調査	89m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・1・25	0703.9 (医病) 工事部8号館内部改修延久改修指揮工事-18	立会調査	20m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・1・25.20.20	0703.9.3 (医病) 工事部地盤改良改修延久改修指揮工事-4.18	立会調査	96.7m <sup>2</sup> 古代	土師器	年報14	
08・2・1.14	0703.9.4 (医病) 工事部地盤改良改修延久改修指揮工事-4.18	立会調査	53.02m <sup>2</sup> 古代	土師器	年報14	
08・2・14	0729 (医病) ソリーネー型地盤改良改修延久改修指揮工事	立会調査	38.8m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・2・25	0730 (医病) 教育学部附属専門支校防災防火用土槽組立て工事	立会調査	4m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・2・27	0731 (医病) IR情報処理センターコーディネート	立会調査	11.25m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・2・29	0732 (本庄) 別別院受電機械用第工事	立会調査	12m <sup>2</sup>	土師器	年報14	
08・3・1.12.15	0733 (医病) 日中空港運営施設改修工事	立会調査	84m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・3・17	0734 (医病) 曉天井開口部ファイア設置工事	立会調査	50.3m <sup>2</sup>		年報14	
08・3・21	0735 医学部保健学科ボイラー引込下水道タンク撤去工事	立会調査	40m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・3・21	0736 (大口) 医学部附属病院水槽設置工事	立会調査	73.3m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・3・25	0737 (医病) ソリーネー型地盤改良改修工事	立会調査	208m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・3・27	0738 (本庄) 医學部保健学科記念館改修工事	立会調査	18m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
08・3・31	0739 (医病) 地盤改良改修工事	立会調査	1013.5m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報14	
2008年度						
08・4・2	0801 (医病) 日中空港運営施設改修工事(追加)	立会調査	29m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報15	
08・5・7	0802 開拓系技术復元工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報15	
08・5・20	0803 妊産部屋の管渠埋設ガス管改修工事	立会調査	18m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報15	
08・5・26	0804 (本庄) 駆逐場取扱工事	立会調査	11.1m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報15	
08・6・5	0805 (医病) ボイラー駆逐場新設水槽水修理	立会調査	2m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報15	
08・6・6.10.23.26 7・10.18.28 8・25 12・18	0806 (医病) 地盤改良施設改修配管工事	発掘調査	125.2m <sup>2</sup> 古代	清・ピット・土師器・組合器・石器	本報告題 代西船形	
08・6・20.25 ~7・1 7・26.30 12・18.19						
08・6・20.25	0807 (本庄) 医学部附設講義新設新設改修工事	立会調査	29.7m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報15	
08・6・18	0808 (医病) 有効化実施改修施設改修新設改修工事	立会調査	0.3m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報15	
08・6・23 7・1.3.4 7・15 7・16	0809 (医病) 福利資本修繕工事(追加)	立会調査/発掘調査	23.5m <sup>2</sup> 古代	清・居住址・土師器・石器	本報告題	
08・6・10	0810 宇都毛北地盤水管接修工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報15	

08・7・11	0811	(黒巣) 共通施設Ⅳ階改修気密施設工事	立会調査	36m	道情・道物なし	年報15
08・7・14	0812	(黒巣) 排水改修工事	立会調査	41.1m	道情・道物なし	年報15
08・7・15	0813	(本荘中) 学生忍耐便箋内部ガス配管漏れ修理	立会調査	2.42m	道情・道物なし	年報15
08・8・18	0814	(医病) 取扱機器新設工事	立会調査	8m	赤・青 諸意見	年報15
08・8・20~ 8・22	0815	(医病) 依頼機器新設工事	免会調査	212m	赤生・佐世 諸時代背景・近世機 器生・器・石器・古墳陶器等	本報告書
08・8・21	0816	(本荘中) 木造学習室構内古木配管漏れ修理	立会調査	1m	道情・道物なし	年報15
08・8・29	0817	宇都山法曲園ランプ昇降装置ガス配管修理	立会調査	0.96m	道情・道物なし	年報15
08・9・1	0818	(黒巣) ホンダ西側給水管漏れ修理	立会調査	21m	道情・道物なし	年報15
08・9・9~10	0820	(黒巣) 文化学部新改修南北支廊改築工事	立会調査	80.2m	道情・道物なし	年報15
08・9・9	0821	本荘館(北地)(北地) 通路改良施設ガス配管修理	立会調査	7.4m	道情・道物なし	年報15
08・10・6	0822	本荘館(北地)学習室用窓開閉装置整備	立会調査	30m	道情・道物なし	年報15
08・10・9~10~ 11・28	0819	(渡瀬) 体操部耐震改修その他工事	一次調査	69195m	赤文・古墳 諸文化・器・石器・古墳時代土上・本報告書	本報告書
08・10・10	0823	教育学部附属特別支援学校水槽調査修繕工事	立会調査	4.8m	道情・道物なし	年報15
08・10・15	0824	(本荘中) 医学部保健室改修設備取扱工事	立会調査	0.8m	道情・道物なし	年報15
08・10・28	0825	(医病) 診方工事負担金	立会調査	120.5m	道情・道物なし	年報15
08・10・29	0826	(黒巣) 朝日桜里駅舎木伐採・移設工事	立会調査	44.55m	道情・道物なし	年報15
08・11・4	0827	吾郎閣(200周年記念樹)	立会調査	0.25m	道情・道物なし	年報15
08・11・6	0828	(本荘) こばと保育園改築延長改修工事	立会調査	10.7m	道情・道物なし	年報15
08・11・10	0829	(黒巣) 教育学部リハビリ施設改修機器設備工事	立会調査	35m	道情・道物なし	年報15
08・11・18~19 21・25	0830	(本荘) こばと保育園新設機器設備工事(変更)	一次調査	20m	赤・青 諸古代土器等・組合器・石器	本報告書
08・11・18~20 12・21	0831	(渡瀬) 体操部耐震改修機器改修工事	免会調査	113.3m	道情・道物なし	年報15
08・12・11	0832	文法学部講義室北側給水管漏れ修理	立会調査	10.0m	道情・道物なし	年報15
08・12・3	0833	(黒巣) 教育学部木造改修南側給水管漏水修理	立会調査	1.4m	道情・道物なし	年報15
08・12・10	0834	(本荘中) 共用研究棟新設工事(変更)	立会調査	141.3m	黒曜石	年報15
08・12・11~15 19	0835	(医病) 東病院新設施設設備(衛生)工事(変更)	一次調査	580m	ピット・住居址・土器群・組合器 等・生糞土・織文土器・石器	本報告書
08・12・21~29	0836	(黒巣) 教育学部本館・文化学部本館改修機器設備工事(変更その1), (その2)	一次調査	45651m	古・代 諸・住居址・ピット・土器群・組 合器・石器	本報告書
08・12・22~ 24・25	0837	(黒巣) 教育学部本館改修機器設備工事(変更その1), (その2)	免会調査	1	諸・住居址・ピット・土器群・組 合器・石器	本報告書
09・1・5~2・25 3・19	0838	五高閣(120周年記念樹(追加))	立会調査	0.3m	道情・道物なし	年報15
08・12・26	0839	(黒巣) 教育学部木造改修南側給水管漏水修理	立会調査	60m	道情・道物なし	年報15
09・1・20	0840	(黒巣) 佐原山古墳改修工事	立会調査	43.5m	道情・道物なし	年報15
09・1・22	0841	(黒巣) 佐原山古墳改修工事	立会調査	5m	道情・道物なし	年報15
09・2・2	0842	(黒巣) ものづくり実習室改修工事	立会調査	8m	道情・道物なし	年報15
09・2・4	0843	(本荘) 医学部講義室改修暖機機器設備工事	立会調査	7.2m	道情・道物なし	年報15
09・2・5	0844	(黒巣) ものづくり実習室改修工事	立会調査	5m	道情・道物なし	年報15
09・2・12	0845	(黒巣) 教育学部本館・文化学部本館改修暖機機器設備工事(変更)	立会調査	96m	道情・道物なし	年報15
09・2・12~22	0846	(黒巣) 延長施設新設工事	立会調査	16m	道情・道物なし	年報15
09・2・13	0846	(城東町) 附属施設改修門扉改修工事	立会調査	1m	道情・道物なし	年報15
09・2・13~2	0847	(黒巣) 教育学部本館改修(変更)	立会調査	120.8m	道情・道物なし	年報15
09・2・23~24~ 27~3~ 3~5~ 3~13	0848	(黒巣) 文化学部本館改修(変更、変更その2)	立会調査	128.17m	道情・道物なし	年報15
09・2・27	0849	黒巣北地(北地) 外灯設置その他工事	立会調査	3m	道情・道物なし	年報15
09・2・27~ 3~5~ 3~13	0850	(渡瀬) 体育館耐震改修機器改修工事(追加)	免会調査 (立会調査)	133.2m	道情・道物なし	年報15
09・2・27	0851	(医病) 木路橋改修工事	立会調査	3m	道情・道物なし	年報15
09・2・28	0852	(黒巣) 木桶ボンネット改修工事	立会調査	1m	道情・道物なし	年報15
09・2・28	0853	(黒巣) ものづくり実習室改修暖機機器設備工事	立会調査	0.0m	道情・道物なし	年報15
09・2・29	0853	(黒巣) 教育学部本館改修(変更その2)	立会調査	241.6m	道情・道物なし	年報15
09・2・29~2	0854	(黒巣) 北地校舎(1~4年生改修工事)	立会調査	12m	土器群・組合器	年報15
09・2・29~3~12	0854	(黒巣) 北地区校舎(1~4年生改修工事)	免会調査	10m	ピット・穴井住居址・沿道構 築・土器群・組合器・石器	本報告書
09・2・26	0855	(黒巣) 旧各務処理センター改修電気設備工事	立会調査	20.85m	道情・道物なし	年報15
09・2・27	0856	(黒巣) ものづくり実習室改修新宮工事	立会調査	60.99m	道情・道物なし	年報15
09・3・3	0857	(黒巣) 排除処理セクタースロープ取扱工事	立会調査	331.4m (P1.22m)	道情・道物なし	年報15
09・3・4~6·11	0858	(黒巣) 教育学部本館改修新宮工事	立会調査	117m	道情・道物なし	年報15
09・3・6	0859	(黒巣) 佐原塚先史3番地改修機器設備工事	立会調査	36m (0.32m)	道情・道物なし	年報15

### 3. これまでの調査と本書収録の差異

09・3・6-13	0860	(黒発北) ものづくり実習室Ⅱ新設施設改修工事	立会調査	11551m <sup>2</sup> (17740m <sup>2</sup> )	道情・遺物なし	年報15
09・3・9-11.17	0861	(黒発北) 文字学部本館改修東側改修工事	立会調査	336m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報15
09・3・9	0862	(黒発北) 共用棟屋上改修改修電気設備工事	立会調査	21m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報15
09・3・10-11	0863	(黒発北) バイラー室改修機械設備工事	立会調査	985m <sup>2</sup> (480m <sup>2</sup> )	道情・遺物なし	年報15
09・3・16-23	0864	(黒発北) 廊環境整備(鉢水等)工事	立会調査	11999m <sup>2</sup>	住居址・ビット・土蔵器	年報15
09・3・17	0865	(黒発北) 南地区ボイラー室周辺外張工事	立会調査	20378m <sup>2</sup> (1120m <sup>2</sup> )	道情・遺物なし	年報15
09・3・23	0866	(黒発北) 学会部北側排水等工事	立会調査	18m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報15
09・3・27	0867	(黒発北) 北地区ボイラー室周辺外張工事	立会調査	3274m <sup>2</sup> (361m <sup>2</sup> )	道情・遺物なし	年報15
09・3・31	0868	(医病) カーボンラテ新設工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報15
<b>2009年度</b>						
09・4・15-17	0901	(黒発北) 西門改修棟移築工事	立会調査	18m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・4・20-22	0902	(黒発北) 西門改修工事	立会調査	422m <sup>2</sup>	内壁・屋根改修に伴し黒褐色の住居址となり土蔵器相出	年報16
5・12-25,28					それ以外遺物・遺物なし	
09・4・23	0903	(本荘) 中地区構内アーチー取設工事	立会調査	1.19m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・5・8	0904	(宇宙部) 学生寮宿舎新築棟新設工事	立会調査	16m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・5・8	0905	(黒発北) 屋外街官舎改修工事	立会調査	5.8m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・5・27	0906	(大江) 奏楽部有楽フロンティアセンター新宮その他工事	立会調査	0.8m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・5・28	0907	(医病) 基幹整備(電話交換設備更替)工事その1(変更)	立会調査	11.48m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・6・5	0908	(医病) 基幹整備(電話交換設備更替)工事その2	立会調査	1.6m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・6・4	0909	(大江) 奏楽部本館改修・移植工事	立会調査	10.86m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・6・11	0910	(黒発北) ザスル改修	立会調査	3m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・7・3 7・22	0911	(大江) 奏楽部育樂フロンティアセンター新宮その他電気施設工事	立会調査	324m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・7・6	0912	対馬大学植物園地(東地区)インフラ整備	立会調査	1.2m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	(黒発北) 対馬大学植物園地改修外給水施設修理	立会調査	0.6m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・7・8	0914	(黒発北) 特別支援学校新校舎給水施設修理	立会調査	0.8m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・7・13	0915	(黒発北) 文字学部本館前駆バース新設工事	立会調査	35m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・7・28	0916	(宇宙部) 住学生寮新設軒先電気設備工事(追加その5)	立会調査	2m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・8・7	0917	(本荘) 猿物園内路盤改良工事	立会調査	3m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・8・10	0918	(黒発北) 教育学部本館改修外構工事(変更)	立会調査	30.37m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・9・4	0919	(黒発北) 文字学部本館改修外構工事(変更)	立会調査	4618m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・9・4	0920	(黒発北) 文字学部本館改修外構改修外構工事	立会調査	356m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
10・2-21						
09・9・29	0921	(黒発北) 教育学部本館・文字学部本館改修改修電気設備工事	立会調査	8.86m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・10・6	0922	(黒発北) 工学部研究実験棟新築A棟改修工事	立会調査	3.6m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・10・13	0923	(医病) 東病棟新設西病棟改修(衛生)工事(変更)	立会調査	工事(1.0m <sup>2</sup> ) 古代 発掘調査	ピット・住居 土師器等、埴造器	本報告書
10・27-				±15.9m <sup>2</sup> (0.025合) ±8.35m <sup>2</sup> ±0.3m <sup>2</sup>		
11・30						
11・12						
11・13						
09・10・19 10・23 20・27-30	0924	(医病) 東病棟新設機械設備(衛生)工事 追加その2	立会調査	工事(3.39m <sup>2</sup> ) 古代	ピット	本報告書
				±15.9m <sup>2</sup> (0.023・ 0.023・ 0.023.5) ±7.2m <sup>2</sup> ±22.17m <sup>2</sup>		
09・10・27-30 11・12.13.19 24・26 12・1-3	0925	(医病) 東病棟新設機械設備(衛生)工事 追加その1	立会調査	工事(1.15m <sup>2</sup> ) 古代	ピット・住居址・清 土師器・高环 土師器・埴造器	本報告書
				±12.0m <sup>2</sup> ±7.2m <sup>2</sup> ±22.17m <sup>2</sup>		
09・10・30-32.26	0926	(医病) 基幹整備(自家発電設備充電)工事	立会調査	64m <sup>2</sup>	土蔵器	年報16
09・10・20	0927	(黒発北) ポリ集積場改修工事	立会調査	9.19m <sup>2</sup>	土蔵器	年報16
09・10・21	0928	(黒発北) 教育学部本館・文字学部本館改修機械設備工事	立会調査	3.3m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・10・29	0929	(医病) 第6病棟エレベーター取設工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・11・4	0930	(本荘北) 基礎研究棟北館フレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9m <sup>2</sup>	細器	年報16
09・11・10 11・18	0931	(医病) 東病棟北館節水管等取設工事	立会調査	14m <sup>2</sup>	A・C 遺情・遺物なし B住居址・埴造器系土器・古代土 細器・葉巻器	年報16
09・11・10 11・30- 12・3 12・14	0932	(黒発北) 地図告示壁部分改修工事	立会調査	±1.0m <sup>2</sup> 古代 発掘調査	ピット調査 約20m <sup>2</sup> 約20.7m <sup>2</sup>	本報告書
09・12・9	0933	(京町) 団体小倉学び～道改修機械設備工事	立会調査	1.8m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
09・12・9	0934	(黒発北) 因田病院工学部分改修電気設備工事	立会調査	14.64m <sup>2</sup>	道情・遺物なし	年報16
10・1-7.12.19-28 2・2	0935	(黒発北) 体育館改修電気設備工事	立会調査	423.21m <sup>2</sup> 古代・近代	ピット 上蔵器・埴造器・細器	本報告書

10・1・12	0006	(医師) 日ごと保健衛生室整備	立会調査	12m <sup>2</sup>	現委	年報16
10・1・13・23	0007	(黒堀南) 田舎新工部分室改修機械設備工事	立会調査	50m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・1・14 2・17～19	0038	(黒堀南) エコロジーシステム実施接地工事	立会調査／ 実施調査	10m <sup>2</sup> 現・文	現・包装袋 壁土器・弥生上器	本報告
10・1・15	0009	(黒堀北) 教育学部本館Ⅱ期改修西面斜材工事	立会調査	12m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・1・16	0010	(黒堀南) 生物生息環境資源解剖室新工事	立会調査	1m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・1・19	0011	(黒堀北) 体育組合外構改修工事	立会調査	1m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・1・19	0012	(黒堀北) 体育組合外構改修工事	立会調査	1m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・2・2	0013	(黒堀北) 領事館工部品外構工事	立会調査	7m <sup>2</sup>	V字型道構(溝?)	年報16
10・2・8	0014	(黒堀北) 教育学部本館Ⅱ期改修東外構工事	立会調査	1m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・2・8	0015	(黒堀北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事	立会調査	3m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・2・8	0016	(黒堀北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事	立会調査	72m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16 (二期) 仮設
10・2・12	0047	(文法) 文学部講義棟外壁工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・2・15	0048	(黒堀北) 教育学部東校庭改修外構増築・新設施工事	立会調査	45m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・2・15	0049	(黒堀北) 教育学部東校外構工事	立会調査	0.5m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・2・15	0050	(黒堀北) 教育学部東校改修機械設備工事	立会調査	4m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・2・15	0051	(黒堀北) 教育学部東校改修機械設備工事	立会調査	65m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・2・22	0052	(黒堀南) 物生北環境資源解剖室新設改修工事	立会調査	15m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・2・22	0053	(黒堀南) 物生北環境資源解剖室新設改修工事	立会調査	1m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・1	0054	(黒堀南) 地盤整備(駐輪場等)工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・1	0055	(黒堀南) 地盤整備駐輪場等改修工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・2	0056	(本荘中) 小イタ・聖堂改修機械設備改修の工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・3	0057	(人江北) 葵学部外構改修工事	立会調査	3m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・4	0058	(黒堀東) 教育学部周囲支援用校舎小屋面改修工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・4	0059	(黒堀北) 教育学部多目的桶配水管・連結主管工事	立会調査	2m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・5	0060	(本荘北) 医学部新校舎改修工事	立会調査	17m <sup>2</sup>	道構戻り板出し、計画変更により保 存・消去なし	年報16
10・3・8	0061	(黒堀南) 常磐倉庫2段取扱工事	立会調査	0.83m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・8	0062	(黒堀南) 大学院自然科学研究院実験棟地盤床工字瓦剥離改修工事	立会調査	0.7m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・10	0063	(京町) 附属中学校校舎外側水管改修工事	立会調査	0.63m <sup>2</sup> 齐・生	ピット・洗・床み 弧形時代差柱付柱	年報16
10・3・11	0064	(黒堀北) 体育施設改修機械設備工事(電柱撤去)	立会調査	12m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・11	0065	(黒堀北) 文法学部本館前駐輪場撤去工事	立会調査	0.48m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・12	0066	(黒堀北) 保健センター周外消防栓取扱工事	立会調査	0.8m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・15	0067	(黒堀南) 事務局外客用受付事務取扱工事	立会調査	23m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・16	0068	(黒堀北) 共用裏契石塀改修機械設備改修工事	立会調査	3.76m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・19	0069	(黒堀北) リサイクルストリート給水工事	立会調査	0.24m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・23	0070	(黒堀北) 附属中学校教育活動室改修改修工事	立会調査	0.12m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・23	0071	(黒堀北) 文法学部吉野川橋設置工事	立会調査	1.8m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・26	0072	(本荘中) 保健センター種類外配管工事	立会調査	8.7m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
10・3・26	0073	(大江北) 葵学部新校舎外配水管改修工事	立会調査	0.31m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報16
<b>2010年度</b>						
10・4・6	1001	(本荘中) ガスメータ・タイヤガス埋設設置洞開	立会調査	39m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・6・25 9・1	1002	(黒堀北) 文法学部本館前ガーデン設置工事	立会調査	22m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・6・30	1003	(黒堀南) 生物生息環境資源解剖室新設工事	立会調査	0.18m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・8・4	1004	(黒堀北) 守護女神・シマリ改修改修工事	立会調査	110m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・8・9	1005	(京町) 附属小学校給排水設備工事	立会調査	17m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・8・10 9・26～10	1006	(黒堀北) 文法学部本館改修改修外構工事	立会調査／ 実施調査	1211.68m <sup>2</sup> 古・代	ピット・往復柱・織鮫土 土跡・根思存	本報告
11・3・8	1007	(黒堀北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	482m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・8・11	1008	(黒堀北) 高圧配管等改修工事	立会調査	13m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・9・1 9・3	1009	(黒堀北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修改修気密性工事	立会調査／ 実施調査	16m <sup>2</sup> 古・代	ピット・道物なし	年報17
10・9・15	1010	(城東) 関属施設附属施設ガス漏れ修理	立会調査	2m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・9・21	1011	(黒堀北) 理学部1・2号館小屋積載	立会調査	23m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・10・43,7	1012	(黒堀北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事(追加)	立会調査	67.2m <sup>2</sup>	道構なし 土跡部分	年報17
10・10・43,7	1013	(黒堀北) 教育学部本館・文法学部本館改修改修等工事	立会調査	82m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・11・10,11	1014	(黒堀北) 教育学部本館改修改修等工事	立会調査	91.63m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・10・26 11・2・110, 15・22,25 3・23	1015	(黒堀北) 教育学部本館改修外構工事	立会調査	240.01m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・10・7	1016	(黒堀北) 教育学部淨化槽等改修工事	立会調査	98.86m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・12・6	1017	(本荘中) ニスコート・整備工事	立会調査	0.25m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17
10・12・20	1018	(黒堀北) 五高記念館木修替工事	立会調査	4m <sup>2</sup>	道構なし 根思存・土跡部分	年報17
10・12・20	1019	(黒堀北) 五高記念館新設工事	立会調査	5m <sup>2</sup>	道構・道物なし	年報17

### 3.これまでの調査と本書収録の道跡

10・12・27	1020	(木造) テニスコート整備工事(追加)	立会調査	0.5m	遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1021	(黒斐北) 高志記念館新所新管配管工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1022	(黒斐北) 高志記念館新所新管配管工事	立会調査	202m	遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1023	(黒斐南) 地盤改良工事	立会調査	6.96m	遺構・遺跡なし	年報17
11・2・4	1024	(木造) カーブドラー設置工事	立会調査	0.25m	遺構・遺物なし	年報17
11・2・24.25	1025	(木造中) 医学部基礎研究棟とりこわし支障配管修理工事	立会調査	175.5m	遺構・遺物なし	年報17
11・3・2	1026	(黒斐北) 教育学部北校舎排水設備修理工事	立会調査	10.3m	遺構・遺物なし	年報17
11・3・9	1027	(黒斐北) 西地区校舎所新管配管設置改修工事	立会調査	9.6m	遺構・遺物なし	年報17
11・3・10	1028	(黒斐北) 教育学部本館正面入口前の大型修理	立会調査	2.7m	遺構・遺物なし	年報17
11・3・16	1029	(木造北) 学生部棟とりこわし工事	立会調査	3m	遺構・遺物なし	年報17
11・3・22				0.75m		
11・3・17	1030	(黒斐南) 墓塚整備(墓塚等)工事	立会調査	1m	遺構・遺物なし	年報17
11・3・23	1031	(黒斐北) 教育学部木造西廊・文法学部本館北側排水設備改修工事	立会調査	205.7m	遺構・遺物なし	年報17
<b>2011年度</b>						
11・4・18.19	1101	(黒斐南) 半導体引込管改修工事	立会調査	12m	遺構・遺物なし	年報18
11・5・30	1102	(木造中) 医学部基礎研究棟A棟とりこわし支障配管修理工事	立会調査	62m (8.2m)	遺構・遺物なし	年報18
11・6・17	1103	(黒斐南) 木板張替緊急工事	立会調査	6.6m	遺構・遺物なし	年報18
11・4・6 6・23 9・22	1104	(木造北) 離島医学教育研究センター(仮称) 整備事業 発掘調査	立会調査 / 調査51.2m 発掘503.9m	古代・近代 土師器・埴輪器・人骨・瓦片・泥面・瓦器	本報告区	
11・6・22	1105	(黒斐南) 植物文化調査在室抜本修改設置工事	立会調査	3.5m	遺構・遺物なし	年報18
11・6・31 10・17・19 11・14.19 21.24-25 11・28 12・9.12-14	1106	(木造中) 医学部基礎研究棟(A棟)とりこわし工事 発掘調査	立会調査 / 発掘調査 立会調査 / 古墳・古 代・近世 土師器・埴輪器	1566.04m 3.5m	古墳・古 代・近世 土師器・埴輪器	本報告区
11・7・5	1107	(医病) 中監視工事	立会調査	8.9m	遺構・遺物なし	年報18
11・7・11	1108	(黒斐北) 葬券用施設改修工事	立会調査	71.3m (3.6m)	遺構・遺物なし	年報18
11・7・11 8・15	1109	(黒斐北) 罷害者用施設改修施設設備工事	立会調査	50.7m	遺構・遺物なし	年報18
11・7・26	1110	(黒斐北) 高志記念館新管シアリ被災支柱修理取替工事	立会調査	3.53m	遺構・遺物なし	年報18
11・8・18	1111	(黒斐南) 自然科学研究科研究棟・理学部研究棟崩落踏査 没等対策工事	立会調査	0.66m	遺構・遺物なし	年報18
11・9・21.22 26・29 10・4.11 26・28 31	1112	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配管・配管管柱) / 機械設置工事	立会調査 / 発掘調査 立会調査 / 古墳・古 代・近世 土師器・埴輪器	500m 500m	穴尖居延・浜状遺構・ピット 古代土師器・埴輪器	本報告区
11・9・21	1113	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配管・配管管柱) 工事	立会調査 / 発掘調査	264.83m	1112同上地点と同様	本報告区
11・10・11・13 17.18.11・1.11	1114	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配管・配管管柱) 機械設置工事等	立会調査 / 発掘調査 立会調査 / 古墳・近世 土師器?・漢・ピット 遺物なし	184.81m 184.81m	古代・近世 土師器?・漢・ピット 遺物なし	本報告区
11・9・20	1115	(黒斐北) ラグビー場給水管修理工事	立会調査	2.3m	遺構・遺物なし	年報18
11・10・24- 30・27	1116	(黒斐南) 文化部新義理研究施設等改修工事	立会調査 / 発掘調査	20m 古代	穴尖居延?・ピット 古代土師器・埴輪器	本報告区
11・10・24.25 12・12	1117	(木造中) 医学部基礎研究棟とりこわしに伴う中庭整備	立会調査	491.7m	遺構なし 土師器片	年報18
12・1・27						
11・11・15	1118	(大江) 地下支柱撤去及び支柱新設	立会調査	0.42m	遺構・遺物なし	年報18
11・11・22 12・14	1119	(医病) 基幹・環境整備(旧中央治療棟等とりこわしに伴う 支障解消工事) 工事	立会調査	407m	遺構・遺物なし	年報18
12・1・17.38						
11・11・24.25	1120	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟北側平屋部とりこわし) 工事	立会調査	728m	遺構・遺物なし	年報18
11・11・28- 12・6・4	1121	(黒斐南) 基幹・環境整備(屋外排水設備等) 工事	立会調査 / 発掘調査	7748.6m 縄文・弥生・古墳疑?・土坑・漢・浜状遺構 古・羽・古・ビット・浜状状遺構・地盤・鉢 ・中・良・壺・甕・陶文・墨片・土師器・瓶 ・壺・近現代・遺物・片口・圓錐・環礁石ナツブ・黑 鶴・底石片・環礁石苔・砾石?	縄文・弥生・古墳疑?・土坑・漢・浜状遺構 古・羽・古・ビット・浜状状遺構・地盤・鉢 ・中・良・壺・甕・陶文・墨片・土師器・瓶 ・壺・近現代・遺物・片口・圓錐・環礁石ナツブ・黑 鶴・底石片・環礁石苔・砾石?	本報告区
11・12・5	1122	(医病) 基幹・環境整備(由須賀付管室とりこわし) 工事	立会調査	165.5m	遺構・遺物なし	年報18
11・12・5 12・2・3	1123	(医病) 基幹・環境整備(中庭支撑木撤去) 工事	立会調査	21.6m	遺構・遺物なし	年報18
11・12・9	1124	(黒斐北) 北地区食堂屋外給水管工事	立会調査	154m	遺構・遺物なし	年報18
11・12・19.20	1125	(大江北) 北門周辺環境整備(扶手・外灯) 工事	立会調査 / 発掘調査	837m 古代	唐 土師器片・磁石・片口	本報告区
11・12・19	1126	(大江北) 北門周辺環境整備(道路等) 工事	立会調査	4.77m	遺構・遺物なし	年報18
12・1・12	1127	(医病) 施設管理棟ボイラー室ドレン配管改修工事	立会調査	8.1m	遺構なし・土師器片	年報18
12・1・16	1128	(黒斐北) 西地区食堂・保健センター西側ガス配管修理	立会調査	52.2m	遺構・遺物なし	年報18
12・1・17.18.20 2・36・7	1129	(医病) 基幹・環境整備(旧中央治療棟等とりこわし) 工事	立会調査 / 発掘調査	7160m 古墳・古代・土坑・ビット 古代土師器・埴輪器・石質品	古墳・古代・土坑・ビット 古代土師器・埴輪器・石質品	本報告区
16.17.20.21.27						

11・12・8/13/14 12・1・24/26・27 2・8/15	1130 (本荘中) 医学部基礎研究棟 (B・D棟) よりこわし工事 立会調�査 / 発掘調査	L1696m <sup>2</sup> 中央以降 講、土坑、ピット 土師器片、動物骨	本報告X
12・1・25	1131 (京町団地) 墓地整備 (法面保護) 工事 立会調査	43m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・1・31 2・16	1132 (医病) 系幹・環境整備 (造り直し) よりこわし工事 立会調査	146m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・2・8	1133 (本荘中) 医学部別館のイター室改修機械設備工事 立会調査	46.5m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・2・16/17 21	1134 (黒髪南) 理学部講義場整備その他の工事 (その1) 立会調査	747m <sup>2</sup> 住居もしくは酒とと思われる遺構 マジン、遺物なし	年報18
12・2・16	1135 (黒髪南) 理学部講義場整備その他の工事 (その2) 立会調査	1m <sup>2</sup> (120m <sup>2</sup> ) 遺構・遺物なし	年報18
12・2・16/20/21	1136 (黒髪南) 理学部講義場整備その他の工事 (その3) 立会調査	608m <sup>2</sup> 住居跡か? 土師器片、発掘調査	年報18
12・2・20	1137 (黒髪南) 理学部3号館スロープ取扱工事 立会調査	115.6m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1138 (宇留市) 建築省表示板設置 立会調査	0.69m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1139 (黒髪南) 遺跡若狭・イン設置工事 立会調査	0.62m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1140 (京町) 墓地整備 (法面整備) よりこわし工事 立会調査	18m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1141 (京町) 墓地整備 (南側開闢) 工事 立会調査	20m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・3・7	1142 (大江) 草薙植物園野外施設改修工事 立会調査	16m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・3・12	1143 (本荘中) ガス供給施設改修 立会調査	24.8m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・3・14	1144 (本荘中) エヌイズ医学研究センター・生命資源研究・支援センター・動物資源充実施設改修工事 立会調査	7.8m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報18
12・3・25~3・27 4・24 8・21~23	1145 (医病) 基幹・環境整備 (第6棟様よりこわし) 工事 立会調査 / 発掘調査	427.3m <sup>2</sup> 古代・中世 講、土坑、ピット 13席 土師器片、瓶の取手・発掘調査	本報告X
<b>2012年度</b>			
12・4・10	1201 (黒髪北) 事務局街頭駄菓子本舗工事 立会調査	0.9m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・6・13	1202 (京町) 附属小学校給食センター・施設・洗浄調査実務 立会調査	7.1m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・6・14/15 6・18 7・9/10 10・15/16	1203 (本荘中) 本庄地区駅車庫配管工事 (新設) 立会調査	159.7m <sup>2</sup> 組合	年報19
12・6・20/29 7・326 8・31 8・6/17	1204 (本荘北) 樹木移植等工事 立会調査	130m <sup>2</sup> 組合	年報19
12・6・19~7・19	1205 (本荘中) 医学部基礎研究棟 (D棟側) よりこわし工事 立会調査 / 発掘調査	756m <sup>2</sup> 古代・近世 講、ピット・土師器・組合、陶 組合、灰骨	本報告X
12・6・25	1206 (黒髪北) 五高記念館南側外縁水管接続工事 立会調査	1.8m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・6・29 7・3・5	1207 (本荘北) 水道貯留池兼超過区画土壌保険除去に伴う立会調査 立会調査 / 発掘調査	100m <sup>2</sup> 古代・近代 堅穴住居址、窓、溝 (保存)、 ピット・土師器・発掘器	年報19
12・7・9/10	1208 (本庄中) 交通艇車庫・配管改修工事 立会調査	73.7m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・7・9/10/11	1209 (本荘中) 佐倉郡農業研究センター排水工事 立会調査	9.7m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・7・17	1210 (京町) 附属小学校給食本管改修工事 立会調査	3.3m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・7・23/24	1211 (京町) 教育学部附属中学校西側・フェンス改修工事 立会調査	3.2m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・7・31	1212 (医病) 西病院西側宿泊施設改修工事 立会調査	6.9m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・8・17~20	1213 (本荘北) 本庄地区駅車庫配管改修工事 立会調査	46.8m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・8・16/17/20 9・5	1214 (本荘北) 交通艇車庫改修工事 立会調査	224.3m <sup>2</sup> 組合・土師器	年報19
12・8・21	1215 (城東) 教育学部用施設外縁水管改修工事 立会調査	3.8m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・8・28	1216 (京町) 附属小学校体育系桿枝接水管改修工事 立会調査	205m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・8・30	1217 (医病) 牽引車庫改修工事 立会調査	41m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・9・3・3	1218 (黒髪北) 管理運営システム取扱工事 立会調査	200.2m <sup>2</sup> ピット・土坑・周辺	年報19
12・9・12/13	1219 (大江) 早野保育室改修工事 立会調査	29.9m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・9・14	1220 (黒髪北) ブール俄羅記念館改修工事 立会調査	12m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・9・19	1221 (京町) プリオ理容院改修工事 立会調査	171m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・9・20/21	1222 (医病) 外来診療棟新設機械設備工事 立会調査	40m <sup>2</sup> 遺構?	年報19
12・9・26~28 10・1~	1223 (本荘中) 国際先進医学研究拠点新設研究工事 立会調査 / 発掘調査	1050m <sup>2</sup> 古代・近世 講、堅穴住居址、掘立柱建物、 土坑、ピット・石製品・土器、 瓦窓器、周辺器、土製品・焼製 品・灰骨	本報告X
12・10・15/23/24	1224 (黒髪北) 理学部出張室よりこわし工事 立会調査	14.6m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・11・9	1225 (医病) 西病院西側宿泊改修工事 立会調査	31.6m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・11・13	1226 (本荘北) 付帯施設新設運送機械設備工事 立会調査 / 発掘調査	22m <sup>2</sup> 遺構	年報19
12・11・19/20/21	1227 (本荘中) 体操駐車場新宮その他の工事 (追加) 立会調査	27.6m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・11・26/27 12・20	1228 (黒髪北) 理学部講義場新設工事 立会調査	27.6m <sup>2</sup> 古代 講又は住居跡?	年報19
12・12・10	1229 (黒髪北) 教育学部多機能施設改修工事 立会調査	2.9m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
12・12・18/19	1230 (黒髪北) 教育学部新館改修工事 立会調査	5.2m <sup>2</sup> 古代 ピット・土師器・組合	年報19
12・13・28/29	1231 (医病) 東部A棟新設施設外縁水管改修工事 立会調査	36.6m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
13・1・30	1232 (大江) 大江地区F1号施設新設外縁水管改修工事 立会調査	1.2m <sup>2</sup> 遺構・遺物なし	年報19
13・2・7/8 12/13	1233 (本荘中) 医学部別館のイター室実験改修工事 立会調査 / 発掘調査	9.3m <sup>2</sup> 古代 ピット・土師器	本報告X

### 3. これまでの調査と本書収録の跡跡

年	件名	調査年	調査方法	調査範囲	調査結果	参考文献
13・2・21	1234 (本庄北) 医学部駐船場取扱工事	立会調査 / 発掘調査	24.1m <sup>2</sup> 古代・近世 土器・土師器・埴輪・瓦器	年報19		
13・2・21	1235 (医病) 僧内ガメ皆緊急修理工事	立会調査	1.1m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
13・2・27	1236 (黒契北) 教育学部附属施設工事	立会調査	0.6m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
13・2・27	1237 (黒契北) 理学部3号館宿泊施設物置工事	立会調査	90m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
13・2・28	1238 (黒契北) 気象台附属新貯水槽工事	立会調査	11.2m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
13・3・5	1239 (医病) 僧内ガメ皆緊急修理工事	立会調査	8.0m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
13・3・6	1240 (黒契北) 工学部駐船場工事	立会調査	2.7m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
13・3・7	1241 (京町) 教育学部附属小学校校舎AB棟空調和設備取扱工事	立会調査	27.2m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
13・3・11.14	1242 (本庄中) 動植物資源研究室発電施設本部施設地下タンク削工事	立会調査	298m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
13・3・21.25	1243 (本庄南) 保健学科E棟附属施設物置工事	立会調査	29m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
13・3・26	1244 (本庄北) 道風館宿舎1階内体育館改修機械設備工事	立会調査	1.8m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報19	
<b>2013年度</b>						
13・5・21~7・27	1301 (黒契北) 道風館宿舎中央部施設工事	立会調査	298.0m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・5・21~7・10	1302 (黒契北) 道風館宿舎中央部施設設備設置工事	立会調査 / 発掘調査	3950.0m <sup>2</sup> 古代 住居・住穴・土器器・埴輪器	年報20		
13・5・21~6・12	1303 (黒契北) 道風館宿舎中央改修改修気密化工事	立会調査	97.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・5・25.31	1304 (黒契北) 高齢者記念館耐震補修工事	立会調査	0.45m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・6・17.21.25	1305 (黒契北) 国際革新技術研究拠点施設改修工事に伴う支障排水工事	立会調査	127.60m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・6・18~7・12	1306 (黒契北) 道風館宿舎中央部改修工事	立会調査 / 発掘調査	1398.0m <sup>2</sup> 古代 清	年報20		
13・7・19	1307 (黒契北) 事務所本館西側創傷修理工事	立会調査	4.10m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・7・19	1308 (大江北) 學業支援センターとりこじ工事	立会調査	47.05m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・8・8~10・4	1309 (黒契北) 国際革新技術研究拠点施設改修その他の工事	立会調査 / 発掘調査	632.00m <sup>2</sup> 近現代 陶器・土壙器・縄文器・陶祖像・ガラス製品・面子・鉄製品	本書		
13・8・8~10・20	1310 (黒契北) ライフライン再生(筋助設置等)工事	立会調査 / 発掘調査	5275.60m <sup>2</sup> 近・古・中・近・古・清・陶器器・土壙器・柱・柱頭器・鉄器・純土瓦・石器	年報20		
13・9・24~10・4	1311 (黒契北) 国際革新技術研究拠点施設改修工事に伴う支障配管改修工事	立会調査	101.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・10・11	1312 (黒契北) 知向給水施設漏水補修工事	立会調査	0.855m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・9・13	1313 (黒契北) テニスコート改修工事	立会調査	6.48m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・9・2・2	1314 (黒契北) 知向改修改工事	立会調査	41.45m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・9・12~14・3・14	1315 (黒契北・黒契東) 郡市立病院事務室 中部及び東部処理(雨水貯留貯留)(C~3、E~4)基盤工事	立会調査	580m <sup>2</sup> 近代 陶器器	年報20		
13・10・28	1316 (医病) 中央治療棟東側雨水取扱工事	立会調査	0.50m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・11・1~13・18	1317 (本庄中) 基幹整備(自家発電設備)工事(地下タンク) (排水) (発電機設置)	立会調査 / 発掘調査	10.10m <sup>2</sup> 古代 住居・清・柱穴・土器器・埴輪器	年報20		
13・11・1~13・18	1318 (本庄中) 基幹整備(自家発電設備)工事(発電機設置)	立会調査 / 発掘調査	236.00m <sup>2</sup> 古代 住居・清・柱穴・土器器・埴輪器	年報20		
13・11・1~13・18	1319 (本庄中) 基幹整備(自家発電設備)工事(煙管配管)	立会調査 / 発掘調査	155.90m <sup>2</sup> 古代 住居・清・柱穴・土器器・埴輪器	年報20		
13・11・20	1320 (医病) 緑道整備(東側駐車場等)工事(植栽・構造物関係)	立会調査	3,209.80m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・11・15~14・12・9	1321 (医病) 緑道整備(東側駐車場等)工事(人孔・雨水開閉)	立会調査	989.50m <sup>2</sup> 古代 住居・清・柱穴	年報20		
13・11・15~14・12・2	1322 (医病) 駐車場整備(東側駐車場等)工事(樹木整備)	立会調査	73.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・11・23	1323 (医病) 作業場改修機械設置工事	立会調査	375m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・11・19	1324 (医病) 設備管理棧橋ドライヤー設置等工事(配管工事)	立会調査	17.0m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・11・20~11・13	1325 (医病) 基幹整備(清掃)工事	立会調査 / 発掘調査	468.00m <sup>2</sup> 古代 柱穴・土器器	年報20		
13・11・21.22	1326 (医病) 旧対話交換室改修機械設置工事	立会調査	1378m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・11・21.22	1327 (医病) 旧対話交換室改修機械工事	立会調査	36.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・11・25.26	1328 (医病) 清掃待合室外階段改修工事	立会調査	30.50m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・11・29	1329 (本庄北) 駐車場ゲートインター車移設工事	立会調査	22.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・11・28~14・2・7	1330 (城東町) 教育学部附属施設改修管理棧橋等改修その他の工事	立会調査	208.49m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・12・9~14・1・14	1331 (本庄中) 国際革新医学研究拠点新省営電気設備工事	立会調査	8351m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
13・12・9	1332 (本庄中) 国際先端医学研究拠点新省営電気設備工事	立会調査	75.26m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
14・2・25	1333 (医病) 設備管理棧橋ドライヤー設置等工事(清掃下タンク清掃) (内蔵・外蔵洗浄用具)	立会調査 / 発掘調査	101.56m <sup>2</sup> 古代 柱穴・土器器・埴輪器	年報20		
14・1・17~2・12	1334 (医病) 清掃待合室改修工事	立会調査	128m <sup>2</sup> 近現代 陶祖像	年報20		
14・1・21	1335 (黒契北・黒契東) 交通安全施設更新工事	立会調査	0.64m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
14・1・31	1336 (大江北) PHSモニタ改修工事	立会調査	529.10m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
14・2・5	1336 (城東町) 教育学部附属施設改修管理棧橋等改修その他の工事(機械)	立会調査	20.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
14・2・10	1337 (医病) 外系診療棟新省営機械設備工事	立会調査	10.62m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
14・2・17	1338 (黒契北) 全学教育科(3・4種)スマー取扱工事	立会調査	57.68m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
14・2・17~26	1339 (黒契北・南) 対外サイン設置工事	立会調査	196.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
14・2・28	1340 (黒契北) 黒契北の丸A (HSE外門) (宿舎) 改修工事	立会調査	39.30m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	
14・2・21	1341 (京町) 教育学部附属中学校門扉改修工事	立会調査	20.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20	

14-2-25 3-13-17	1342	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他の工事	立会調査	4870m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-12-25	1343	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他の工事(横風設置工事)	立会調査	58800m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-2-21-3-13	1344	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他の工事	立会調査	70290m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-2-23-3-12	1345	(本庄中地) 基盤整備(給水設備等)工事(本庄中地)(分)	立会調査	90000m <sup>2</sup>	遺構・古瓦	年報20
14-3-6-3-17	1346	(黒壁山) 総合研究棟(工学系)改修工事	立会調査	2945m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-6	1347	(黒壁山) 総合研究棟(工学系)改修工事	立会調査	132300m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-2-27	1348	(黒壁山) 総合研究棟(工学系)改修施設改修工事	立会調査	1876m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-2-27-3-17	1349	(黒壁山) 総合研究棟(工学系)改修施設改修工事	立会調査	36500m <sup>2</sup>	近世・陶磁器・瓦・瓦面瓦	年報20
14-2-28	1350	(京町) 芝生樹木撤去	立会調査	5730m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-10	1351	(京町) 芝生樹木撤去	立会調査	14100m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-2-28	1352	(城東) 教育学部附属施設改修プロック解体工事	立会調査	27200m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-6	1354	(黒壁山) 黒壁山新庫改修機械設備工事	立会調査	0m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-6	1355	(黒壁山) 塗装看板新設	立会調査	5250m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-7	1356	(大江町) 墓室北詔門人口胸像設置工事	立会調査	400m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-7	1357	(大江町) 塗装看板新設	立会調査	2450m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-7	1358	(大江町) 支障樹木撤去	立会調査	1880m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-22	1359	(黒壁山) 沥透排水渠敷設工事	立会調査	42700m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-19	1360	(黒壁山) 重要文化財大蔵記念館耐震補強改修	立会調査	2040m <sup>2</sup>	近代・陶磁器・瓦	年報20
14-3-19-2020	1361	(黒壁山) 重要文化財工学部研究資料館耐震補強改修	立会調査	400m <sup>2</sup>	陶磁器	年報20
14-3-27	1362	(京町) 教育学部附属小学校学業記念碑塗装工事	立会調査	400m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
14-3-28	1363	(黒壁山) 管理スマートナー取扱工事	立会調査	22300m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報20
<b>2014年度</b>						
14-4-3	1401	(黒壁山) 対着調査指揮指向排水井コンクリート改修工事	立会調査	4.41m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-4-11	1402	(大江町) 体育館改修工事の施工事	立会調査	91080m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-4-14-16	1403	(大江町) 体育館改修工事の施工事(機械設備工事)	立会調査	41400m <sup>2</sup>	古代・土器部	年報21
14-4-14	1404	(大江町) 体育館改修工事改修工事	立会調査	44250m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-4-17	1405	(京町) 教育学部附属小学校学業記念碑再構築	立会調査	400m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-4-18-19	1406	(本庄中) 因循先端医学研究所新設その他の工事(外構工事)	立会調査	167270m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-5-30	1407	(京町) 教育学部附属小学校校舎新設シニアココロにわくに作る立会調査	立会調査	350m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
<b>文化財監督工事</b>						
14-6-9	1408	(男鹿川) 本庄(旧事務所本局)基礎調査	立会調査	2100m <sup>2</sup>	近代・小林瓦基礎	年報21
14-6-21	1409	附属施設改修工事(瓦ネット取り)	立会調査	180m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-6-20	1410	(黒壁山) 用賀園前史館看板新設工事	立会調査	0.60m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-6-19-26	1411	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事	立会調査	16.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-6-29	1412	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事	立会調査	39670m <sup>2</sup>	土器部	年報21
14-7-8-14	1413	(医病) 中央保健推進環境整備工事	立会調査	225.90m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-7-8-14	1414	(医病) 中央保健推進環境整備(焼却設備)工事	立会調査	21.00m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-7-25	1415	(黒壁山) 体育館改修電気設備工事(既設電源)	立会調査	2100m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-9-4-	1416	(黒壁山) 式道場等改修防災設備工事	立会調査	106730m <sup>2</sup>	古代・近代・ビット・頸差器・土器部・瓦	年報21
14-9-15					器・瓦器	
14-9-9-11-	1417	(京町) 教育学部附属小学校校舎新設その他の工事(建築工事)	立会調査	747.90m <sup>2</sup>	先代・古代・住居・清・ビット・植物遺存・瓦・瓦面瓦	年報21
15-6-10			瓦面調査		近代・瓦器・土器部・瓦面瓦	
<b>14-9-16-11-20</b>						
14-10-10-14	1418	(黒壁山) 國際革新技術研究拠点施設新規機械設備工事	立会調査	53200m <sup>2</sup>	近現代・土坑墓・墓石・骨董・陶器部	年報21
14-10-10-14	1419	(黒壁山) 国際革新技術研究拠点施設新規芸術新設芸術新設工事	立会調査	49.38m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-10-14	1420	(本庄中) 体育館改修機械設備工事	立会調査	2600m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-10-14-15	1421	(本庄中) 体育館改修工事	立会調査	320.02m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-10-14	1422	(本庄中) 体育館改修電気設備工事	立会調査	6.48m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-10-16-17	1423	66kV 鹿屋恵庭太洋学部附属琵琶Oケアツ改修工事	立会調査	14825m <sup>2</sup>	古代・唐・土器部・瓦器	年報21
15-9-2			瓦面調査		唐・土器部・瓦器	
14-10-29-11-26	1424	(医病) 估木保根採採査	立会調査	21.16m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-11-21-	1425	(本庄中) 防災研究施設新設その他の工事(地下駐車棧・廻廊)	立会調査	162650m <sup>2</sup>	古代・近代・地盤・植生	本報告書
15-7-29					地盤・植生	
14-11-17-12-24-	1426	(本庄中) 防災研究施設改修その他の工事(本庄工事)	立会調査	214100m <sup>2</sup>	古代・近代・地盤・植生	本報告書
15-11-2			瓦面調査		地盤・植生	
14-11-18	1427	(黒壁山) 体育館改修工事	立会調査	81100m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-11-19	1428	(京町) 教育学部附属小学校実践学舎合むら等外部改修工事	立会調査	7500m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-12-12-	1429	(黒壁山) 本部原木スロープ改修工事	立会調査	282.90m <sup>2</sup>	古代・近代・上層部・地盤・瓦器・陶器部	年報21
15-7-24			瓦面調査		上層部・地盤・瓦器・陶器部	
14-12-12-	1430	(黒壁山) 本部原木スロープ改修工事	立会調査	19577m <sup>2</sup>	古代・古代・土器部・植生	年報21
15-7-24			瓦面調査		土器部・瓦器・植生	
14-12-15-16	1431	(京町) 教育学部附属小学校校舎改修その他の工事	立会調査	1250m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-12-18-	1432	(医病) 管理改修その他の工事(撤去)	立会調査	279.70m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
15-6-21						
14-12-19	1433	(医病) 室内復設装置美術	立会調査	2800m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
14-12-22	1434	(黒壁山) 黒壁山SI太陽光発電システム基礎設置その他の工事	立会調査	77.90m <sup>2</sup>	上部片・建物基礎	年報21
14-12-22					建物基礎	
14-1-7-6-2	1435	(黒壁山) 黒壁山SI等太陽光発電システム基礎設置その他の工事(瓦面瓦)	立会調査	4600m <sup>2</sup>	遺構・遺物なし	年報21
15-1-16						
14-1-7-6-2	1436	(黒壁山) 本部エレベーター機増築工事	立会調査	0.030m <sup>2</sup>	古代・近代・地盤・瓦器・植生	年報21

### 3. これまでの調査と本書収録の跡跡

15-1-14~97	1437	(黒斐南) 本部改修その他の施設設備工事	立会調査	1020ml	古代・近 代	赤城瓦基礎。土細器、瓶底器、陶 器	年報21
15-2-9	1438	(黒斐北) 総合研究棟(教育学系)改修その他の工事	立会調査	159.10ml		遺物・遺物なし	年報21
15-2-9~25	1439	(黒斐北) 総合研究棟(教育学系)改修機械設備工事	立会調査	73.00ml		遺物・遺物なし	年報21
15-2-103-4	1440	(黒斐北) 体育館改修電気設備工事	立会調査	15.80ml		遺物・遺物なし	年報21
15-2-12	1441	(本荘北) 駐車場改修新規機械設備工事	立会調査	40.00ml		遺物・遺物なし	年報21
15-2-25~7-3	1442	(民営) 管理棟改修その他の工事	立会調査	563.40ml		遺物・遺物なし	本報告23
15-2-26~4-16	1443	(京町) 教育部附属小学校新築その他の施設設備工事(その2)	立会調査	241.80ml	弥生	遺物・ビット。弥生土器	本報告23
15-2-27	1444	(黒斐北) 逆学系サーカス棟新規その他の工事	立会調査	64.80ml		遺物・遺物なし	年報21
15-3-2~3-6	1445	(黒斐北) 場地整備(駐車場等)に伴う樹木等移植作業	立会調査	96.00ml		遺物・遺物なし	年報21
15-3-18~23	1446	(黒斐北) 場地整備(駐車場等)工事	立会調査	191.00ml		遺物・遺物なし	年報21
15-3-3	1447	(黒斐北) 屋外サイン設置工事(大江)	立会調査	32.60ml		土師器	年報21
15-3-4	1448	(黒斐北) 屋外サイン設置工事(野型)	立会調査	57.80ml		遺物・遺物なし	年報21
14-12-24	1449	(黒斐北) 全学年棲宿外ガス管路施設工事	立会調査	3.00ml		遺物・遺物なし	年報21
15-3-16	1450	(西川) 西宿鹿島車両場設置工事	立会調査	213.00ml		遺物・遺物なし	年報21
14-5-2	1451	(本荘北) プレセラピ室改修及び既設設備取替工事	立会調査	180.00ml		遺物・遺物なし	年報21
<b>2015年度</b>							
15-5-11	1501	(黒斐北) 五高応急避難施設改修業務	立会調査	30.00ml		遺物・遺物なし	年報22
15-5-18~19	1502	(本荘北) 総合研究棟新規電気設備工事	立会調査	77.87ml		遺物・遺物なし	年報22
16-11-4	1503	(本荘北) 駐車場改修新規機械設備工事(その2)	立会調査	19.00ml	古代	土師器、瓦	年報22
15-5-20~21	1503	(本荘北) 駐車場改修新規機械設備工事(その3)	立会調査	465.00ml	古代・近代	住居・唐・土坑・ビット・土器類	本報告23
15-5-28	1504	(本荘北) 総合研究棟新規機械設備工事(その3)	立会調査	419.00ml	古代・近代	土器類・住居	本報告23
15-6-12~12	1505	(医研) 管理棟改修機械設備工事	立会調査	349.00ml	古代・近代	土師器・陶器	年報22
7-29							
15-6-29	1506	(黒斐南) 黒斐南C7 6階実験室改修その他の工事	立会調査	40.80ml		遺物・遺物なし	年報22
15-7-30	1507	(黒斐北) 北地区学生会館A棟新規機械設備工事	立会調査	150.90ml		遺物・遺物なし	年報22
15-8-7~7-12~15	1508	(黒斐北) 校舎(旧北校舎(食堂))改修工事	立会調査	36.70ml		遺物・遺物なし	年報22
15-8-20	1509	(大江) 北地区別荘新規電気設備工事	立会調査	28.00ml		遺物・遺物なし	年報22
15-9-11	1510	(黒斐南) 台所15号に伴う樹木復旧作業(野型)	立会調査	42.30ml		遺物・遺物なし	年報22
15-9-14	1511	人文社会系学術情報施設工事	立会調査	12.00ml	古代	土師器、瓦	年報22
15-9-15	1512	(黒斐北) 屋外15号に伴う樹木復旧作業(大江)	立会調査	14.00ml		遺物・遺物なし	年報22
15-9-26	1513	(本荘北) 総合研究棟新規機械設備工事(建物)	立会調査	9.00ml		遺物・遺物なし	年報22
15-10-26~29~3-1	1514	(黒斐北) 校舎(旧北校舎(食堂))改修機械設備工事	立会調査	78.90ml	古代	住居・唐・ビット・土器類・瓶底器	本報告23
15-11-26	1515	(黒斐北) 北地区学生会館中庭リニアロッジングプロック改修工事	立会調査	19.60ml		遺物・遺物なし	年報22
15-11-26	1516	(黒斐北) 黒斐北1号(全学教育棟)西翼新リニアロッジングプロック改修工事	立会調査	27.30ml		遺物・遺物なし	年報22
15-11-30	1517	(学研) 寄宿舎新規排水溝新設工事	立会調査	9.2ml		遺物・遺物なし	年報22
15-12-8	1518	(本荘北) 屋外サイン設置工事	立会調査	32.5ml	古代	土師器、瓶底器	年報22
15-12-23~25	1519	(本荘北) 屋外サイン設置工事	立会調査	54.4ml		遺物・遺物なし	年報22
16-1-4~6-12	1520	(黒斐北) 電力マグマード計画システム(電気・ガス・水)	立会調査	172.50ml		遺物・遺物なし	年報22
16-1-14	1521	(黒斐北) 大武丸駅取り直し高針記念館フエンス復旧工事	立会調査	5.88ml	近代	遺物・遺物なし	年報22
16-1-18~19	1522	(黒斐北) 電力マグマード計画システム(電気水・ガス)取流工事(大江)	立会調査	40.3ml		遺物・遺物なし	年報22
16-3-11	1523	(黒斐北) 黒斐北W7排水設備改修工事	立会調査	10.60ml		遺物・遺物なし	年報22
16-1-5~2-29	1524	(黒斐北) 校舎(旧北校舎(食堂))改修工事(新築工事)	立会調査	412.30ml	古代	住居・唐・ビット・土器類・瓶底器	本報告23
16-1-25~2-12	1525	(黒斐北) 電力マグマード計画システム(電気・水・ガス)	立会調査	93.50ml		遺物・遺物なし	年報22
16-1-28	1526	(京町) 教育学園附属教育実践センター東側プレハブ倉庫改修工事(本舎中庭)	立会調査	11.9ml	弥生	弥生土器	年報22
16-2-4	1527	(黒斐北) 電力マグマード計画システム(電気・水・ガス)取流工事(本荘北)	立会調査	12.00ml		遺物・遺物なし	年報22
16-2-12~22	1528	(黒斐北) 総合研究棟(黒斐北N9)改修工事	立会調査	31.00ml	近代	赤城瓦基礎	本報告23
16-2-12	1529	(黒斐北) 総合研究棟(黒斐北N9)改修電気設備工事	立会調査	35.20ml		遺物・遺物なし	年報22
16-2-12~23	1530	(黒斐北) 総合研究棟(黒斐北N9)改修機械設備工事	立会調査	22.00ml		遺物・遺物なし	年報22
16-2-3	1531	(大江) 希望の東開拓新規ガス管路敷設工事	立会調査	2.00ml		不明遺物	年報22
16-3-7~8	1532	(本荘北) 狩場施設工事	立会調査	80.00ml		遺物・遺物なし	年報22

## II 黒髪南地区の調査



## 1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

### (1) 調査の目的と経過

#### a. 調査の目的とこれまでの調査成果

本調査は熊本大学(黒髪南)国際革新技術研究拠点施設新営その他工事に伴う発掘調査である。調査地点のある黒髪地区は、熊本市街地の北東に位置する立田山と阿蘇に水源を持つ白川にはさまれ、この白川により運ばれた土砂が扇状地形に堆積した砂礫層を基盤としており、河川の両岸に堆積した「自然堤防」上に立地する。本調査地点は黒髪南地区の南西端で自然堤防が白川に最も張り出した部分にあたり、白川右岸端から北へ約50mの場所に位置しており、周囲を衝撃実験棟や先進マネジメント国際研究センター、インキュベーションラボラトリなど、工学部の施設が取り囲んでいる(図2)。調査以前は緑地として整備されていた。

黒髪地区は黒髪町遺跡群(熊本市埋蔵文化財包蔵地図No8-88)に含まれ、縄文時代早期～晩期の土器・石器出土地、弥生時代中期の壺棺墓や奈良・平安時代の集落址が存在している。また、本敷地は明治39年(1906)に第五高等学校の工学部が独立して新設された熊本高等工業学校の敷地を含んでおり、近年では本部周辺の改修工事に係る発掘調査(1429他調査地点)において、明治期の赤煉瓦基礎が確認されるなど、近代の遺跡についても注目を浴びてきている(山野編2016)。

従前の調査では、本調査地点の東側に隣接する9909調査地点において近世墓群や畠址のほかに近代の土坑墓群が検出された(大坪編2010)。本調査地点周辺が熊本監獄・刑務所の墓地にあたることが判明したが、墓については近代の遺構であることを理由に発掘調査を実施しなかった。続いて本調査地点北側に位置する0203調査地点では、遺構面上部から文化・文政など江戸時代の年号をもつ墓石が数点検出されたため、当初は検出された土坑墓群を近世墓と想定し、調査を開始した。しかし、40基ほどの土坑墓を掘削した段階で、近世墓にみられるような遺物が伴わず、眼鏡やガラス瓶といった近代と思わしき遺物が墓から発見された。再度、調査地点の過去の状況を確認したところ、本調査範囲が昭和47年に所管換えされた熊本刑務所墓地の敷地と重複することが判明した。熊本刑務所との協議で遺骨について大学が対処することとなり、近代墓は調査対象から除外し、遺骨の収集については専門業者に依頼し、大学で茶毬にふしたち熊本市へ引き渡された(大坪編2003)。

1309調査地点の調査範囲は、緑地として造成されていた。従前の発掘調査の成果によって調査地点西側には近世以降の畠址が、東側には土坑墓が広がることが想定されていた。2013年4月3日、熊本市教育委員会文化振興課によって、墓の分布範囲と推定基數を求めるなどを主な目的とした事前の確認調査が実施された。この調査で、現地表下2.5m、調査地点東側に土坑墓群が広がると想定されたため、熊本市から工事前の発掘調査の指導を受けた。

#### b. 調査の経過

調査進行にあたり、調査区周辺に廃土置場を確保することができなかったため、調査区東側にあたる土坑墓群の分布範囲から先行して調査を実施した。その後、廃土を移動し、西側に分布する畠址の調査を実施する運びとなった。

表土掘削後、東側のほぼ全域に土坑墓が分布していることが確認でき、当初の想定以上に遺構が多いことが明らかになった。8月8日から発掘作業員を投入し、人力による掘削を開始した。土坑墓の上層から人骨の検出までは、1mの埋土掘削を必要とする場合が多く、直径1m程の土坑墓が隣接す

1. (黒髮南)国際革新技術研究拠点施設新營その施工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

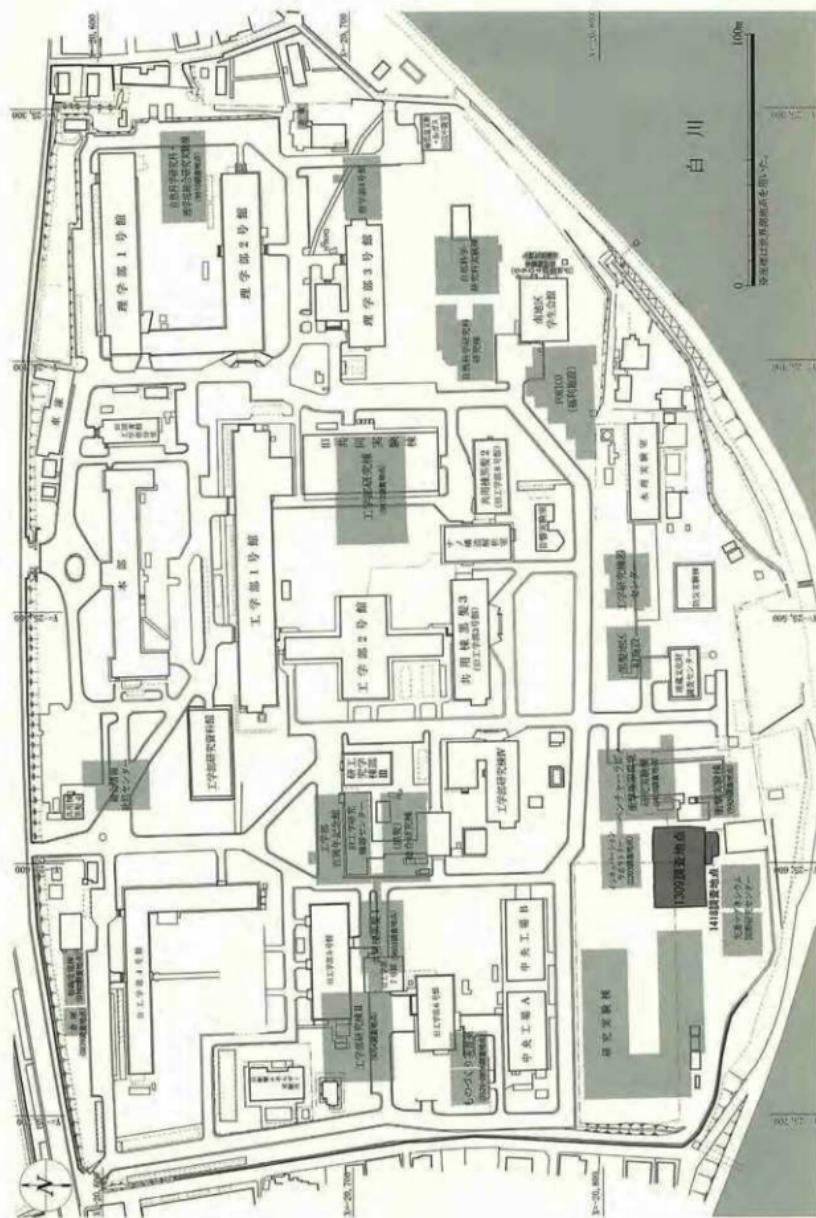


図2 黒髮南地区における調査地点位置図 (1/2000)

ることもあって、作業スペースの理由から人骨の検出と土坑墓埋土の掘り下げには時間と手間を要した。人骨の調査を土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの松下孝幸氏とNPO法人・人類学研究機構の松下真実氏に依頼し、複数回に分けて人骨を取り上げた。調査期間は梅雨時期にあたり、調査は降雨のため幾度も中断せざるを得なかった。調査地点は2度にわたり完全に冠水し、その復旧にも時間を要した。また、日中の最高気温が30度を超える日が続いたこともあり、作業員の安全を配慮し、土坑墓の上場ラインを測量した後、重機で人骨検出レベルの直上まで掘削することで作業短縮の対処をおこなった。これにより一部について墓坑上場と埋土上部の記録が消失していることを明記しておく。

9月下旬頃より、調査区西側の畠址の調査に着手した。工程上、墓坑の調査も一部継続した。畠址は、上位の土層にバックされており、比較的遺構の検出が容易であった。畠址の畠土について植物遺体の調査を目的とし土壤サンプルを採取した。

調査は10月4日で終了した。なお遺構番号は調査中現場において掘削順の通し番号が付されたが、平面図上で若干の混乱が見られたため再整理し、報告書中で通し番号を新たに付した。ただし、遺物への注記は現場で付した通し番号であるため、対応関係を表5に記している。

- 2013年7月25日 重機による表土掘削の立会開始。
- 2013年8月8日 発掘作業員による掘削開始。土坑墓の検出作業開始。
- 2013年8月19日 熊本県警察による人骨に関する立会。事件性のないことを確認。
- 2013年8月27日 雨により調査区が冠水。復旧作業。
- 2013年9月3日 雨により調査区が冠水。復旧作業。
- 2013年9月4日 土坑墓上場を人骨検出面直上まで重機によって掘削。
- 2013年9月5～6日 松下氏による人骨取り上げ作業。
- 2013年9月17～18日 松下氏による人骨取り上げ作業。
- 2013年9月26～27日 松下氏による人骨取り上げ作業。
- 2013年9月30日 一部土坑墓を残し、調査区西側表土の掘削と畠址の検出開始。
- 2013年10月1～2日 松下氏による人骨取り上げ作業。人骨取り上げ作業終了。畠址の掘削開始。
- 2013年10月4日 調査終了。

#### c. 調査の組織

調査員：柴田亮・大坪志子

事務担当：大崎喜美子

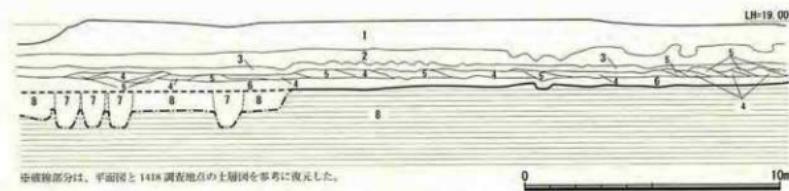
発掘作業員：植木佳子・押方富江・岡田有矢・川上紀男・栗崎剛・栗崎信行・健喜豊美・重松和子・白石美智子・関根登・高瀬正志・野田昇・藤本龍三・松永一代・三島多恵子・水本美恵子・村上親敏・森川謙・山下巧・米光司朗

整理作業員：井上裕美・江口路・鬼塚美枝・小山正子・後藤恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・増井弘子・吉留広

#### (2) 調査区の基本層序

本調査区は、南北約20m、東西約32mの長方形を呈し、面積は約640m<sup>2</sup>である。調査地周辺は当センターによる過去の調査地点である9909調査地点の西側、0203調査地点の南側に相当する。本調査区周辺は緑地として利用されており、過去に大形の構造物が建設されておらず、遺構の残りは非常に良好

### 1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新宮その施工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)



※地質部分は、平塚同と1418調査地点の土層図を参考に復元した。

1層：表土層	(Bue7, 5YR7/3)	バラス・泥が多く混じる。
2層：黒褐色砂層	(Bue10Y3/3)	白川洪流水層。底色と暗褐色の砂が縦状に堆積する。
3層：暗褐色泥砂層	(Bue7, 5YR3/4)	やや粘性をおびる。1cm程の亜角礫、褐色ブロックが混じる。
4層：暗褐色土層	(Bue7, 5YR3/3)	砂上層、灰片、ブロックや3cm程の円錐礫が混じる。
5層：明褐色土層	(Bue5YR7/1)	盛土層。粗い砂やブロックが混じる。盛土。
6層：暗褐色砂層	(Bue10Y3/4)	砂層。暗褐色砂主体に褐色砂が斑に入る。
7層：暗褐色泥砂層	(Bue10Y3/3)	土坑墓埋上。1cm程の灰色砂ブロックが混じる。褐色砂が底に入る。
8層：暗褐色砂層	(Bue10Y3/3)	遺構面検出面。埴地の痕を形成する。暗褐色と褐色砂混じる。

図3 1309調査地点南壁土層断面図 (1/200)

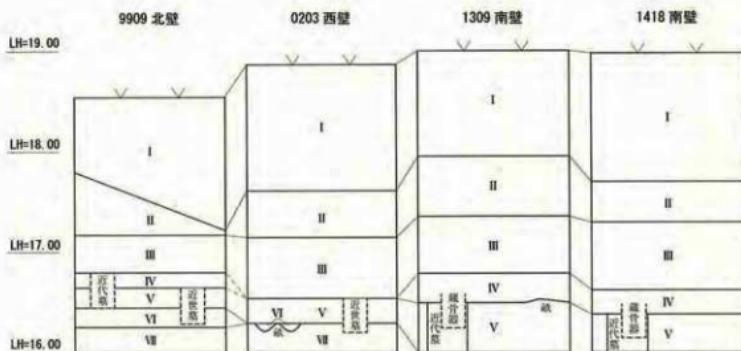


図4 1309調査地点周辺土層模式図 (1/50)

好であった。2014年度には本調査地点の南側において1418調査地点を調査した(山野編2016)。1309調査地点での調査において土層の理解が不十分であった点についてはこの調査地点の調査成果で補完した。これまでの調査および各種文献、さらには大学敷地に隣接する熊本刑務所之廻の石碑を精査することで、以下のとおり土層の年代を明らかにすることことができた。

I層：現代埋土およびバラス

II層：昭和28年6月26日の白川大水害の堆積砂層（稀にガラス・陶磁器片出土）

III層：近代（昭和28年以前）の整地土層（ガラス・陶磁器片出土）

IV層：近代（大正9年以降）の洪水の堆積層と後の整地土層（稀にガラス・鉄・陶磁器片）

V層：近世後期耕作土層（陶磁器片・破片面）

1309調査地点の土層断面の1層がI層、2層がII層、3～5層がIII層、6層がIV層、8層がV層にそれぞれ対応する。また、近代の土坑墓群はV層上面から掘りこまれており、その埋土が7層に対応する。土層は大きく5つの層に分けられ、江戸時代の烟址が確認できる最下層のV層上面は地表面か

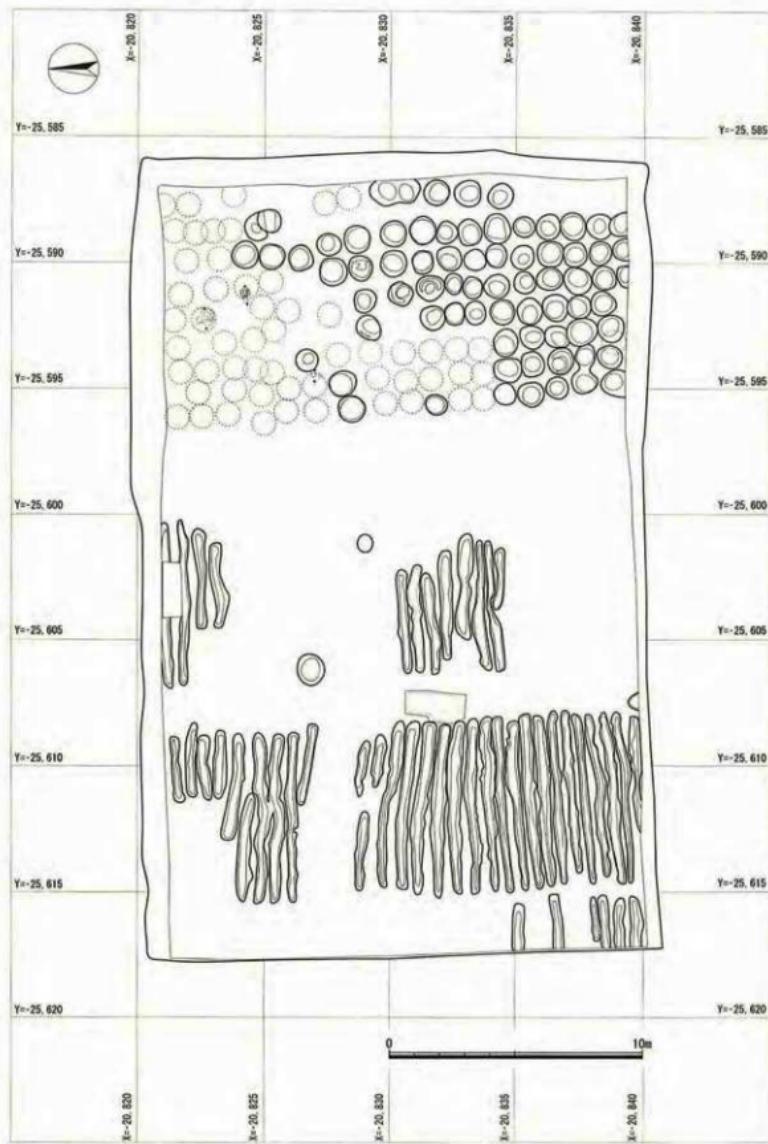


図5 1309調査地点造構配置図 (1/200)

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新宮その施工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

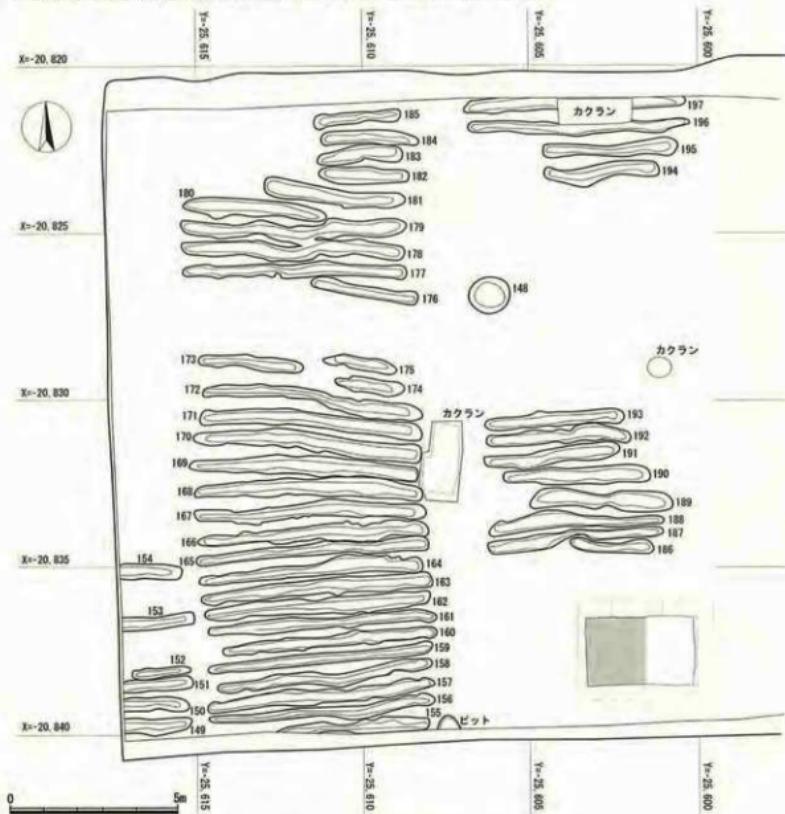


図6 1309調査地点調査区西側遺構配置図 (1/150)

ら約2.5mの深さである。また、本調査地点では認識できなかったが、本調査区北に位置する0203調査地点や東側の9909調査地点では畑址の直上に洪水砂層が堆積しているとの記録がある<sup>31)</sup>。この際検出された畑は出土遺物から近世中期とされているが、本調査地点の様相とやや異なっており、出土した遺物からもⅤ層を近世後期の耕作土として認識した。各調査地点と比較した土層模式図を図4に示す。調査地は白川右岸端から50m程しか離れておらず、近世・近代に起きた洪水などの河川作用による阿蘇由来の堆積土が厚く堆積している状況が分かる。昭和28年6月28日に起きた白川大水害では、やや下流に位置する子飼橋に流木がたまり、川の流れがせき止められ、熊本大学の川沿いに面した広い範囲が冠水した。Ⅱ層は黒髪南地区の白川沿いに広い範囲で確認されており、今後の近代の調査において鍵層として注目される。

### (3) 検出遺構

調査区が広範である上に、遺構検出面が地表面から2.5m程と深かったことから、重機によりⅣ層

までを掘削し、近世と近代の遺構をV層上面で検出した。結果、調査区西半で江戸時代後期の畠址を検出し、調査区東半で円形プランを持つ土坑墓群と蔵骨器を検出した。本書に調査区全体の遺構配置図(図5)と、近世畠址を主とする調査区西側の遺構配置図(図6)、土坑墓群を主とする調査区東側の遺構配置図(図7)、本調査区周辺の遺構配置合成図(図8)を掲載している。

### 近世の遺構

#### 畠址(図6)

近世畠址は、ほぼ東西に軸をもつ49条の畠が、南北方向3列に検出された。畠は長さ1.7~7m程度で、3~3.5mと7m程の長さの畠址が多く、若干の通路幅をとって並んでいる。畠は149~154、155~175、176~185、186~193、194~197の5つの畠列に区画されている。本調査区北側に隣接する0203調査地点南西部と、調査区東側に隣接する9909調査地点北半でも同じ方向に軸を持つ畠址が多数検出されており、前者は本調査地点の北端の畠と4m程の空間をもって隣接する。土坑墓群は近世の畠とやや軸を連れて形成されており、9909調査地点では畠を切る形で近代の土坑墓群が検出されていることから両者の新旧関係が明白となっている。本畠址からは近世の陶磁器片や土師質、須恵質の土器片、破片面子、少量の鉄釘などが出土しているが、陶磁器は破片資料が多く年代を決定づける資料は少ない。過去の調査地点では畠址の年代を陶磁器や煙管、銅錢などの出土遺物から18世紀後半の洪水によって埋没した可能性があるとし、江戸時代中期の畠址としている。本調査地点では近代の遺物が認められることや、後述する紅皿の年代観から近世後期に位置づけておきたい。

### 近代の遺構

#### 土坑墓(図7)

土坑墓は全部で130基検出しており、このうち128基からは人骨が検出された。土坑墓は、ほぼ全てが直径1m程の円形プランを呈しており、掘方はやや下方がすばまる円柱状で深さは検出面から1m~1.8m程である。調査では、土坑墓同士が接するほど密集しており、埋土の掘削には大変な時間を要した。調査期間が短く時間短縮の必要性から、調査区北側の一部の土坑墓について上部を重機により掘削した。そのため図上では掘方下場と人骨の出土位置により想定した平面プランを破線で示したものがある。

調査区北側に隣接する0203調査地点では、円形プランだけでなく方形プランの土坑墓も検出されており、南北における土坑墓平面プランの相違が認められる。本調査地点において、土坑墓は東西方向に8列、南北方向に17列と碁盤の目状に整然と並んでいた。0203調査地点東側と9909調査地点西端、1418調査地点の調査成果も含めると、墓群は南北長75m、東西幅8~15mの範囲に広がっており、北側で西に7度ほど傾く南北に軸を持つ土坑墓群として認識することができた(図8)。この土坑墓群の南側延長線上には熊本大学の敷地に隣接する形で熊本監獄・刑務所の囚人の合葬墓が祀られた熊本刑務所之廟が現存する。

土坑内の人骨の多くは、きつい坐葬の状態で検出されており、遺骸の腐敗や土圧によって頭部が原位置から落下したものが見受けられる。人骨の残りは比較的良好であったが、まれに人骨が土坑中にほとんど残存せず、骨片や歯のみが検出された例もあった。後述するが、これらは熊本監獄・刑務所において、遺体を土葬した後、何年か後に遺骨を取り上げ、合葬をおこなったために土坑内に骨が残らなかったと考えられる。また、人骨の周囲からは木や布の纖維が検出される例があるため、遺体は早桶に入れられたか、あるいは布に包まれた状態で土坑内に埋納されたものとみられる。ただし、土

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新宮その施工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

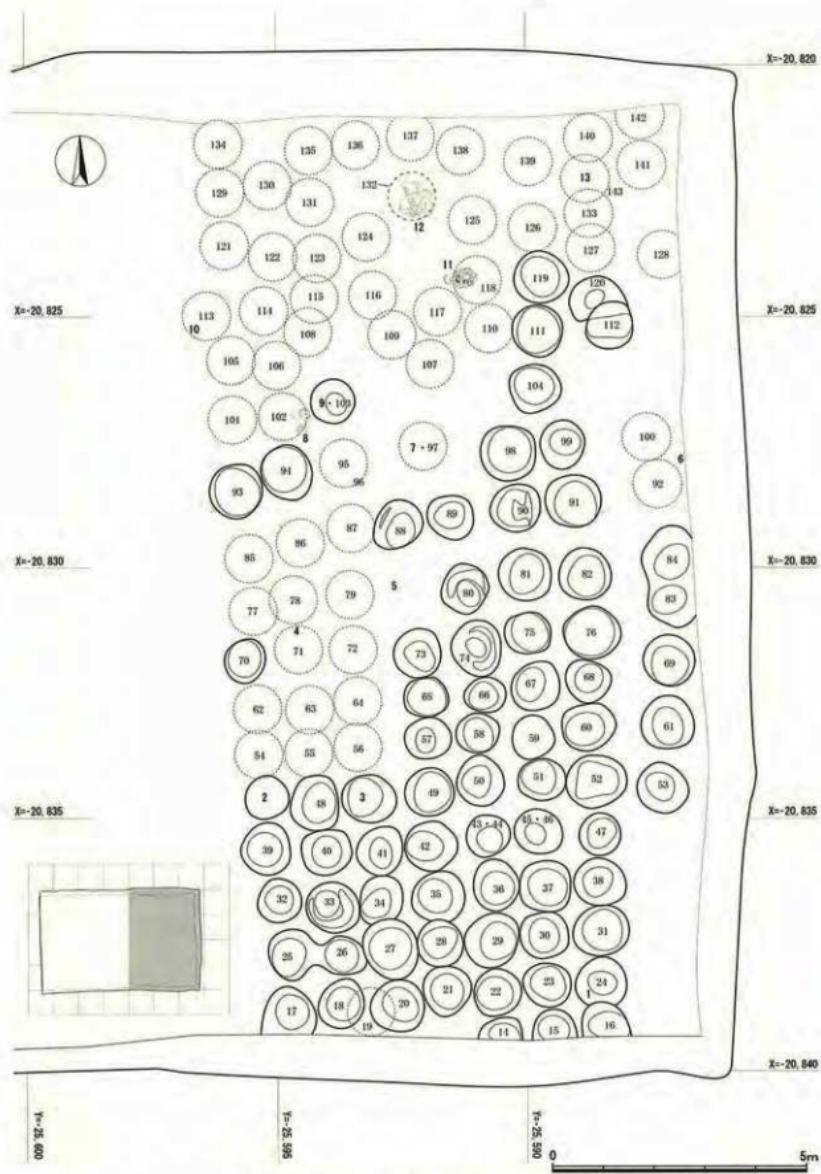


図7 1309調査地点調査区東側造構配置図 (1/100)

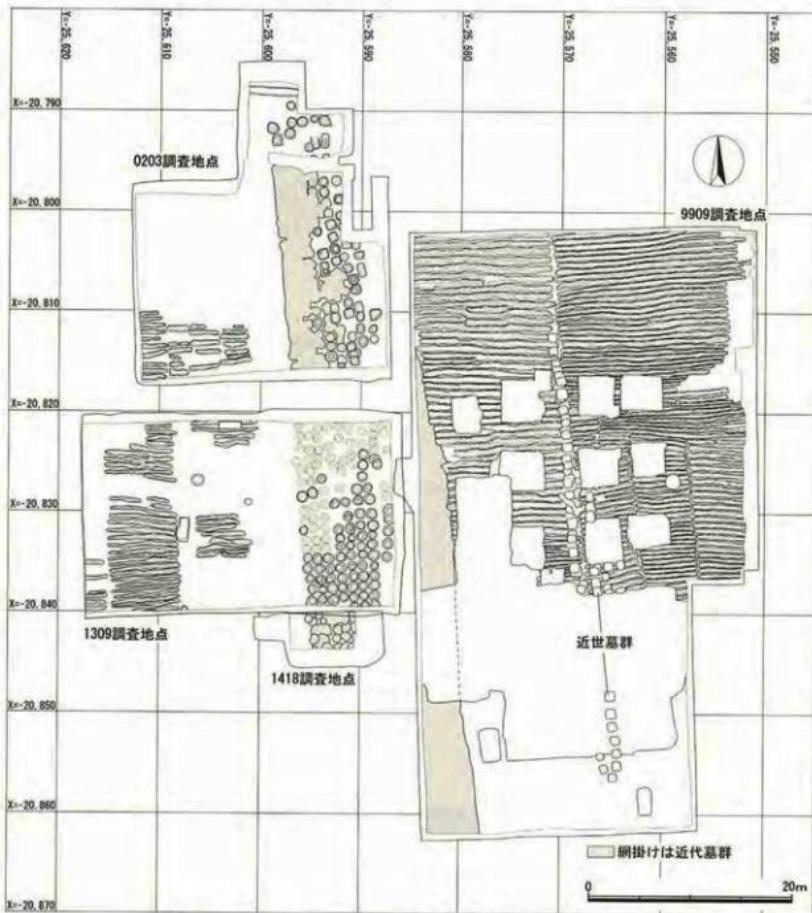


図8 9909・0203・1309・1418調査地点遺構配置合成図（1/500）

坑墓の半数近くで鉄釘が出土している点から、これを使用した木棺墓に埋納された可能性も考慮しておきたい。

土坑墓内からは陶器の瓶、磁器の杯、ガラス瓶、鉄釘、鉄製容器、環状鉄製品、板状鉄製品、有孔板状青銅製品、天保通宝、大正九年一錢、数珠、プラスチック製鉢、貝製鉢、ハマグリなどが検出されている。このほかにも、土坑墓埋土中からは近世・近代の陶磁器片や泥面子、瓦片、和釘などが出士している。これらの多くは破片資料であり、土坑が掘りこまれているV層が近世の耕作土であるため、近世の畠周囲の散乱ごみが土坑の掘削または埋葬時に混在したものとみられる。

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新設その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

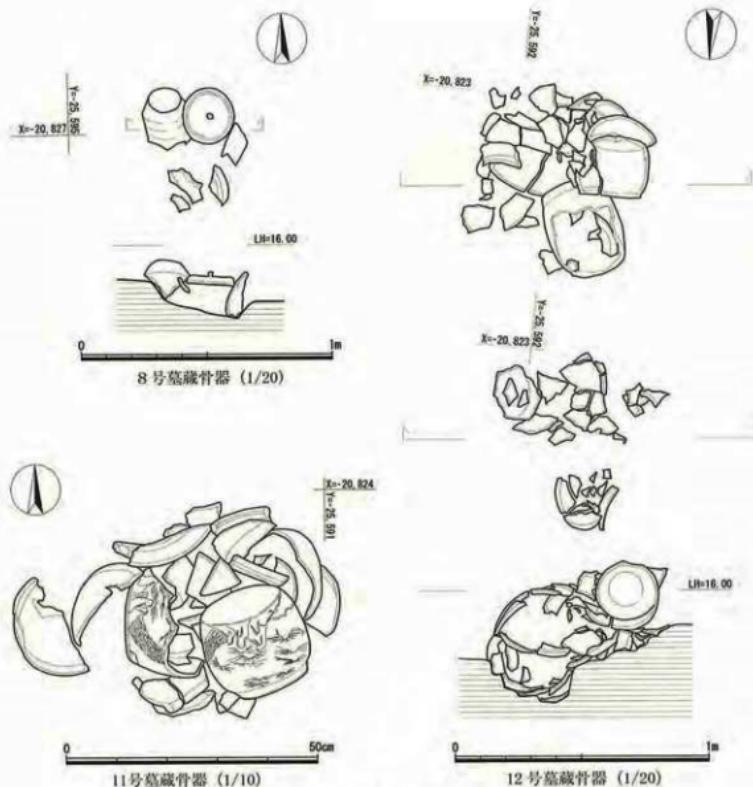


図9 1309調査地点蔵骨器出土状況図 (1/10・1/20)

蔵骨器 (図9)

蔵骨器は13基確認されており、身と蓋のセットで出土する例がある。蔵骨器内に骨が伴ったのは6号墓と7号墓の2例と少なく、その他の蔵骨器内に人骨が納められたものはなかった。よって、正確には全ての蔵骨器が骨壺としての機能を持っていたとは言い難い出土状況であったことを明記しておく。蔵骨器は調査区東側に点在しており、いずれも土坑墓群の上位から出土している。このうち2号墓や3号墓は、直径0.8~1.1m程の土坑内から蓋が外れた状態で検出された。他にもV層上面で蔵骨器に伴うと思われる土坑プランが検出された例もあるが、いずれも土坑墓のプランとの切り合い関係を明確にできていない。出土状況をみると、蓋と身がセットで出土したものや(4号墓)、身だけのもの(2・9号墓)、3・4個の壺がまとめて出土したものなど(11・12号墓)などがあり多様である。また、1・4・5号墓などは遺構検出面を掘削している最中に重機と接触しているため明確には原位置ではない。全ての蔵骨器が蓋と身が合わさり閉じた状態では出土していない上に、複数の蔵骨器が雜然と廃棄されたような状態で出土していることから、一次埋葬あるいは焼骨行為後の改葬時

の様子を示しているとは考えにくい。出土状況や後述する蔵骨器の年代観から推定すると、蔵骨器は埋納当初の位置からは動いており、土坑墓群の形成の後あるいはほとんど同じタイミングで、二次的に埋納あるいは廃棄された可能性が高いと思われる。

#### (4) 出土遺物

本調査地点から出土した遺物には、近世烟址から出土した陶磁器類や破片面々、近世末から近代と考えられる土師質の蔵骨器、土坑墓から出土した陶磁器類、ガラス瓶、鉄釘や鉄製容器などの鉄製品や錢、鉢、貝類などがある。コンテナボックス11箱ほどの遺物を得られたが、蔵骨器などを除く多くが破片資料であった。本書では遺構中から出土した資料を主として取り上げ、遺跡の年代を決定する上で重要と思われる資料や全体形が復元できる資料を報告する。年代に言及した資料については、『九州陶磁の編年』(九州近世陶磁学会編2000) や『図説江戸時考古学研究辞典』(江戸遺跡研究会編2001)、『近世・近現代考古学の方法』(鈴木公雄ゼミナール編2007)などを参考とした。

#### 蔵骨器 (図10~13)

1~29は土坑墓群の上位から出土した蔵骨器であり、1~12号墓として検出した。ただし、遺構の項目で述べたように、実際に火葬骨が内蔵されていた7号墓と、壁から崩落した資料で四肢骨と共に6号墓を除くと、器内に人骨は検出されていない。機能ではなく土器形態やセット関係から本資料を見た場合は、炭火を消し、消し炭を作るための道具である「火消壺」として位置づけられる。しかし、内面に炭の付着した痕跡がほぼ認められず、本遺跡においては転用品としてではなく当初から蔵骨器として利用された可能性が高い。いずれも土師質で、身と蓋が見受けられる。身には大きく分けて小型、中型、大型品が存在し、それぞれに特徴を持つ。

11、13、17、19、21は小型の蔵骨器の身である。小型品はいずれも型作り成形の一種である型起こし技法を用いて整形されており、口径16.5~17.3cm、器高が17.1~17.8cmと法量にまとまりがある。器壁は胴部中ほどに最大径を持つ球形で、頭部に蓋を受けるための段を有し、厚みを持った口縁部が内湾する。底部は中心部がやや持ち上がる平底である。外面には型起こしの外型に押し当てたことによる陽刻の松岩文が施される。この施文された2本の各松の幹上には型起こしの外型の接合痕跡が継位に残っており、外型が2枚に分かれていたことを示す。また、型起こし部分には粉末状に雲母が付着しており、粘土の型離れを容易にするため成形時に塗布されたものと思われる。型起こしのおよばない口縁部周囲はケズリ後ナデによって調整されており、内面は棱ができるほど強い回転ナデによつて最終調整されている。胴部と底部の境はケズリによって面取りされている。底部外面は板あるいは輻輪台などから離したままの未調整だが、一部に指オサエが見受けられる。図12の11号蔵骨器一括資料をみると、17、19、21の身に対して16、18、20の蓋がセットで利用されていたことが分かる。

1、15、23、26、27は中型品、3、5、7、10、28、29は大型品の蔵骨器の身である。前者は器高が19.0~21.1cmに納まり、後者は26.4~30.1cmに納まる。器壁は胴部が張り、頭部に段を持ち、厚みを持つ口縁部が内湾する点で小型品と類似する。最大径が胴部の中ほどからやや上位に位置し、肩部を持つような形態も見受けられる。また、口縁部形状は、小型品が丸みを帯びているのに対し、7、23、28、29などは台形を呈する。23、26~29は、頭部にヘラ状工具によって溝が設けられており、口縁部と体部との境を明確にしている。1、3、5、7は型起こしの接合痕が確認でき、周囲は継位のナデによって調整されている。中型品のうち、23、27は胴部表面がケズリによって最終調整されている。大型品は、内外面ともに回転ナデによって調整されているが、28、29はナデの方向が斜位である。底

1. (黒髮南) 国際革新技術研究拠点施設新營その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

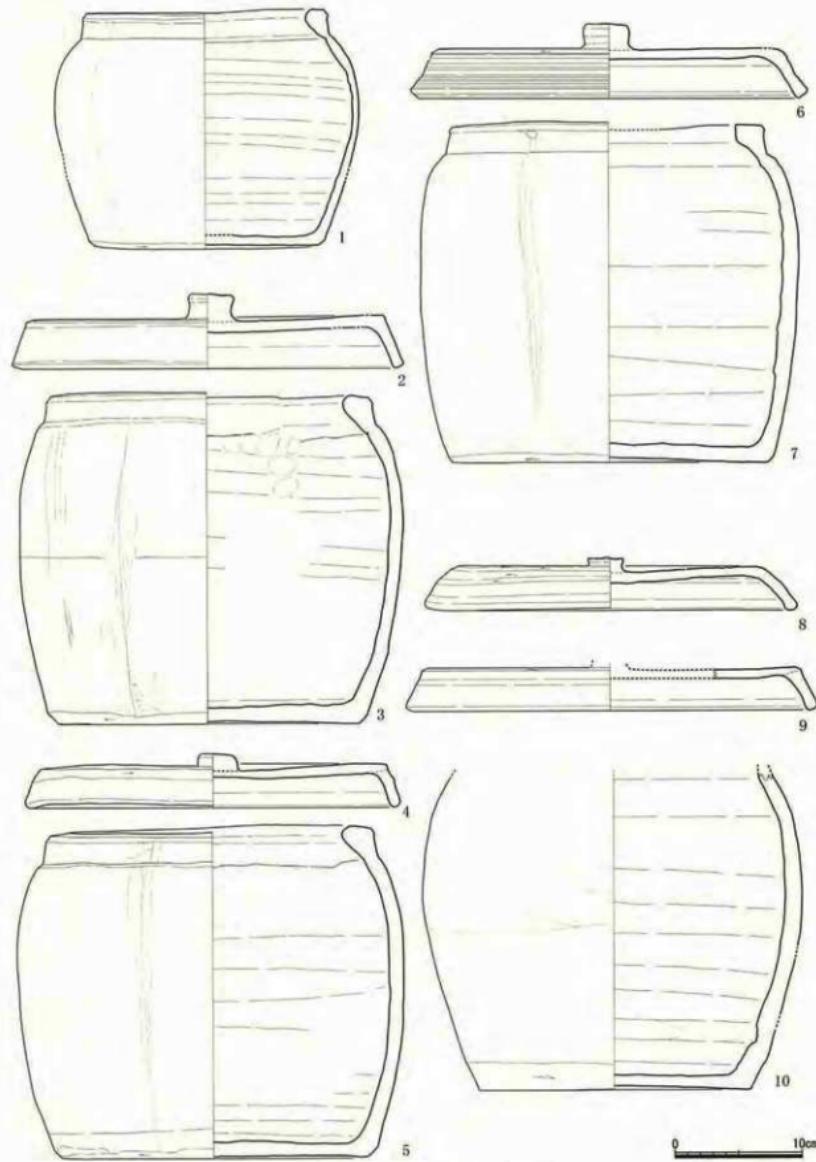


図10 1309調査地点出土遺物実測図 1 (1/4)

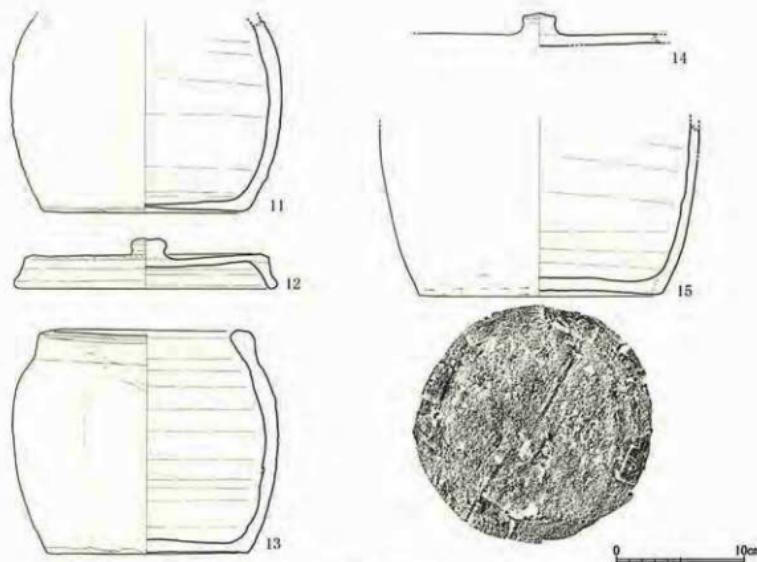


図11 1309調査地点出土遺物実測図2 (1/4)

部は未調整のものが基本で、23、28、29のように底部に敷物によるスダレ状圧痕が残るものや、15のように底部外周縁4カ所に方形状圧痕が残存するものがある。中・大型品は小型品と異なり、表面に岩松文を持たないが、例外として26は横並びに円文とその上下に直線文が施されている。また、胴部やや上位には四角の枠中に「政」の文字の陰刻がおされている。

12、16、18、20は小型品の身に付随する蓋である。口径が20.8~21.5cm、器高が3.9~4.3cmと法量にまとまりがある。頂部にはつまみが貼り付けられ、中心部がやや下がった天井部と体部の境は角を有しており、口縁部に向けて外傾する。内外面、撮みは回転ナデによって調整されているが、天井部と体部の境はケズリによって面取りされたものがある。天井部外面にはスダレあるいは木目状の圧痕が見受けられ、未調整のままである。

2、4、6、8、9、14、22、24、25は中・大型品の身とセットになる蓋である。身と同じく口径が25cm前後の資料と、口径が28.7~32.4cmに納まる資料の2種に分けることができる。頂部には平坦な撮みが貼り付けられ、天井部は中心部がやや下がるか平坦で、口縁部に向けて外傾する。つまみと口縁部は内外面ともに回転ナデによって調整されるが、天井部中心付近は撮みを取り付ける際の歛目が残るか、あるいはこれを粗くナデ消している。その周囲にはスダレ状圧痕が残っており、板などから外して未調整のままである。25は天井部の一部に板に刻まれた陰刻の「△」の下に「正」の字が逆字となって映し出されている。また、4、6、8、9、25は天井部と体部の境がケズリによって最終調整されている。

#### 陶器壺・瓶 (図14~30・34)

30、31は陶器の壺と蓋である。31は8号墓から出土した資料で、蔵骨器の可能性があるが人骨は伴

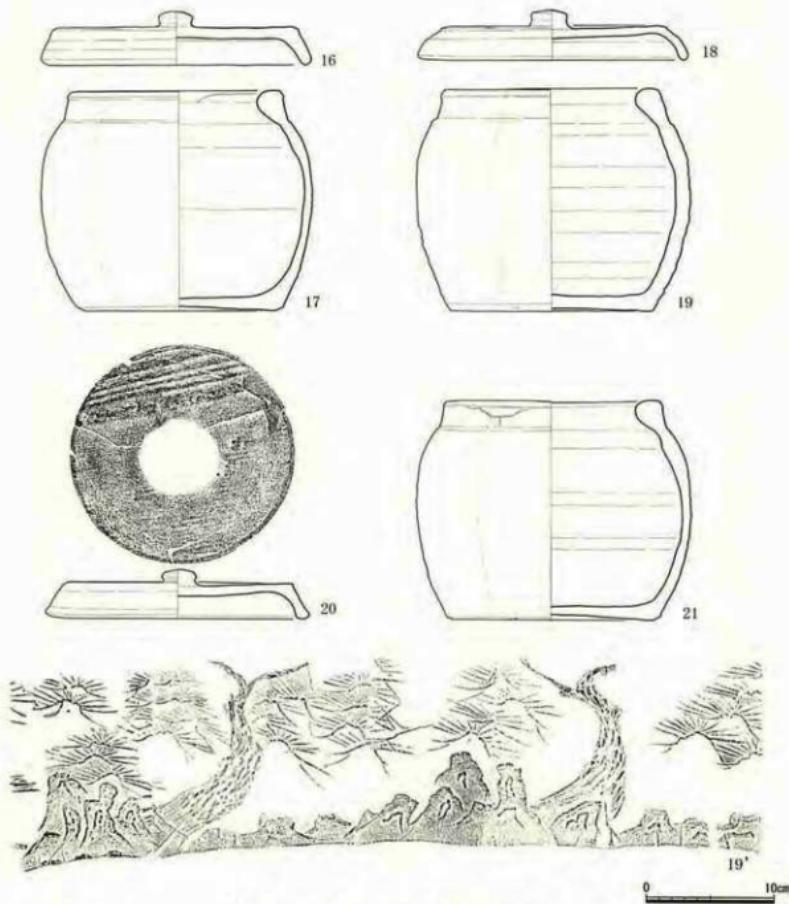


図12 1309調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

わなかった。胴部上半に最大径を持つ平底の壺で、ほぼ直立した短い口頸部が付く。表面は白泥化粧土をかけた後に施され、透明釉がかけられている。白泥搔き取りによる横線文が肩部と底部に近い体部に複数本施され、胴部上半には単位の狭い連続した2条の波文、底部近くには緩やかな波文が巡る。全体は回転ナデによって調整されているが、胴部中央やや上位には斜め方向のタタキ状の調整痕も認められる。底部はわずかにくびれており、中央がやや持ち上がる。底部外面附近には焼成時の目砂が付着しており、底部面には回転糸切の痕跡が残る。30は大きめの攝みを持つ蓋で、庵土からの取り上げだが、31と同質の器體と、同径の受けを持つことからこれに付随するものと考えられる。

32は陶器の壺の底部と考えられる。胴部まで釉が施されるが底部附近は無釉で回転ナデによって仕上げられている。底部は削り出しによる。13号墓からの出土品で、埋土中に接合する土器片がなく、

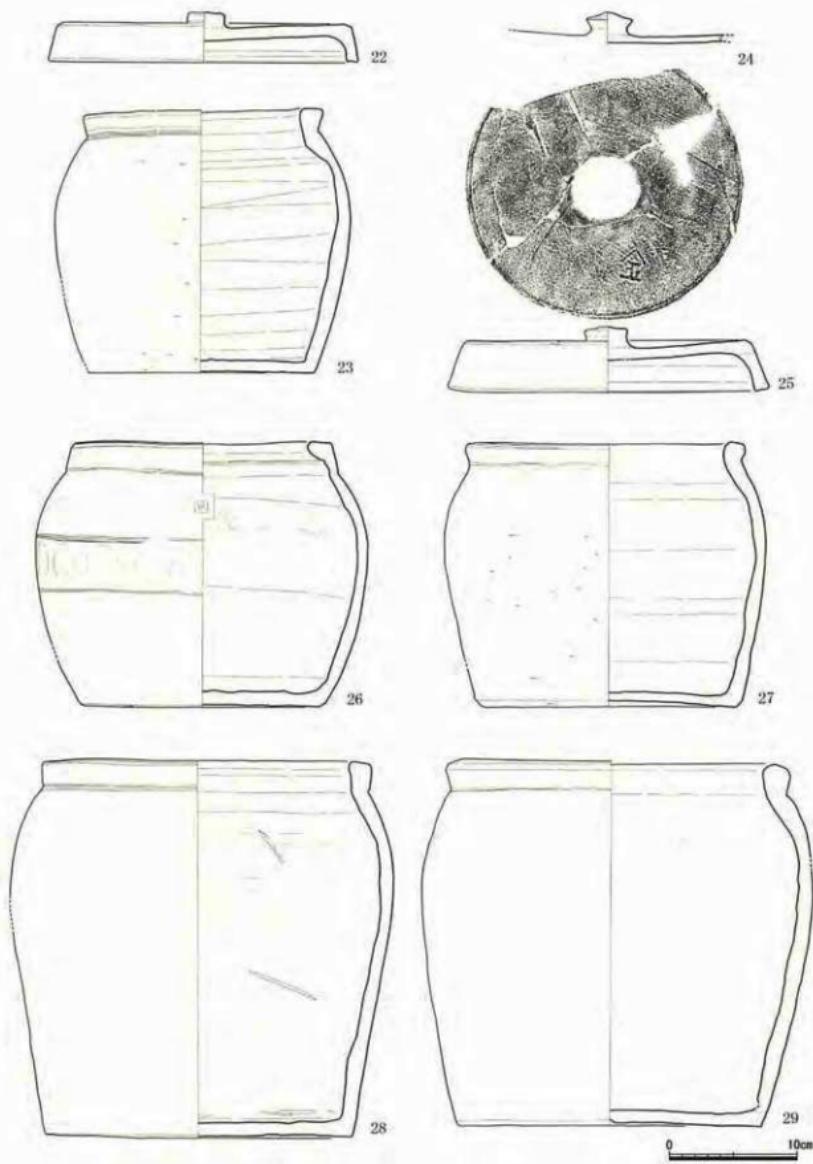


図13 1309調査地点出土遺物実測図4 (1/4)

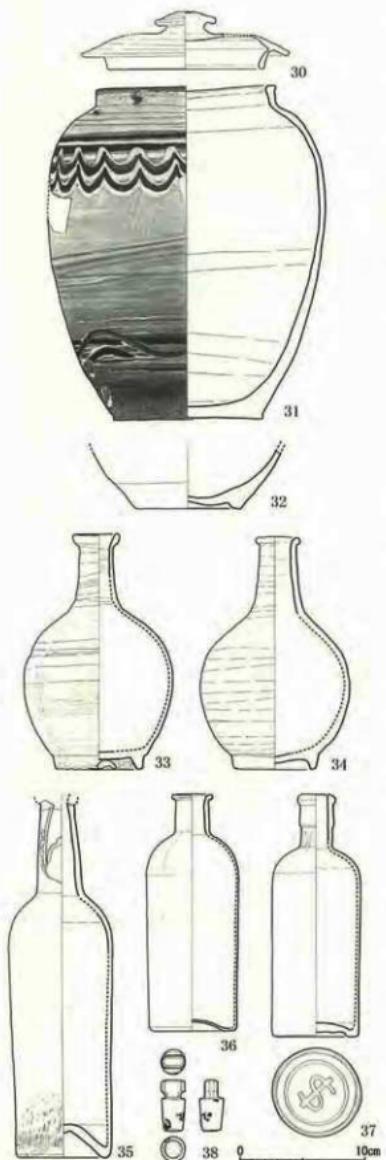


図14 1309調査地点出土遺物実測図5 (1/4)

混ざりこんだ可能性が高い。

33、34は陶器の瓶の完形品である。両資料とも112号墓の埋土中から出土しており、完形品であることから副葬品と考えられる。器形は肩の張らない球形を呈し、やや内傾しながら伸びる長頸を持つ。口縁部はいずれも外反し広がるが、33がより厚みを持つ。両者とも底部に高台を有し、33は底部に目砂が付着する。表面は鉄釉の後、灰色釉を刷毛塗りし、さらに肩部に白泥を流しかけている。器形からは肥前系陶器の18世紀後半~19世紀中頃のものとみられるが、より時期が下る可能性もある。

#### ガラス瓶・瓶蓋 (図14-35~38)

35~37はガラス瓶でいずれも墓埋土中からの出土である。いずれも明治以降のものと思われる。35はほぼ完形のガラス製ワイン瓶である。42号土坑墓から出土した。色調は半透明の濃い緑色である。口縁部から頸部にかけて破損が認められ、外面には鉄錆らしきものが付着している。やや外傾する直立した胴部にいかり肩を持ち、やや内傾した長頸を付す。底部はキックを有し、中心部が高く持ち上がり中空になっている。ガラスの器壁中には1mm以下の細かい気泡が認められ、表面には胴部から頸部にかけて縦位の傷と、頸部と肩部の境に時計回りに渦巻き状の傷が入る。

36は完形のガラス製薬瓶である。119号墓から出土した。色調は半透明のコバルトブルーである。直立した胴部にいかり肩を持ち、やや内傾した長頸を付す。口縁部は外反し、明確な稜を持つ。底部は中心部が持ち上がった上げ底である。肩部付近に機械製造であることを示す接合痕跡が縦横に走る。ガラスの器壁中には少量の気泡が認められ、胴部表面には縦位の極細の傷が入る。

37は完形のガラス製薬瓶である。143号墓土坑から出土した。色調は半透明の茶色である。直立した胴部にいかり肩を持ち、中央に段差を持つ長頸を付す。口縁部は断面三角形状で直立

する。底部は外縁から4mm程持ち上がる上げ底で、中央に「S」の陽刻がある。頭部下位には継方向に明瞭な溝が複数本走っており、35と同様に頸部とナデ部の境には時計回りに渦巻き状の傷が入る。

38はガラス製の瓶蓋である。37と同じく143号土坑墓から出土した。色調はコバルトブルーである。横長八角形の撮みが付き、瓶と接する部分は光沢のないすりガラス状となっており、その周囲には鉄片が付着している。

#### 陶磁器類・土師器（図15）

39~62は陶磁器類および土師器である。土坑墓埋土中から出土したもの、廃土中から取り上げたものがある。土坑墓埋土中から出土したもの多くは破片資料のため、42号墓に伴う42のような完形資料を除き、畳址などにかかる近世～近代の陶磁器が墓の形成時に埋土中に混ざったものと考えられる。遺跡の年代を考察する上で図化できるものを積極的に取り上げた。

39は磁器の碗の口縁部片である。口縁部がやや外反する筒形で、外面に染付が施される。19号墓出土だが、破片資料であり副葬品の可能性は低い。40は陶磁器の碗の口縁部片である。形態は朝顔形で広く立ち上がる薄い口縁部を持つ。外面胴部から口唇部にかけては銅板絵付けにより梅花文が描かれている。銅板転写の技法は明治22年以降に隆盛しており、近代以降の資料である。こうした印判手の資料が土坑墓埋土中に混在することは、土坑墓が近代以降に営まれたことを示している。41は紅皿の半欠品である。口径が広く、器高が低い。施釉は上半に限り、1820年代以降のものと考えられる。42は完形品の磁器の杯である。口唇部は赤く縁どられ、外面は白地、内面には山と花文が描かれており、金字で「一□」「天下春」と記されている。42号墓に伴っており、完形品のため副葬品の可能性が高い。43は磁器の碗の半欠品である。外面は色絵により山と花文が描かれている。44は磁器の碗の底部片である。内外面に呉須によって二重網目文を施している。肥前系で18世紀前半に位置づけられる。45はやや大型の磁器碗の底部片である。やや高い高台を持ち、呉須で内底に波文と圓線がほどこされる。46は磁器の碗と思われる。胴部と底面に呉須により染付されている。

47~50は土師器の小皿である。底部中心はやや持ち上がり、底部面には糸切り痕を残す。48は口縁の一部に煤が付着しており灯火具として利用されたとみられる。いずれも土坑墓埋土中からの出土だが、破片資料であり、副葬品でなく混在した可能性が高い。

52~56は陶磁器の碗である。いずれも廃土あるいは擾乱からの採集品である。52は磁器の碗で、口縁部が傾斜をつけて真っすぐ立ち上がる。体部外面に草文が描かれている。一度割れた製品2片が釉薬によって接合されている。53は外面全体に梅花文が描かれている。スクリーン印刷によるもので近代と考えられる。54はいわゆる「子ども茶碗」である。外面に色絵によって零戦と砲台が描かれており、ゴム印版による施文の後、手書きによって着色されている。戦時下である1940年代に生産されたものと考えられる。55は肥前系磁器碗の破片である。56は陶器の碗破片である。

57~59は磁器の皿である。57は口縁の一部が欠損している。内面に上絵によって花文が描かれている。112号墓から出土しており、完形に近く副葬品である可能性も考慮しておきたい。58は肥前系で外面に染付で唐草文が施される。59はやや口縁部が外反するやや広口の皿で、内外面は呉須による染付けである。廃土と擾乱からの取り上げである。

60は陶器の大皿の口縁部片である。内面に白泥象嵌により刻菱文を施す。17世紀中頃～後半とみられる。61は陶器の小皿の破片である。内面に象嵌により桜花文と渦文を施す。19世紀頃とみられる。62はほぼ完形の陶器の火入である。胴部中央に最大形を持ち、口縁部が玉縁となっている。外面三分の二ほどに白色釉がかかる。いずれも廃土からの取り上げである。

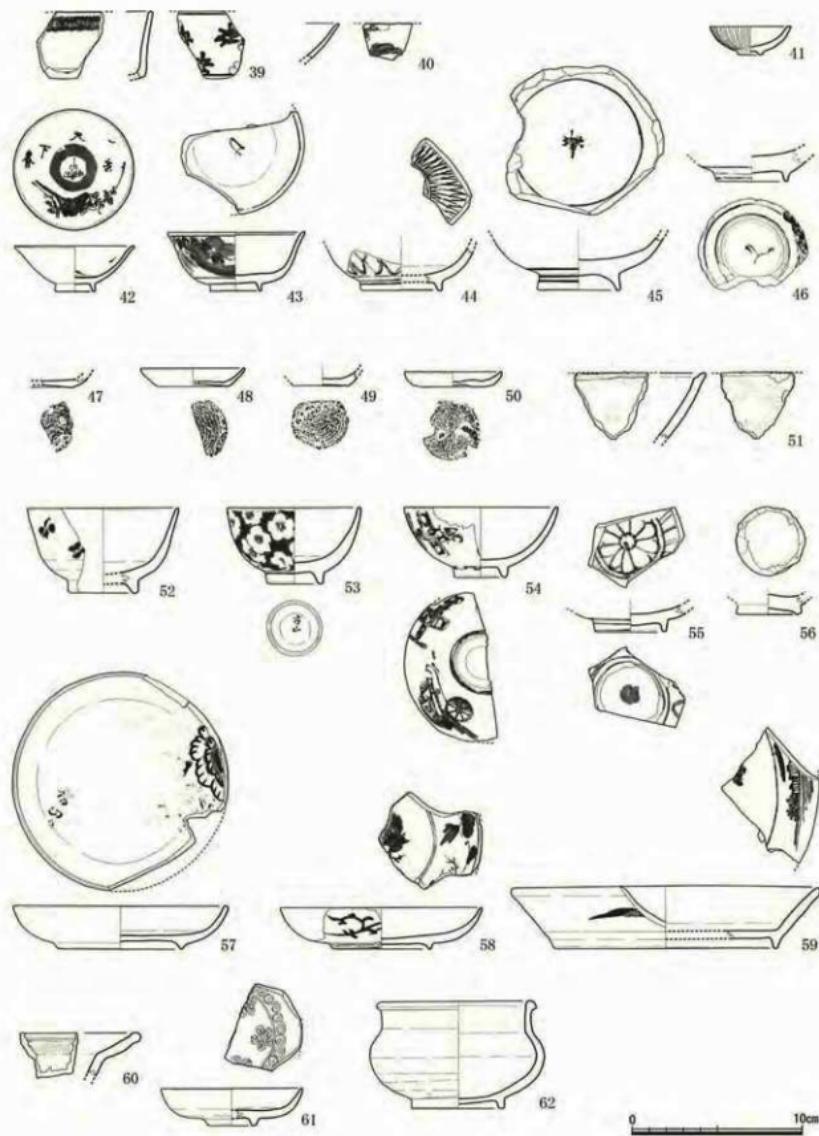


図15 1309調査地点出土遺物実測図6 (1/3)

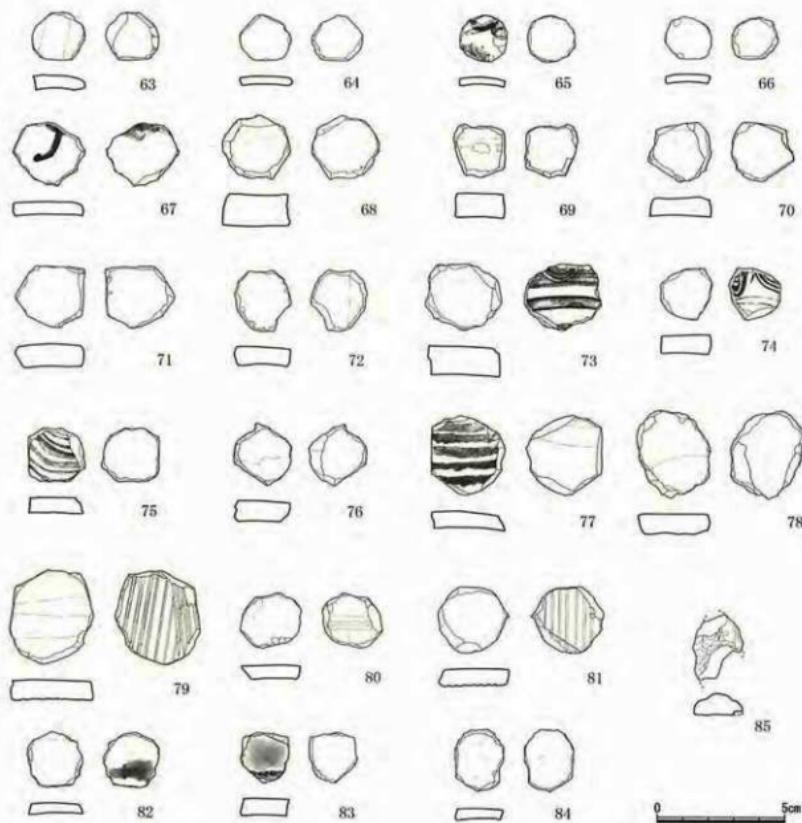


図16 1309調査地点出土遺物実測図7 (1/2)

## 破片面子・泥面子（図16-63～84）

63～83は陶磁器を用いた破片面子である。土坑墓埋土中あるいは烟址から出土したものがある。これらが一造構に大量に埋納されていたわけではないため、出土状況からも墓の形成時に混入したとみられ、埋葬との関連性は低いと思われる。

陶磁器片の周縁を打ち削って略円形に整形したもので、連續的な剥離痕跡が認められるものも数点ある。法量は約2～3.7cm、厚さは約0.3～0.7cmにおさまる。84はガラス製瓶の転用品であるが、整形方法は陶磁器転用品と同様である。85は泥面子である。型打ちによるもので背面は指ナデされている。半欠品のためモチーフは不明である。

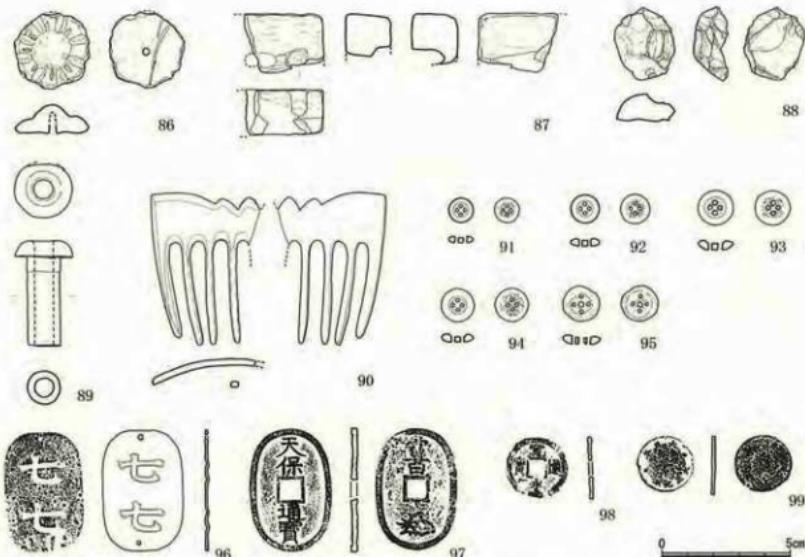


図17 1309調査地点出土遺物実測図8 (1/2)

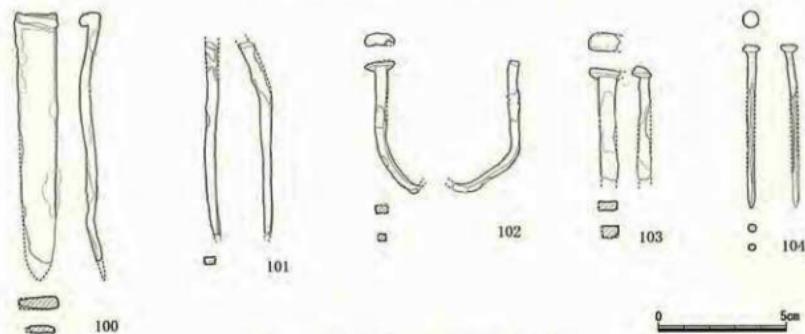


図18 1309調査地点出土遺物実測図9 (1/2)

#### 銭 (図17-97~99)

97は天保通宝である。16号墓からの出土で、その直下には木質が敷かれた状態であり、小箱などに納められて埋納されていた可能性がある。98は寛永通宝である。21号墓からの出土である。裏面は表面が荒れ字体判読不能だが、表面の文字形から新寛永通宝と判断できた。99は「大正九年」製の一銭である。86号墓からの出土である。

本庄北地区1104調査地点では浄土真宗仙崇寺にかかる近代の墓が300基近く発見されており、そ

の埋土中から錢が出土する例が複数ある。1104調査地点では19号墓に天保通宝が1点伴う例があるほか、52号墓や261号墓でも大正6~12年の1銭、5銭、50銭が出土している。これらは中世末からの埋葬習俗の一つである六道錢に類似するが、俗説ではたばこ錢として渡されたとも考えられている。

#### 銅・鉄製品（図17-96、図18~図20）

96は銅製の板状製品である。表面にはスタンプによる陰刻で「七七」と縦書きされている。また上下に小孔が設けられており、何かに固定して使用されていたと想定できる。

100~104は鉄釘である。鉄釘は土坑群の中から数多く出土しており、和釘と洋釘の両タイプが認められる。全ての遺物を精査することができなかつたため、代表的な例のみ報告する。100は船釘である。先端は欠け、軸が緩く湾曲している。101は断面形態が四角形の和釘である。102は頭部形態から頭巻釘と思われる。103は方形の頭部形態から平頭釘と考えられる。104は頭部形態と胴部が丸く、首部に数本の溝が走ることから、洋釘と考えられる。

105~117は鉄製品であり、このうち110~117は全て109号墓に伴っていた。鉄製品として報告するが、近代以降のスチール製品も含む。105は棒状製品である。片方の端部には繊維が付着しており、その裏側には木質が付着していた。断面が円形で、同一墓から出土した106の円形缶の持ち手の可能性が考えられる。106は平面形態が円形をした缶である。口縁端部が折り曲げられて厚みを持つ。表面には繊維と木質が付着している。107は平面形態が隅丸方形をした缶である。底部と側面部は別々の金属板であり、側面部となる板を湾曲させ、底部となる板を端部に巻き込むことで箱型を呈する。108は平面形態が円形をした小型の缶である。内容物が固化した状態で残存しており、ペンキではないかと考えられる。底部には解説不明のアルファベットが刻印されている。109は環状製品である。1本の棒を折り曲げて成形されており、楕円形の形状から鎖などの一部の可能性が高い。110は円形のかしめ缶が略五角形に折りたたまれた状態のものと考えられる。側面となる部位の一部に人工的な窪みが設けられている。111~117は幅2cm程の板を用いた製品で延板状のものと環状に折り曲げられたものが認められる。いずれも表面の狭い範囲に繊維状の痕跡が認められる。111~113は幅2cm程の板が環状に折り曲げられたものである。このうち113は鐵板を折り曲げて二重にし、環状に整え、その屈曲した端部に別の鐵板を差し込み折り曲げることで閉じている。114~115・117はいずれも2枚の鐵板の端部を接合した状態が認められ、部分的に屈折させ後を作る。板の幅や屈折部などからこれらの鐵製品は同一の機能を持つと考えられるが、用途については不明である。

#### その他の遺物（図17-86~95、図版19）

51は縄文土器の口縁部片である。器壁内外面がミガキによって最終調整されている。縄文時代晩期の資料とみられる。

86は土製の用途不明品である。型起こしによって整形された花形で、裏面には指頭圧痕が残る。裏面中央には孔が設けられており、機能に関連すると思われる。87は石製の用途不明品の破片である。直方体を呈し、片側長辺に近い部位に回転穿孔による孔が2カ所設けられている。88は黒曜石の薄片である。片面は自然面を残す。89は磁器製の鈎付の sondageである。90はプラスチック製の櫛である。

91~94はプラスチック製の鈎である。全て墓坑埋土中から出土しており、19号墓からは同形状のものが3点得られた。いずれも4つの孔が設けられている。95は貝製鈎である。71号墓から出土した。中心に1つの孔とその周間に4つの孔が設けられている。全体が風化しており貝種は不明である。

118はガラス製の数珠玉である。19号墓から出土した。白玉8点以上と黒玉97点に分けられる。119

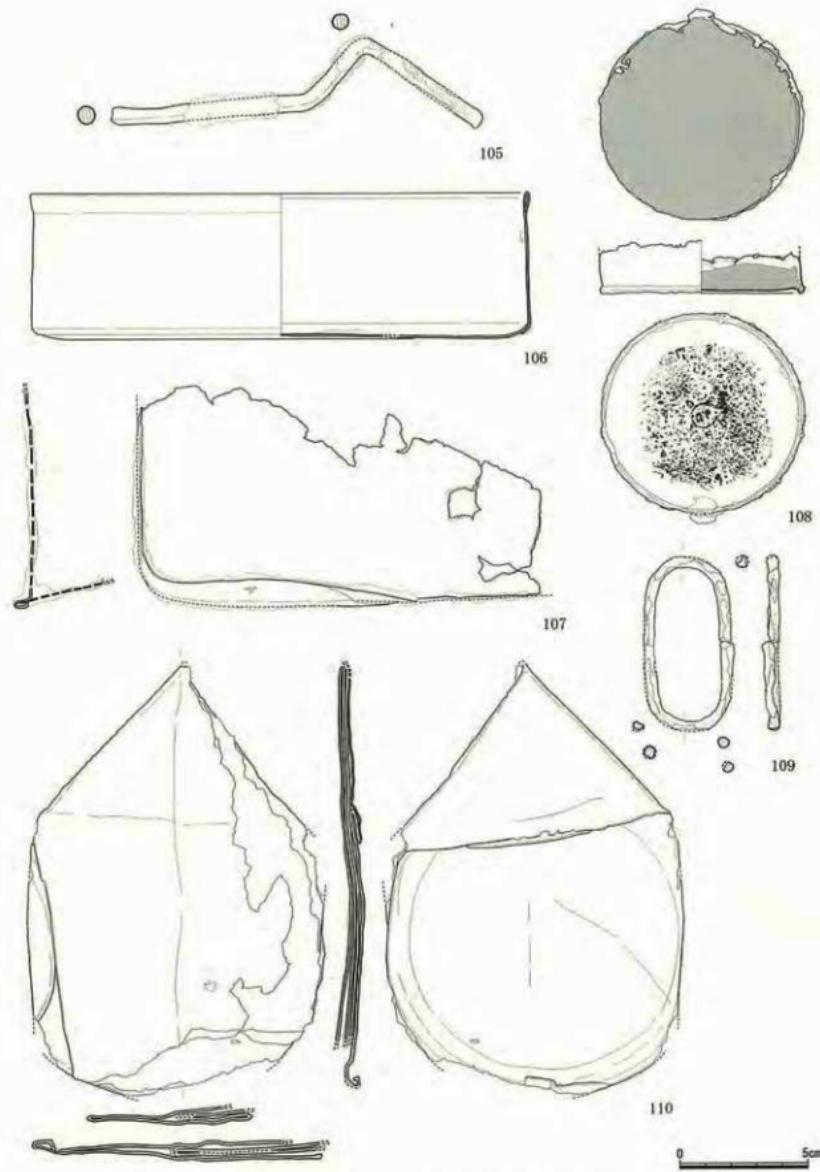


図19 1309調査地点出土遺物実測図10 (1/2)

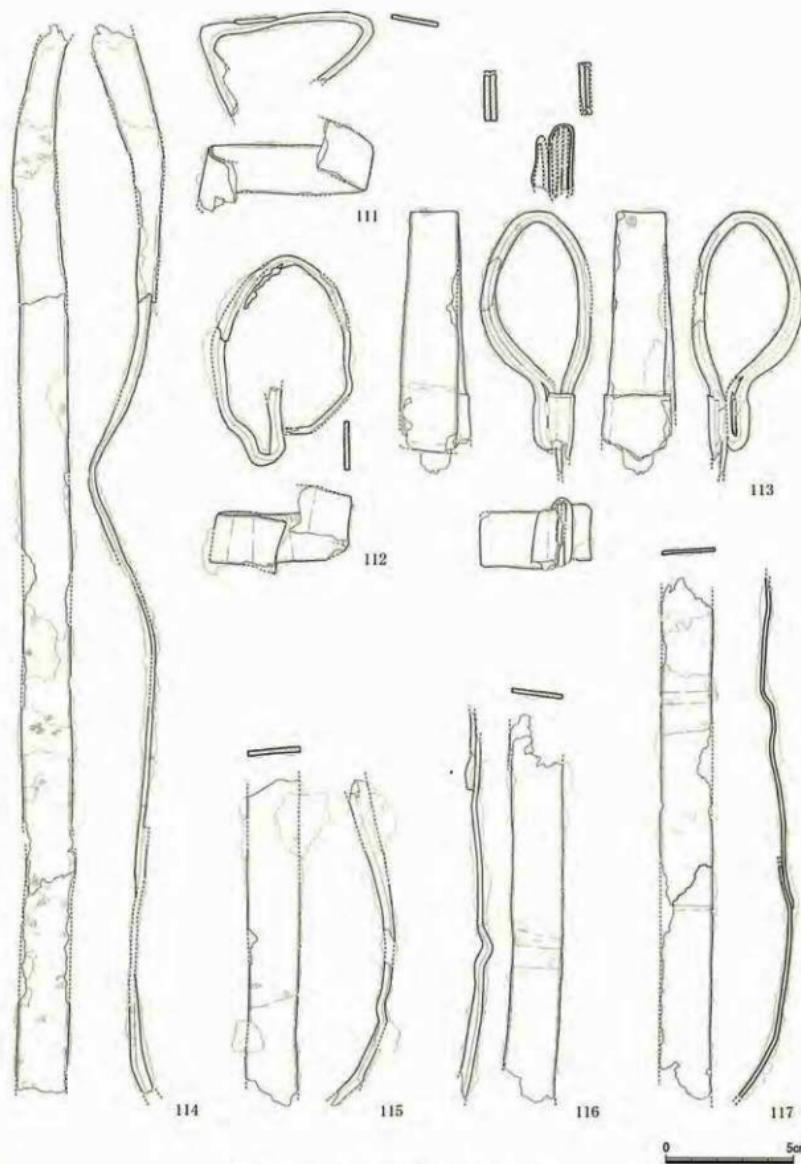


図20 1309調査地点出土遺物実測図11 (1/2)

は112号墓に伴ったハマグリである。風化し部分的に剥離している。120は石製の玉である。

### 小結－蔵骨器に関する一考察

本調査地点の東半で検出された土坑墓群は熊本監獄・刑務所の墓と考えられる。蔵骨器はこれらの上位から検出されたため、当初、近代に火葬が隆盛した時期以降の蔵骨器と捉えていた。しかし、類例を調べたところより時期が上る可能性が出てきた。

熊本大学構内遺跡の本荘北地区0411調査地点では、近世末以降とされる溝内のビットから口径27.5cmの撮みのついた土師質の蓋が出土している(松田・大坪編2017)。また、同地区1104調査地点では近代とされる墓坑中から形態と調整の類似した土師質の蓋と壺身が別遺構から出土している(大坪編2013)。また、古町遺跡IのB-3区の156号土坑からは土師器の蓋が出土している。こちらも口径25.7cmと大きく、天井部が未調整で内面が回転ナデによるなどの特徴が本遺跡出土品と類似する。同一土坑内からは瓦質土器の壺身も出土しており、球形の胴部を呈し、頸部に蓋を受けるための段を有するという器形状の特徴や法量が本遺跡出土の蔵骨器の身と類似している。この156号から出土した陶磁器類は18世紀から19世紀中頃にはほおさまり、近代の資料を含まない(原田・美濃口編2004)。

本資料は近世中期から後期にかけて江戸遺跡などで出土する「火消壺」と形態や壁面調整が類似している。火消壺は、通常竈や炉の脇に置き、火付きのよい消し炭を作るのに用いる蓋つきの壺である(江戸遺跡研究会編2001)。この火消壺は、火葬骨や改葬、劍い犬や幼児の埋葬において蔵骨器の代用品として用いられることがあり、本遺跡出土資料も人骨を内蔵する例があることから蔵骨器として使用されていることがわかる。本来火消壺は、内部に入れた炭などが底を通して熱を伝えぬように三足を有していることが多い。しかし、本遺跡出土品にはこの三足が認められず、火消壺としての機能を損なうように思える。

このような三足を持たない火消壺とされる資料が埋葬に用いられた例がある。京都市埋蔵文化財研究所による西岸寺玉日姫御廁所<sup>注2</sup>の調査では、江戸時代後期の火消壺と焼骨が出土している(吉崎伸2013)。本来蔵骨器の代用品として用いられていた火消壺が、蔵骨器として機能を持つにいたって、不要となった三足が消失した可能性も考えられる。また、民俗例などから近代にも火消壺は使用されていることは分かるが、現時点では明治以降の編年は組まれていない。以上の見解から、本遺跡出土の蔵骨器は、江戸時代後期～近代初期の埋葬に伴う蔵骨器代用品である火消壺の可能性が高く、熊本監獄・刑務所の墓が黒髪に設置される前後に存在した墓が、何らかの理由で近代以降に破壊された際に、蔵骨器と一部の人骨が改めて埋納されたものと考えておきたい。

### (5) 植物遺体

畑の歯から栽培種の調査を目的とした土壤サンプリングを実施した。サンプリングの量は各地点で土袋袋1袋分ほどである。種子の同定は山野がおこない、熊本大学文学部の小畠弘己教授のご教示を受けた。

185号歯、190歯において土壤サンプルを実施した。ウォーターフローテーションを用いて、2mm、1mmのメッシュで資料を取り上げた。顕微鏡を用いて小石や根、不要な繊維などをピンセットで取り除き、種子のみを選別した。種子の観察はUSBマイクロスコープDino-Lite Edgeを使用し、パソコンに連結して簡易写真を記録している。

採取できた資料にはカヤツリグサ科やタデ科、スペリヒエ科など、1mmに満たない小型の種子が多く認められた。雑草類の種子であるが、いずれも炭化しておらず、今回の資料はコンタミネーション

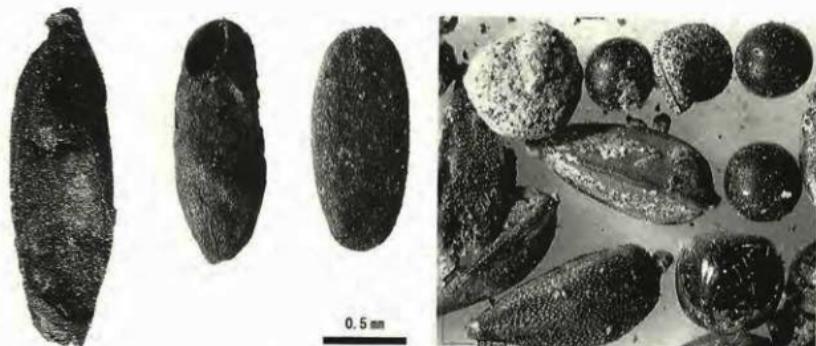


図21 1309調査地点出土植物遺体

を受けていると判断した。この他、炭化していると思われる種子が185号から1点、190号戸から2点得られた。当該資料は上記の未炭化物と混在しており、コンタミネーションの可能性があるが念のために写真を掲載しておく。イネ科に似た資料で長さ2mm程の個体も認められるが、いずれも種を同定することができなかった。

#### (6) 本調査地点の土地利用に関する考察

##### a. 近世の畠について

調査によって本調査地点周辺では、近世中期の畠→近世墓群・近世後期の畠→近代土坑墓群の順に遺構が形成されていった様子が見て取れた。それでは文献や地図から当該地点の土地利用について調べていく。

本調査地点は、立田山の南西裾と白川右岸に挟まれた舌状に広がる平野部に位置している。この一帯は藩時代の飽田郡黒髪村に含まれる。文化2年(1805)の『熊本之図』をみると、調査地点周辺にあたる白川右岸一帯は「上河原」と記されており、周辺が畠に利用されていた状況が確認できる(新熊本市史編纂委員会編1991、大坪編2010)。また、天保3年(1832)、鹿子木維善が藩命で著した『藤公遺業記』には「立田口白川筋上河原に大成洲あり河原開の畠あり或は墓所あり・・・」との記載がある(武藤他1909:p149)。このことから少なくとも19世紀前半には「上河原」の地がすでに畠あるいは墓域として利用されていたことがわかる。このことを裏付けるように9909調査地点では近世墓が53余基検出されており、0203調査地点では文化(1804~1818年)・文政(1818~1830)年の年号を持つ石碑が見つかっている。また、調査地点の南側、大学敷地に隣接する熊本刑務所之廟には熊本監獄・刑務所に関連する石碑が祀られており、この中に寛政11年(1799)、文化6年(1809)、天保4年(1833)の銘を確認できる<sup>13</sup>。いずれも調査地点一帯が18世紀末から19世紀前半頃まで墓地として利用されてきたことを示している。他方、9909調査地点から検出された畠址からは1690年代~1739年以降の近世遺物が出土し、1309調査地点の調査では畠址から18世紀前半~19世紀初頭の陶磁器片が出土している。切り合い関係からも当該地域では近世墓よりやや先行、あるいは一時期重複して畠が営まれていたと推測でき、文献や古地図との整合性が取れる。

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新宮その他工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

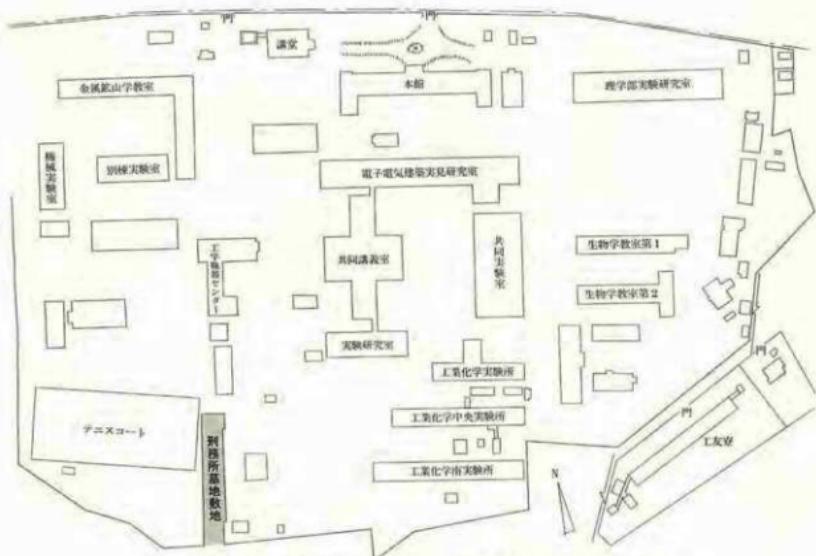


図22 昭和47年頃の熊本大学黒髪南地区における熊本刑務所墓地の位置  
※所管関係縦内の刑務所墓地敷地地図をトレース・一部改変

b. 熊本監獄・刑務所の墓地について

次に、当該調査区における熊本監獄・刑務所の墓地としての利用開始と経緯についてまとめたい。熊本監獄は、明治5年（1872）に現在の熊本市中央区手取本町に所在した熊本藩厩跡に創設された。明治10年（1877）の西南戦争によって被害を受け、それ以前の記録は残っていないという。明治13年（1878）には熊本県に手取本町の土地が引き継がれ、以後、監獄本署、監獄署、熊本監獄、熊本監獄署などと名称を変えながら、敷地を拡張、建物を増設し、明治33年（1900）に司法省の所管に移り、明治36年（1903）4月には熊本監獄と改称された。その後、熊本市街地の発展に伴い、大正4年（1915）には現在の熊本市中央区大江渡鹿に移転し、大正11年（1922）には熊本刑務所と改められた（熊本刑務所編1932）。

熊本監獄の埋葬墓地については、少量ながら文献や地図による記録が残されている。熊本県立図書館所蔵資料である「熊本県資料2-169」の中に『熊本縣監獄官有財産目録』があり、「その他の敷地」中に「飽田郡黒髪村の埋葬地（明治18年）」の記載がある（伊藤他2009）。このことから、明治18年（1885）には本地に熊本監獄の墓地が存在していたことがわかる。また熊本刑務所之廟には、明治14年（1881）建立の石碑や、明治15年（1882）から明治18年（1885）の埋葬者609名を埋葬した明治38年（1905）熊本監獄建立の石碑が認められるため、熊本監獄が本格的に機能し始めたという明治13年（1880）頃には、調査区周辺が監獄墓地として利用されていた可能性が高い。

さて、1309調査地点および既存の調査で確認された近代土坑墓群の由来は、熊本大学の施設部財産管理課が保管している『昭和四十三年度～四十七年度 熊本大学敷地（南地区）と熊本刑務所墓地敷

地所管換関係報』内の資料によって、熊本監獄・刑務所の墓地であることが明白となっている。本資料によれば、熊本大学工学部の前身である熊本高等工業学校（1906年創立）が敷地を拡張していく過程で、從来から学校の南西にあった熊本刑務所の墓地を畠む形になったとされている（図22）。そして昭和30年代以降になると、熊本大学では敷地利用において支障があり、熊本刑務所では墓の管理において不便となつたため、両者間で墓地の移設と敷地の所管換について協議が行われたという経緯が記されている。糸余曲折を経て、昭和47年度に現在の熊本刑務所之廟の敷地を残し、刑務所墓地の大部分が熊本大学の敷地へ所管換となった。図8と図22を比較するとわかるとおり、この際大学に組み込まれた刑務所墓地の一部が1309他調査地点の土坑墓群の分布と対応するのである。

資料には昭和47年当時、墓地埋葬遺体35名の改葬と旧石碑の移動を大学が実施したことも記載されている。現存の熊本刑務所之廟には「自昭和20年7月至昭和47年4月埋葬者35名 昭和47年5月熊本刑務所建立」の石碑があり、これが敷地所管換時に設置されたものだとわかる。また、廟内には上述したとおり藩時代や明治期の旧石碑の移設と、石碑新設が確認できる。ここで問題となるのが、発掘調査で見つかった近代墓の埋葬者の存在である。熊本刑務所墓地の範囲内に残されたこれら200体以上の埋葬人骨は、昭和47年度の改葬の際に計上されておらず、認知されていなかったことが分かる。同時に本遺跡の埋葬者が、少なくとも熊本監獄墓地の開始期である明治10年代以降から、墓が認識されていた昭和20年より前に熊本監獄・刑務所で死亡した囚人であることもわかる。以下、熊本刑務所之廟に現存する石碑と、当時の監獄法などの法律の内容を基に、埋葬時期をさらに検討していく。

監獄における死亡者の埋葬については、明治初期から法律で規定が定まっている。明治22年（1889）の『監獄則』中の『監獄則施行細目』には、監獄における死亡者又は刑死者の埋葬までの手順が詳細に規定されている。このうち特記すべき事項を列挙すると以下の通りである（白江編1889）。

- ・第七十七條「死亡者又ハ刑死者アルトキハ其年月日時ヲ記シ典獄ヨリ親屬ニ通知スベシ」
- ・第七十九條「死者ノ親屬若クハ故舊ニ其遺骸ノ下付ヲ許シタルトキハ其者ヲシテ簿冊ニ署名捺印セシムヘシ 監署ニ於テ遺骸ヲ假葬スルトキハ棺ニ入テ之ヲ埋メ其上二面三寸長三尺五寸ニ過キサル氏名標ヲ建ツベシ」
- ・第八十條「在監入ノ遺骸ハ假葬シタル後ト雖下付ヲ請フ者アルトキハ之ヲ許ス」
- ・第八十二條「假葬シタル死亡者刑死者ノ遺骸ニシテ満三箇年ニ至ルモ引取人ナキトキハ更ニ合葬スルコトヲ得但合葬シタルトキハ其墓標ニ石ヲ用ユベシ」

上記を要約すると、①監獄で死亡者あるいは刑死者が出たときは、その年月日時を記録し、典獄より親族へ通知すること、②死者の親族もしくは親しい知人にその遺骸の下付を許可するときは、その人に署名と捺印をもらうこと、③監獄において遺骸を仮葬するときは、棺に入れて埋め、その上に名前を入れた墓標を建てる、④囚人の遺骸は仮葬した後でも下付を請う人がいるときは許すこと、⑤仮葬した死亡者や刑死者の遺骸について満3年経っても引き取り人がいないときは（遺骸を）合葬すること、ただし合葬したときはその墓標には石を用いること、が記載されている。ここでいう「仮葬」とは、後に親族あるいは親しい知人が遺体を引き取る可能性を考慮して設定されたもので、棺桶などに入れて「土葬」することを指している。これに対して「合葬」が「本葬」にあたり、監獄法に注釈を入れた『監獄法講義』では「合葬トハ死者墳墓ノ地ヲ永久ニ保存スルノ儀式ト謂フノ義ナリ」と説明されている（小河1912:p645）。一方、明治22年の改定『監獄則』に先行して明治14年に発布された『監獄則』には「仮葬」はあるものの「合葬」の記載がみあたらない（和田1881）。後にこの条文が追加されたのは、『監獄則』に基づき囚人埋葬を実施する際、囚人の増加により全国各監獄で墓地の敷地上の問題があり、その改善のためと考えられる。

その後、明治41年（1908年）に公布・制定された『監獄法』および『監獄法施工規則』には、囚人死亡時の対応について『監獄則』を一部踏襲しながらもより具体的な内容が組み込まれ、期限の追加変更もみられる。以下に埋葬にかかる特記すべき条文を列挙する（小河1912、辻1928）。

- ・第七十三條「在監者死亡シタルトキハ之を假葬ス 死體ハ必要ト認ムルトキハ之ヲ火葬スルコトヲ得 死體又ハ遺骨ハ假葬後二年ヲ経テ之ヲ合葬スルコトヲ得」
- ・第七十四條「死亡者ノ親族故舊ニシテ死體又ハ遺骨ヲ請フ者アルトキハ何時ニテモ之ヲ交付スルコトヲ得但合葬後ハ此限ニ在ラス」
- ・第百八十一條「死亡後二十四時間ヲ経テ死體ノ交付ヲ請フ者ナキトキハ第百七十九條（解剖に関する項目）ノ場合ヲ除ク外之ヲ監獄ノ墓地ニ假葬ス可シ 火葬ニ付シタル場合ニ於テハ其遺骨ニ付キ亦同シ 假葬ノ場所ニハ死者ノ氏名及ヒ死亡ノ年月日ヲ記シタル木標ヲ立ツ可シ」
- ・第百八十二條「死體又ハ遺骨ヲ合葬シタルトキハ合葬者ノ氏名及ヒ死亡ノ年月日ヲ合葬簿ニ記載シ合葬ノ場所ニハ墓標ヲ立ツ可シ 墓標ニハ石ヲ用ウ可シ」

上記によれば、明治22年の『監獄則』と異なる点として、①必要なときは遺骸を火葬することができること、②遺骸あるいは遺骨は仮葬後2年を経過したら合葬することができること、③仮葬の墓標は木製、合葬の墓標は石を用いること、などが読み取れる。仮葬から合葬までの期間が3年から2年に変更となったのは、墓地の敷地不足によるものと考えられる。また火葬についての条文追加は、敷地不足だけが理由ではなく、伝染病死者による土壤汚染など衛生法からの影響も強い（廣中1901）。では、熊本監獄・刑務所において合葬はどのように実施されているか、石碑から読み解いていく。

現在熊本刑務所之廟には、近代以降の銘が刻まれた石碑として「明治14年2月2日建立」、「自明治15年11月至明治18年7月埋葬者609名 明治38年12月建立熊本監獄」、「自明治18年至明治35年12月埋葬者481名 明治38年建立熊本監獄」、「自明治36年3月至明治38年11月埋葬者□十六名 明治□十二年11月建立熊本監獄」、「自明治38年12月至昭和6年12月埋葬者60名 昭和9年3月熊本刑務所」、「自昭和20年7月昭和47年4月埋葬者35名 昭和47年5月熊本刑務所建立」を確認できる。石碑から、手取本町に熊本監獄が設置されて以降、明治14年頃から昭和47年まで合葬の石碑が祀られたことがわかる。このうち明治15年～明治18年の死亡者の合葬碑は明治38年に建立されている。建立された年代が埋葬者の死亡した年から20年以上も経過している理由は定かではないが、続く明治18年～35年までの死亡者の合葬碑が同じく明治38年に建立されていることから、当時の石碑が損壊あるいは紛失したために改めて石碑が製作されたと想定できる。少なくとも当初、熊本監獄では監獄法に基づき2年あるいは3年経過した仮葬遺骨について、合葬をおこなっていた様子がうかがえる。しかし、明治38年12月～昭和6年12月までの死亡者の合葬碑の「埋葬者60名」については疑問が残る。明治から昭和までの熊本県下の統計を記した『熊本縣治一班』、『熊本縣統計書』から囚人の死亡数を算出したところ、明治39年1から昭和6年12月の間に309名が死亡していることが分かった（表3）。当時、囚人の家族や知己が遺体あるいは遺骨の交付を望むことは少なかったため（吉野1910：p376）、石碑の埋葬者数と記録に200名以上の誤差があることは看過できない。そして昭和9年建立の合葬碑の後には、昭和47年に熊本大学により用意された昭和20年から47年の埋葬者35名の合葬碑しか確認できない。上述した通り、1309他調査地点における墓地に残された近代墓の存在は、ある時期から仮葬した埋葬者を全て把握できていなかったことを示している。

以上、石碑や文献などから、本調査地点で出土した熊本監獄の近代墓の年代は、明治39年～昭和20年（1906～1945）前後までと推定しておきたい。

表3 明治13年から昭和15年における熊本監獄・刑務所の死亡人数一覧表

和暦	西暦	男性				女性				総数	女性の割合 (%)	備考
		病死	変死	刑死	計	病死	変死	刑死	計			
明治13年	1880	12	0	10	22	2	0	0	2	24	8.3	
明治14年	1881	17	0	4	21	3	0	0	3	24	12.5	
明治15年	1882	18	1	0	19	0	0	0	0	19	0.0	
明治16年	1883	138	17	0	155	1	0	0	1	156	0.6	
明治17年	1884	236	4	3	243	2	0	0	2	243	0.8	
明治18年	1885	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	明治18~22年の熊本縣統計書を得られず
明治19年	1886	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
明治20年	1887	114	9	2	125	1	0	0	1	126	0.8	
明治21年	1888	84	5	4	93	0	0	0	0	93	0.0	
明治22年	1889	51	3	6	60	1	0	0	1	61	1.6	
明治23年	1890	51	0	3	54	0	0	0	0	54	0.0	
明治24年	1891	36	0	0	36	1	0	0	1	37	2.7	
明治25年	1892	63	0	1	64	2	1	0	3	67	4.5	
明治26年	1893	18	4	2	24	3	0	0	3	27	11.1	
明治27年	1894	19	0	2	21	2	0	0	2	23	8.7	
明治28年	1895	75	4	2	81	2	0	0	2	83	2.4	
明治29年	1896	73	0	0	73	2	0	0	2	75	2.7	
明治30年	1897	62	8	1	71	1	0	0	1	72	1.4	
明治31年	1898	89	6	0	95	2	0	0	2	97	2.1	この年から「刑死」なくなる
明治32年	1899	28	2	0	30	3	0	0	3	33	9.1	
明治33年	1900	30	4	0	34	0	0	0	0	34	0.0	
明治34年	1901	22	2	0	24	4	0	0	4	28	14.3	
明治35年	1902	36	0	0	36	0	0	0	0	36	0.0	
明治36年	1903	31	0	0	31	2	0	0	2	33	6.1	
明治37年	1904	42	1	0	43	1	0	0	1	44	2.3	
明治38年	1905	46	1	0	47	1	0	0	1	48	2.1	
明治39年	1906	42	0	0	42	1	0	0	1	43	2.3	
明治40年	1907	20	1	0	21	1	0	0	1	22	4.5	
明治41年	1908	9	0	0	9	1	0	0	1	10	10.0	
明治42年	1909	22	0	0	22	0	0	0	0	22	0.0	
明治43年	1910	21	0	0	21	2	0	0	2	23	8.7	
明治44年	1911	29	2	0	31	1	0	0	1	32	3.1	
大正元年	1912	11	0	0	11	0	0	0	0	11	0.0	この年から女性の死者なくなる
大正2年	1913	12	0	0	12	0	0	0	0	12	0.0	
大正3年	1914	13	1	0	14	0	0	0	0	14	0.0	
大正4年	1915	12	1	0	13	0	0	0	0	13	0.0	
大正5年	1916	8	1	0	9	0	0	0	0	9	0.0	
大正6年	1917	8	1	0	9	0	0	0	0	9	0.0	
大正7年	1918	10	1	0	11	0	0	0	0	11	0.0	
大正8年	1919	8	0	0	8	0	0	0	0	8	0.0	
大正9年	1920	5	0	0	5	0	0	0	0	5	0.0	
大正10年	1921	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0.0	
大正11年	1922	6	1	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
大正12年	1923	5	2	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
大正13年	1924	8	1	0	9	0	0	0	0	9	0.0	
大正14年	1925	6	1	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
大正15年	1926	7	1	0	8	0	0	0	0	8	0.0	
昭和2年	1927	4	0	0	4	0	0	0	0	4	0.0	
昭和3年	1928	7	0	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
昭和4年	1929	3	0	0	3	0	0	0	0	3	0.0	
昭和5年	1930	4	1	0	5	0	0	0	0	5	0.0	
昭和6年	1931	6	1	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
昭和7年	1932	7	1	0	8	0	0	0	0	8	0.0	
昭和8年	1933	2	0	2	4	0	0	0	0	4	0.0	
昭和9年	1934	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	統計書得られず
昭和10年	1935	6	0	0	6	0	0	0	0	6	0.0	
昭和11年	1936	15	0	0	15	0	0	0	0	15	0.0	
昭和12年	1937	7	0	0	7	0	0	0	0	7	0.0	
昭和13年	1938	5	0	0	5	0	0	0	0	5	0.0	
昭和14年	1939	7	1	0	8	0	0	0	0	8	0.0	
昭和15年	1940	8	0	0	8	0	0	0	0	8	0.0	昭和16~23年の熊本縣統計書得れせず

※本表は1881~1940年の「熊本縣統計表」と1891~1898年の「熊本縣治一報」を用いて作成した。表中の「-」は情報を得ることができなかったもの。

### c. 発掘調査成果との比較検証

以上の見解を念頭におき、文献と発掘調査成果との比較検証をおこなっていく。本調査地点のⅡ層は熊本大学黒髪南地区の白川に近い調査地点で頻繁にみられる砂層である。従前の調査から昭和28年6月26日に発生した白川大洪水による堆積砂とみて間違いない。よってそれよりも下位から検出された近代土坑墓群が、昭和28年以前であることは明白である。また近代墓の一つである86号墓からは大正9年(1920年)の1銭が出土した点についても碑文や記録との関係上、整合性がある。このほか、土坑墓内から出土した銅板転写の磁器碗片、プラスチック製鉢やガラス瓶、硝管などはいずれも明治20年代以降のものとみられる。遺跡の状況から、明治後半から昭和28年以前が近代墓の年代とみることが可能である。

調査地点に200体以上の近代墓が仮葬のまま合葬されずに残った理由は不明である。しかし、本地は白川右岸に位置し、南側に突出した土地にあるため、白川の洪水あるいは冠水被害を頻繁に受けている。昭和28年の水害時には、工学部の広い範囲が水没したことが記録に残っている(熊本大学60年史編纂委員会編2014)。昭和28年の洪水以前にも明治33年や大正12年に白川で大洪水が起きており、熊本高等工業学校の一部も冠水している。こうした水害被害により熊本監獄・刑務所の墓地も一時水没するなどし、墓の位置が不明確となり、仮葬された遺骨を合葬することができなくなったのではないだろうか。近代墓の直上に堆積するⅣ層は、砂質で遺物がほとんど含まれない。大正9年の1銭がⅣ層にパックされた土坑墓埋土中より出土することからも、Ⅳ層は大正9年以降の堆積層と判断できる。また、近代の整地土層のⅢ層はこうした水害により運ばれてきた堆積土を撤去、造成した際の土と推定される。

以上、遺跡の調査成果と文献、地図、熊本刑務所之廟の石碑を総合的に検討した結果、近代墓の多くが、明治後半から大正頃の熊本監獄・刑務所の囚人の墓であったと推測した。

### d. 近代土坑墓について

次に、埋葬施設である土坑墓の形態や人骨、副葬品について、遺跡の状況と文献から実態をみていく。本調査地点で検出された土坑墓は、直径1m程の円形プランを呈し、底がすぼまった円柱状の掘方を持つ。残りのよい土坑墓の掘方の統計をとると、検出面からの深さは1.8m程が多いことがわかった。人骨は坐葬の状態で埋葬されており、周囲からは木や布の纖維が検出されている。そのため、遺体を木製の桶あるいは布などに入れて埋葬したことがうかがえる。また、内部から釘が出土している例も多く、木棺墓に納められていたものも一定量あったとみられる。一方で97号墓や106号墓など土坑内に人骨がほとんど残っていないものや、53・57号墓など人骨が検出されない例もあった。

明治期以降、囚人は埋葬についても法律により一般人との差別化が図られていた。例えば、明治17年の『墓地及埋葬取締規則施行方法細則標準』では、第3条に「但死刑ニ處セラレタル者ハ墓地ノ一隅ヲ区画シテ其内ニ埋葬スルモノトス」とあり、一般の人々とは敷地を分けて埋葬することが義務付けられている(熊本県警察部1895)。実際に明治34年(1901年)に調製された『熊本縣肥後國飽託郡黒髪村字古屋敷』の『熊本縣監獄署附屬埋葬地圖』<sup>14</sup>をみると、「畠地」と「人民墓地」に取り囲まれた「死亡囚墓標」が確認でき、南側には「旧藩刑死者合葬墓標」も別に区画されている(図23)。

明治18年に布達された『墓地及埋葬取締細則』には、墓地や火葬場の設置や管理、埋葬の規制や方法などの項目が並んでいる(熊本県警察部編1911)。この中で第九条には「墓地ノ深サハ六尺以上タルヘシ若シ土地ニヨリ六尺ニ至リ難キモノ及ヒ火葬ノ遺骨ヲ埋蔵スルモノハ格別トス」とある。墓地の深さを六尺、約1.8mと規定したのは、明治34年(1901)の『衛生法』に、「大ニ屍体ノ分解ヲ速ニ

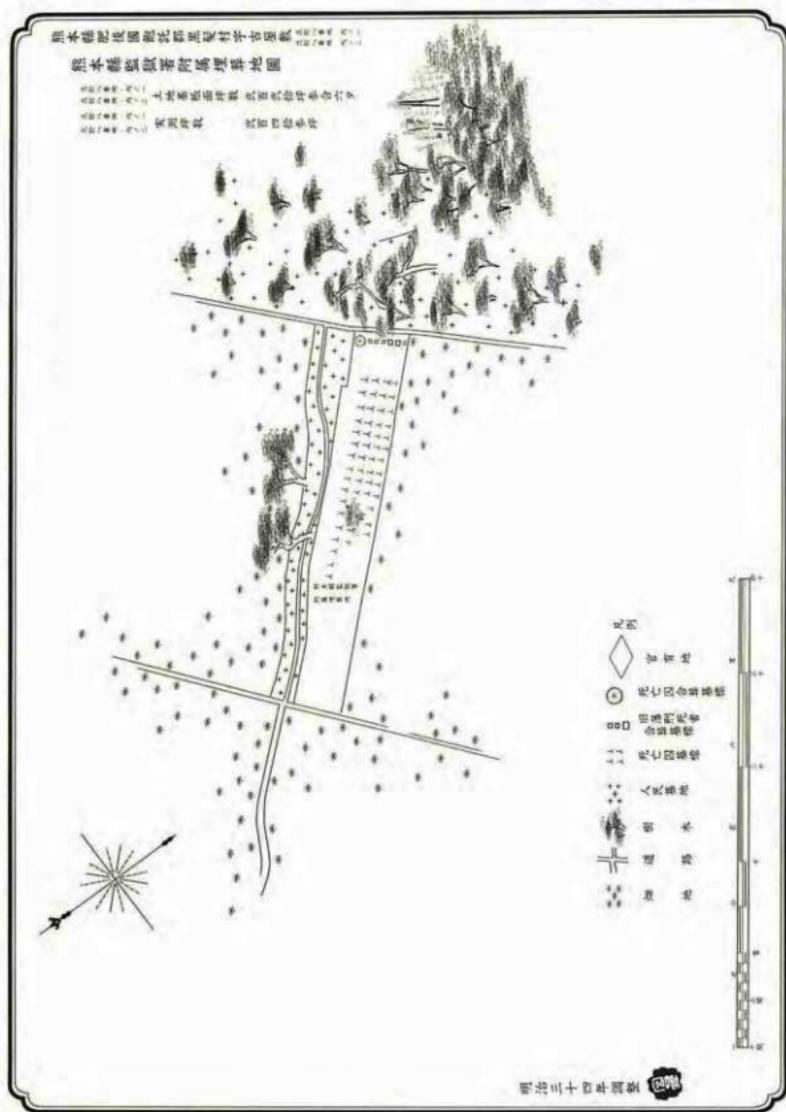


図23 熊本縣黒髪村北原里地圖附屬地圖 (各所管關係地圖内 の 地圖を トレス・一部改変)

シ且ツ臭氣ノ離散ヲ助クルノ効益アルガ故」と記載があり、衛生上の理由とされている（廣中1901：167）。本調査地点の土坑墓の深さが約1.8mと深いこともこれに起因すると思われる。また、人骨の所見によるとわずか女性の割合はわずか6%程度であることも、当時の囚人の割合と整合性がとれている（表3）。

そもそも、日本では幕末期以降の神道の思想に影響し、明治6年太政官布告において、「火葬ノ儀自今禁止候此旨布告候事」というように一般の火葬を禁じている。しかし、公衆衛生や敷地の問題から、たった2年後の明治8年太政官布告において火葬の禁止を解いているのである。熊本では明治22年の県令第四十二号において「飽田郡黒髪村字上河原伝染病者死屍埋葬場ハ衛生上危害アリト認ムルニヨリ自今理葬ヲ禁止ス」と通達が出されており、当該調査地周辺における土壤汚染があったことを生々しく伝えている（熊本県警察部1911：p179）。明治政府は埋葬方法として火葬を奨励していたのだが、火葬場の不足や火葬のための資金支払いなどの問題もあり、大正14年（1925）にいたっても全国の火葬率は43.2%で、基本的に土葬が多かった（勝田編2012）。熊本監獄・刑務所の墓における埋葬方法はほぼ土葬に限られるが、蔵骨器の7号墓や、96号墓、105号墓などに一部焼骨が認められる。本調査地点の成果は、近代の埋葬方法の変容過程の実情を知る上でも重要と思われる。

#### (7)まとめ

本調査地点一帯は緑地として活用されており、これまでに大型構造物が造られたこともないため、遺跡の保存状況は極めて良好であった。遺構面は地表下約2.5mである。調査区西側で近世後期と思われる畳址が、調査区東側では熊本監獄・刑務所の土坑墓が確認された。また、土坑墓の上位からは蔵骨器が検出された。

本調査区周辺では9909調査地点、0203調査地点、1418調査地点がこれまでに調査されている。各地点の土層を精査したところ、I～V層について対応がとれた。ただし、9909・0203調査地点で発見された畳址は出土品から近世中期と報告されており、本調査地点の畳址は出土品によればやや時期が下ると思われる。各地点で確認された畳は同軸方向で営まれており、各遺構の距離からも同時に畳が使用されていた可能性が高い。本調査地点の畳址からは陶磁器片や破片面子などが出土したが、年代を決定づける資料が出土していないため、他地点の土層との対応関係も含めて今後の課題の一つといえる。また、栽培植物の復元を目的とした土壤サンプリングとフローテーションを実施したが、現代の種子が混入しており、まとまった炭化物など明確な成果は得られなかった。

調査区東側の近代土坑墓群の上位から出土した資料として蔵骨器が複数得られている。これまで熊本県下でも数例の報告が認められるが、本調査地点からはまとまった良好な資料が得られた。2例については焼骨が伴っており、蔵骨器としての機能を有していたと思われるが、出土状況からは、その多くが一度取り上げられた後、廃棄されたものとみられる。その形態から、火消壺の転用品あるいは火消壺から変容した骨壺と思われ、江戸時代後期末から近代の資料と考えられる。

調査区東側一帯からは近代土坑墓群が100基以上検出された。本埋葬は、発掘調査の成果だけでなく大学の所管関係資料や地図、文献などから明治後半から大正頃の熊本監獄・刑務所の囚人の墓であることが判明した。土坑墓はほぼ全てが円形プランを呈しており、深さが約1.8mである。木材や繊維が残存している例もあり、鉄釘も埋土中から出土することから早桶や木棺墓が埋葬施設に用いられたと想定できる。埋葬に共伴する遺物として、陶器瓶、磁器杯、ガラス瓶、銭、釦、鉄製品、数珠、貝殻などがあげられる。近代墓の例には、隣接する0203調査地点ではガラス瓶が、また、熊本大学構内遺跡本荘北地区の1104調査地点では杯や開元通宝、天保通宝、1銭などの銭、二枚貝が出土するな

どの共通点が認められる。人骨資料は134体得られている。埋葬姿勢は坐葬で焼骨を含む例がある。また、人骨が一部抜き取られた例やわずかな骨片しか出土しない例が少數みられたが、これらは本埋葬が監獄・刑務所における仮葬であり、後に合葬されたかあるいは人骨の引き取り手があったものと考えられる。人骨のうち9割近くが男性で女性はわずか8体であり、こうした男女比も囚人の墓としての特徴を示す。

熊本県のみならず、全国的に近代の墓の調査は類例が少ない。それが監獄・刑務所の墓地であるならば尚更である。本調査においても遺跡の年代や調査期間の短さから十分な調査を実施することはできなかった。しかし、発掘調査の成果と文献や古地図との比較検証により、少なからず本調査地点周辺における近世から近代にかけての土地利用と熊本監獄・刑務所の囚人墓地について復元し、その実体に迫ることができたと思われる。あまり知られていないが熊本大学と熊本監獄・刑務所は歴史的に関係性が深い。近年の調査によって、熊本大学の前身である第五高等中学校（後の第五高等学校）の赤煉瓦建築に使用された煉瓦は、その製造に熊本監獄の囚人が関わっていたことが確実となっている（松田・大坪編2017）。監獄は明治維新以降、近代化の波の中で、冤罪も含めて罪を犯した人々の更生の場でもあり、煉瓦建築を代表とする近代建築の発展に深く関わっているのである。今後、近代の遺跡の発掘調査と研究は、明治以降の近代化を促進した熊本の地域史の復元をおこなう上で重要な分野となりえる。

#### 注

1. 大坪編2003の図3の調査区西壁土層断面図のLHは「20.00m」と記されているが、他の調査区との整合性が取れなかった。原図を確認したところ「19.00m」の記載ミスであったことが判明したため、本書で訂正しておきたい。
2. 玉日姫とは鎌倉時代の公卿九条兼実の娘であり、親鸞の妻と伝えられている。嘉永5年（1852）に改葬された記録があり、発掘調査では年代的確証は得られないものの、火消壇の年代観とは整合性がとれている。
3. 熊本刑務所崩の調査においては熊本刑務所用度課の許可を得た。
4. 本資料は熊本大学施設部財産管理課が保管している『昭和四十三年度～四十七年度 熊本大学敷地（南地区）と熊本刑務所墓地敷地所管換関係総』内に所収されていた。

#### 引用・参考文献

- 浅川範之 2007「飯茶碗の考古学」「近世・近現代考古学入門」 pp.49-69 慶應義塾大学出版会  
 浅香勝輔・八木澤壯一 1983「三 近代化のなかでの火葬の受容」「火葬場」 大明堂  
 伊藤重剛・末藤武志・磯田桂史 2009「明治の熊本監獄の建築に関する研究（1）」「日本建築学会九州支部研究報告」第48号 pp.697-700 日本建築学会  
 江戸遺跡研究会編 2001『図説江戸考古学研究事典』 柏書房  
 大坪志子編 2003『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』9 熊本大学埋蔵文化財調査室  
 大坪志子編 2010『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』VI 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第6集 熊本大学埋蔵文化財調査室  
 大坪志子編 2013『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』IX 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第9集 熊本大学埋蔵文化財調査センター  
 小河滋次郎 1912『監獄法講義』 岩松堂書店

1. (黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新宮その施工事に伴う発掘調査 (1309調査地点)

- 勝田至編 2012『日本幕制史』吉川弘文館
- 九州近世陶磁学会事務局編 2000『九州陶磁の編年』九州近世陶磁学会
- 熊本刑務所編1932『刑務一覧表』熊本刑務所
- 熊本縣警察部編 1895『現行衛生彙法全』熊本縣
- 熊本縣警察部編 1911「第10章 墓地及埋火葬」『熊本縣警察類典』pp.171-180 熊本縣
- 熊本大学60年史編纂委員会編 2014「第2節「6・26水害」とその被害」『熊本大学60年史 通史編』pp.175-187 国立大学法人熊本大学
- 白江廷太郎編 1889「監獄則施行細則」「改正監獄則」pp.18-48 岡島宝文館
- 新熊本市史編纂委員会編1991『新熊本市史 別編第1卷 絵図・地図』上 熊本市
- 辻敬助 1928『監獄法提要』清水書店
- 長佐古真也2007「続・お茶碗考－近代・現代の中形碗に飯碗を探る」『考古学が語る日本の近現代』同成社
- 原田範昭・美濃口雅朗 2004『古町遺跡 第1次調査区 発掘調査報告書』熊本市教育委員会編
- 廣中佐兵衛 1901「第五章 墓地及埋葬ノ制度」「衛生法」pp.141-191 東京博文館
- 松田光太郎・大坪志子編 2017『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』XII 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第12集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 武藤巖男・宇野東風・古城貞吉編1909『藤公遺業記』『肥後文獻叢書』pp.136-165 東京隆文館
- 山野ケン陽次郎編 2016『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』21 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 吉崎伸 2013『西岸寺玉日姫御廟所調査』『第243回京都市考古資料館文化財講座』資料 p10 京都市埋蔵文化財研究所
- 吉野徳一 1910「第十三章 死亡」『袖珍監獄実務詳解：法令通牒対照』pp.373-383 明倫館
- 和田篤太郎 1881『改定監獄則』春陽堂



## 熊本中央区黒髪町遺跡群1309調査地点出土の近代人骨

松下真実\*・松下孝幸\*\*

【キーワード】：熊本県、近代人骨、坐葬

熊本中央区黒髪2丁目39番1号に所在する黒髪町遺跡群1309調査地点の発掘調査が国際革新技術研究拠点施設の建設工事に伴って、2013（平成25）年におこなわれた。この地点は、明治5年に設置された熊本監獄の埋葬地として使用された場所である。熊本監獄はその後、渡鹿に移動し熊本刑務所と名称を変えたが、熊本大学の構内に取り込まれるまでその墓地は使用されてきた。

明治5年に熊本監獄が手取本町に建設され、そのときから熊本監獄の墓地として使用され始め、熊本大学の敷地となった昭和47年まで使われたようである。今回検出された人骨は熊本監獄と熊本刑務所に収監中に亡くなった人たちの骨である。被葬者は比較的若いものが多いので、生年は明治が大部分と思われる。

熊本県では大江遺跡群第68次調査区（松下、2002）と出水国府跡（松下真実・他、2008）から出土した近代人骨の報告があり、本庄遺跡1104調査地点からも多数の近代人骨が出土しているが、近代の造構そのものの調査例がかなり少ないので、近代人骨の研究は進んでいない。

大江遺跡群第68次調査区からは92体の近代人骨が出土している。男性の頭型は長頭型であるが、女性は短頭型である。男性の顔面は高・狭顔であるが、女性は低・広顔で、歯槽性突顎は男女ともに認められない。四肢骨は細く、男性は低身長で、女性は高身長であった。

出水国府跡からは壇棺1基から1体の男性骨が出土した。頭型は過長頭型で、広顔傾向を示し、鼻根部は扁平ではなく、四肢骨は長く、太く、高身長であった。

上記2遺跡の近代人骨は壇棺から出土した人骨であることから、被葬者は旧土族ではないかと筆者らは推測している。男性の頭型はいずれも長頭型であることが共通しており、熊本市域の近代人男性は長頭型と考えてもよさそうであるが、顔面や四肢骨の特徴と推定身長値などが両者で異なっており、さらに検討が必要で、このような意味からも本調査地点出土人骨の特徴が注目される。

本調査地点で検出された埋葬造構の平面プランはおおむね円形で、墓坑は大きく、深い。埋葬姿勢は坐位である。墓穴は整然と並んで検出された。検出された人骨は表4に示すとおり134体である。成人骨は133体で、そのうち男性骨は116体、女性骨は8体、性別不明9体で、未成人骨が1体である。各人骨の性別・年齢などは表6に示した。また、年齢区分は表5とのおりである。現在、人骨の整理、復元、保存処理をおこなっており、一連の作業が終了した時点では体数などに若干の修正が生じる可能性がある。

近代墓地や近代人骨の研究調査に恵まれることはきわめて稀なことである。本人骨は受刑者という特別な環境下にあった人々の骨とはいえ、近代という歴史を生きた人たちの骨であり、日本人の形質の時代変化を探る上では貴重な資料となるものである。

表4 資料数 (Table1. Number of materials)

成 人		未 成 人	合 計
男 性	女 性	不 明	
116	8	9	134

表5 年齢区分 (Table2. Division of age)

年齢区分		年 齡
未 成 人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳（第一大臼歯萌出直前まで）
	小児	6歳～15歳（第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで）
	成 年	16歳～20歳（蝶形頭軟骨結合癒合まで）
成 人	壯 年	21歳～39歳（40歳未満）
	熟 年	40歳～59歳（60歳未満）
	老 年	60歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書（1996）を参照されたい。

#### ＜参考文献＞

1. 熊本大学埋蔵文化財調査室、2008：熊本大学構内遺跡発掘調査報告IV（熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集）
2. 松下孝幸、2002：熊本市大江遺跡群第68次調査区出土の近代人骨。大江遺跡群IV－大江遺跡群第68次調査区発掘調査報告書－：62-97。
3. 松下孝幸、2006：長崎県近・現代人頭蓋計測値。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第1号：21-24。
4. 松下孝幸・他、2013：熊本市本庄1104調査地点出土の近代人骨。熊本大学構内遺跡発掘調査報告IX（熊本大学埋蔵文化財調査報告書第9集）：116-122。
5. 松下孝幸・他、2008：熊本県熊本市出水国府跡出土の近代人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第3号：1-17。

\*Masami MATSUSHITA, \*\*Takayuki MATSUSHITA

The Organization of Anthropological Research [NPO 法人・人類学研究機関]

表6 1309調査地点出土人骨・埋葬遺構一覧表

遺構番号	取上番号	遺構	性別	年齢	埋葬姿勢	頭の向き	人骨備考	鉄製品		備考
								内容	重量(g)	
1	M52	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身が上下逆転した状態で検出 下位より24号墓検出
2	M31	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身蓋を検出
3	M9	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身蓋を検出
4	M68	藏骨器	-	-	-	-	骨片あり	-	-	身蓋を検出 下位より71号墓検出
5	M38	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身蓋を検出
6	M53	藏骨器	不明	不明	不明	不明	四肢骨	釘、環状製品	14.5	蓋片のみ検出 壁から崩落
7	M39	藏骨器	男性	不明	不明	不明	火葬骨	釘	1.6	身下半分を検出 下位より97号墓検出
8	M146	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	釘	1.7	蓋と陶器壺を検出 下位より102号墓検出
9	M18	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身のみ検出 下位より103号墓検出
10	M55	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身と蓋を検出 下位より113号墓検出
11	M56	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身蓋を各3点を検出 下位より118号墓検出
12	M66・70	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	身5点、蓋3点を検出 下位より132号墓検出
13	M71	藏骨器	-	-	-	-	人骨なし	-	-	陶器壺底部片を検出
14	M85	土坑墓	男性	老年	坐位	北東			-	-
15	M82	土坑墓	男性	壯年	不明	不明		釘	6.8	
16	M78	土坑墓	男性	老年	不明	不明			-	天保通宝1点。直下に本貫検出
17	M94	土坑墓	男性	不明	坐位	南		船釘	48.8	
18	M92	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	61.3	
19	M90	土坑墓	男性	不明	坐位	北西	頭蓋なし、下肢は寛骨から分離	-	-	数珠 プラスチック製釘3点
20	M145	土坑墓	男性	老年	坐位	東		釘	8.2	
21	M87	土坑墓	男性	老年	坐位	西	左下肢骨混亂	釘	20.2	寛永通宝1点
22	M84	土坑墓	男性	壯年	坐位	西?		釘	2.3	
23	M81	土坑墓	男性	壯年	坐位	不明		釘	1.9	
24	M60	土坑墓	男性	老年	坐位	北東(東)		釘、板状製品	20.6	鐵錐検出 上位より1号墓検出
25	M93	土坑墓	男性	不明	坐位	西		釘	2.0	
26	M91	土坑墓	男性	壯年	坐位	東		釘	16.2	
27	M89	土坑墓	男性	不明	坐位	不明		-	1.5	
28	M86	土坑墓	男性	老年	坐位	西		釘	6.0	
29	M83	土坑墓	男性	壯年	坐位	東		釘	15.4	
30	M80	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		-	-	一本片
31	M76	土坑墓	-	未成人	坐位	西	未成人、骨端分離	釘	3.5	
32	M125	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	3.3	
33	M36	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	2.5	
34	M88	土坑墓	男性	壯年	坐位	西	入南	釘	4.7	
35	M15	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	5.0	
36	M14	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	2.6	
37	M79	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	0.7	
38	M75	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	1.0	木片
39	M7	土坑墓	男性	壯年	不明	不明		釘	1.1	
40	M23	土坑墓	男性	老年	不明	不明		-	-	
41	M30	土坑墓	男性	不明	不明	不明		-	-	
42	M16	土坑墓	男性	壯年	不明			釘	1.8	ワイン瓶1点 杯1点
43	M22	土坑墓	男性	不明	坐位	東		釘	7.7	下位より43号墓検出
44	M131	土坑墓	男性	壯年	坐位	西	3体分	釘	0.4	下位より46号墓検出 男性不明、男性壮年
45	M57	土坑墓	男性	壯年	不明	不明		-	-	下位より46号墓検出
46	M144	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	9.2	上位より45号墓検出 木製鐵錐
47	M13	土坑墓	女性	不明	不明	不明		-	-	
48	M8	土坑墓	男性	壯年	不明	不明		-	-	
49	M10	土坑墓	男性	老年	坐位	西		-	-	プラスチック製釘1点
50	M28	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		-	-	

造構 番号	取上 番号	遺構	性別	年齢	埋葬姿勢	頭の向き	人骨備考	鉄製品		備考
								内容	重量 (g)	
51	M44	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	3.6	
52	M12	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		—	—	
53	M59	土坑墓	—	—	—	—	人骨なし	—	—	
54	M139	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	1.4	
55	M138	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	2.3	
56	M137	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	8.4	
57	M48	土坑墓	—	—	—	—	人骨なし	—	—	
58	M46	土坑墓	男性	壯年	不明	不明		釘	9.2	
59	M43	土坑墓	男性	不明	坐位	西		釘	0.8	土坑下場記録なし
60	M41	土坑墓	男性	不明	坐位	北		釘	3.3	
61	M11	土坑墓	男性	壯年	不明	不明		釘	1.7	炭化物
62	M123	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	1.8	
63	M116	土坑墓	男性	壯年	坐位	南西		釘	6.0	
64	M105	土坑墓	男性	壯年	坐位	南西		—	—	
65	M47	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		—	—	
66	M45	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		—	—	
67	M42	土坑墓	男性	熟年	坐位	南西		釘	4.3	木製織維 炭化物
68	M40	土坑墓	男性	成年	坐位	西	骨端分離	釘	1.6	
69	M121	土坑墓	男性	壯年	不明	不明		釘	6.7	
70	M49	土坑墓	女性	壯年	坐位	東		釘	2.3	
71	M117	土坑墓	女性	不明	坐位	北西		釘	7.5	上位より4号墓検出
72	M106	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	3.1	
73	M33	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	16.8	
74	M24	土坑墓	男性	壯年	坐位	北		—	—	
75	M6	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	8.0	
76	M25	土坑墓	男性	壯年	不明	不明		—	—	
77	M130	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		—	—	
78	M119	土坑墓	男性	壯年	坐位	北		—	—	
79	M107	土坑墓	男性	壯年	坐位	南		—	—	
80	M37	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	1.4	
81	M32	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	8.7	
82	M21	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	10.4	
83	M50	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		—	—	人骨下部より木質の織維検出
84	M51	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		—	—	人骨下部より木質の織維検出
85	M136	土坑墓	男性	熟年	不明	不明		釘	3.1	
86	M110	土坑墓	女性	壯年	坐位	南東		—	—	「大正九年」一錢
87	M114	土坑墓	男性	熟年	坐位	南西		釘	2.7	
88	M34	土坑墓	男性	不明	坐位	西		—	—	
89	M4	土坑墓	男性	熟年	坐位	西		釘	4.8	
90	M3	土坑墓	男性	壯年	坐位	北西		釘	0.7	鉄袋の中に人骨
91	M27	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		釘	2.8	
92	M63	土坑墓	男性	壯年	坐位	南西		—	—	プラスチック製釘1点。本片
93	M29	土坑墓	男性	不明	不明	不明		—	—	
94	M5	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	1.4	鉄袋の中に人骨
95	M122	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	2.6	
96	M109	土坑墓	不明	不明	不明	不明	骨片、焼骨あら	—	—	改葬か
97	M108	土坑墓	男性	不明	不明	不明	骨片のみ	—	—	改葬か 上位より7号墓検出
98	M35	土坑墓	女性	熟年	坐位	南東		—	—	
99	M20	土坑墓	男性	壯年	不明	不明		—	—	
100	M64	土坑墓	女性	不明	坐位	南		釘	0.9	プラスチック製釘1点。本片
101	M150	土坑墓	男性	不明	不明	不明		—	—	
102	M140	土坑墓	男性	壯年	坐位	北		板状製品	150.0	上位より8号墓検出
103	M142	土坑墓	男性	不明	不明	不明		—	—	上位より9号墓検出
104	M19	土坑墓	男性	不明	坐位	東		—	—	
105	M148	土坑墓	不明	不明	不明	不明	骨片、火葬骨のみ	—	—	改葬か
106	M149	土坑墓	不明	不明	不明	不明	骨、骨片のみ	—	—	改葬か
107	M104	土坑墓	男性	熟年	坐位	東		—	—	
108	M147	土坑墓	男性	不明	不明	不明		釘	85.5	
109	M141	土坑墓	男性	不明	不明	不明		鋸板状製品	675.0	土坑理上層より板状鉄製品など

遺構番号	取上番号	遺構	性別	年齢	埋葬姿勢	頭の向き	人骨備考	鉄製品		備考
								内容	重量(g)	
110	M98	土坑墓	不明	不明	不明	不明	大顎骨・尺骨・骨片のみ	板状製品	27.4	改葬か
111	M17	土坑墓	男性	老年	坐位	北東		釘	2.3	炭化物
112	M1	土坑墓	男性	壯年	坐位	南		釘、缶	344.0	陶器軸2点 ハマグリ5点 缶1点 120号墓を切る
113	M127	土坑墓	男性	老年	坐位	北		釘	72.5	上位より10号墓検出
114	M135	土坑墓	男性	不明	不明	不明		—	—	
115	M129	土坑墓	男性	老年	坐位	東		釘	18.6	板状鉄製品
116	M133	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		—	—	
117	M156	土坑墓	男性	不明	不明	不明		—	—	
118	M155	土坑墓	不明	不明	不明	南、骨片のみ		—	—	改葬か
119	M26	土坑墓	男性	老年	坐位	東		釘	3.2	ガラス製壺瓶1点
120	M65	土坑墓	男性	老年	坐位	東		釘、板状製品	48.8	112号墓に切られる
121	M126	土坑墓	男性	老年	坐位	東		—	—	
122	M132	土坑墓	男性	壯年	坐位	南		—	—	人骨歯
123	M128	土坑墓	男性	老年	坐位	西		釘	26.6	泥面子 炭化物
124	M124	土坑墓	男性	不明	坐位	南		—	—	
125	M97	土坑墓	男性	不明	不明	不明		—	—	
126	M99	土坑墓	男性	不明	坐位	北東		—	—	
127	M95	土坑墓	男性	壯年	坐位	東		板状製品	6.7	
128	M74	土坑墓	男性	壯年	坐位	西		—	—	
129	M152	土坑墓	男性	壯年	坐位	北西		—	—	
130	M118	土坑墓	男性	老年	坐位	西		—	—	
131	M120	土坑墓	男性	不明	坐位	北		—	—	
132	M154	土坑墓	不明	不明	不明	不明	尺骨、骨片のみ	—	—	改葬か 上位より12号墓検出
133	M96	土坑墓	女性	老年	不明	不明		釘	1.2	
134	M112	土坑墓	女性	不明	不明	不明		—	—	
135	M111	土坑墓	男性	老年	坐位	西		—	—	
136	M103	土坑墓	男性	不明	不明	不明		—	—	
137	M113	土坑墓	不明	不明	不明	不明	骨片のみ	—	—	改葬か
138	M100	土坑墓	男性	不明	不明	不明		—	—	
139	M102	土坑墓	男性	不明	坐位	東		—	—	
140	M72	土坑墓	男性	不明	坐位	東		—	—	
141	M69-A	土坑墓	男性	不明	坐位	北		釘、板状製品	2.3	
142	M62	土坑墓	男性	壯年	坐位	南西		—	—	
143	M54	遺物集中区	-	-	-	-	人骨なし	釘、缶	342.0	ガラス製品2点 下位より13号墓検出
144	M67	擾乱土	男性	不明	-	-		—	—	遺構位置記録なし
145	M101	土坑墓	男性	不明	坐位	東	頭蓋と下肢骨なし	—	—	遺構位置記録なし
146	M151	擾乱土	不明	不明	不明	不明	骨片のみ	—	—	遺構位置記録なし

\*表中の「取上番号」は現場での人骨の取り上げ番号である。保管されている人骨の整理番号や遺物の注記番号はこちらに対応している。「遺構番号」は整理作業後付した番号である。報告書にはこちらの番号で記載している。

\*表の人骨の所見は松下孝幸・松下真実による。鉄製品と備考は山野、柴田による。

表7 1309調査地点出土遺物一覧表

回番号	遺物	種類(器種)	法寸(cm)	性 存 量	特 徴	色 調	出 土 遺 物	備 考
10.1	土師器	壺(身)	口径 19.5 底径 17.8 高さ 19.0	一部欠損	内: 回転ナメ 外: 型づくり、ケズリ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	1号墓	型づくり部分に雲母の粉付着 外側に型づくりの整さまが残る
2	土師器	壺(蓋)	口径 31.3 底径 26.1 高さ 5.9	一部欠損	内: 回転ナメ 外: 回転ナメ 天井部未調整	内: Hue 7.5YR7-4 外: Hue 7.5YR6/6	2号墓	墨み貼り付け 天井部外側面にスレ状状況あり
3	土師器	壺(身)	口径 26.0 底径 24.0 高さ 26.4	完 形	内: 回転ナメ、脚ナサエ ナサ 外: 型づくり、ケズリ後 ナメ、底部未調整	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR6/4	2号墓	型づくり部分に雲母の粉付着 外側に型づくりの整さまが残る 外側に棒状工具
4	土師器	壺(蓋)	口径 29.9 底径 27.5 高さ 4.3	ほぼ完形	内: 回転ナメ 外: 回転ナメ、ケズリ 天井部未調整	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	3号墓	墨み貼り付け
5	土師器	壺(身)	口径 26.2 底径 24.4 高さ 26.5	完 形	内: 回転ナメ 外: 型づくり、回転ナメ、 ケズリ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	3号墓	型づくり部分に雲母の粉付着 外側の一部に粘土の整さまと型づ くりの整さまが残る
6	土師器	壺(蓋)	口径 30.0 底径 26.8 高さ 6.0	半 欠	内: 回転ナメ 外: 回転ナメ、ケズリ、 脚ナサエ、脚目、天井 部未調整	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR6/4	4号墓、5号墓 間に接する	脚目後端墨み貼り付け
7	土師器	壺(身)	口径 24.5 底径 24.9 高さ 27.1	一部欠損	内: 回転ナメ 外: 型づくり、回転ナメ、 ヘラ状工具痕、横ナ メ	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/4	4号墓	内部底に鉄針が付着 外側に型づくりの整さまが残る
8	土師器	壺(蓋)	口径 28.7 底径 24.5 高さ 4.3	半 欠	内: 回転ナメ 外: 回転ナメ、ケズリ 脚目、天井部未調整	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR7/4	5号墓	脚目後端墨み貼り付け
9	土師器	壺(蓋)	口径 32.4 底径 27.5 高さ 5.0	13号部分	内: 回転ナメ 外: 回転ナメ、ケズリ 天井部未調整	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	6号墓、7号墓 間に接する	
10	土師器	壺(身)	口径 23.4 底径 21.4 高さ 5.0	半 欠	内: 回転ナメ、ナサエ、 ナサ 外: ケズリ、底部未調整 棒状工具痕	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 2.5YR7/4	5号墓	底部に棒状工具痕残る 内部下部に工具痕残る
11.11	土師器	壺(身)	口径 24.5 底径 23.9 高さ 5.7	半 欠	内: 回転ナメ 外: 型づくり、ケズリ後 ナメ、底部未サエ、 未調整、棒状工具痕	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/4	7号墓	松岩成文館 型づくり部分に雲母の粉付着 底部に墨痕底、方形状状況あり 外側に型づくりの整さまが残る
12.12	土師器	壺(蓋)	口径 20.8 底径 17.8 高さ 4.0	完 形	内: 回転ナメ 外: 回転ナメ、ケズリ 天井部未調整	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	8号墓	墨み貼り付け 天井部外側面にスレ状状況あり
13	土師器	壺(身)	口径 16.5 底径 15.8 高さ 17.8	ほぼ完形	内: 回転ナメ、ナサエ 外: 型づくり、回転ナメ、 ケズリ、ナサ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	9号墓	松岩成文館 型づくり部分に雲母の粉付着 外側の一部に粘土の整さまと型づ くりの整さまが残る
14	土師器	壺(蓋)	口径 17.2 底径 16.2 高さ 4.0	天井部 部分	内: 回転ナメ 外: 回転ナメ、脚目、天井 部未調整	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	10号墓	脚目後端墨み貼り付け
15	土師器	壺(身)	口径 19.1 底径 17.9 高さ 4.0	半 欠	内: 回転ナメ 外: 長円形の史ナメ ケズリ後回転ナメ ナサエ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR5/4	10号墓	底部外側にケズリ残る 底部外側に「A」方向状状況あり
16	土師器	壺(蓋)	口径 21.5 底径 19.7 高さ 4.3	13号部分	内: 回転ナメ 外: 天井部 未調整	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	11号墓 No.11	脚目後端墨み貼り付け 天井部外側面にスレ状状況あり
17	土師器	壺(身)	口径 17.2 底径 15.1 高さ 17.5	ほぼ完形	内: 回転ナメ 外: 型づくり、回転ナメ、 ケズリ、底部未調整 一部墨ナサエ	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	11号墓 No.2~4	松岩成文館 型づくり部分に雲母の粉付着 外側に型づくりの整さまが残る
18	土師器	壺(蓋)	口径 21.3 底径 17.7 高さ 4.9	完 形	内: 回転ナメ、ナサエ 外: 型づくり、ケズリ 天井部未調整	内: Hue 7.5YR5/4	11号墓 No.5~10~14~ 19~22~25~ 括	墨み貼り付け 天井部外側面にスレ状状況あり
19	土師器	壺(身)	口径 16.9 底径 15.9 高さ 17.2	13号部分	内: 回転ナメ 外: 型づくり、回転ナメ、 ケズリ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/3	11号墓 No.3~ 17~18~ 括	松岩成文館 型づくり部分に雲母の粉付着 外側に型づくりの整さまが残る
20	土師器	壺(蓋)	口径 21.0 底径 17.9 高さ 4.0	13号部分	内: 回転ナメ 外: 回転ナメ、天井部 未調整	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 7.5YR7/4	11号墓 No.21	墨み貼り付け 天井部外側面にスレ状状況あり
21	土師器	壺(身)	口径 17.3 底径 15.8 高さ 17.3	完 形	内: 回転ナメ 外: 型づくり、ケズリ、 ナサエ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 10YR5/4	11号墓 No.15	松岩成文館 型づくり部分に雲母の粉付着 外側口縁部付近に型づくりの整さま 日が残る
22	土師器	壺(蓋)	口径 24.4 底径 22.3 高さ 4.0	一部欠損	内: 回転ナメ 外: 回転ナメ、脚目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	12号墓	脚目後端墨み貼り付け
23	土師器	壺(身)	口径 18.9 底径 18.0 高さ 20.7	一部欠損	内: 回転ナメ、ナサエ 外: 回転ナメ、ヘラ状工 具痕、ケズリ後相接 ナサ、底部未調整	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR5/6	12号墓	底部外側にスレ状状況あり
24	土師器	壺(蓋)	口径 21.5 底径 19.5 高さ 4.0	天井部 部分	内: 回転ナメ、ナサエ 外: 回転ナメ、天井部 未調整	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/3	12号墓	墨み貼り付け
25	土師器	壺(蓋)	口径 25.2 底径 21.4 高さ 5.2	一部欠損	内: 回転ナメ、ナサエ 外: 型づくり、ケズリ、 脚目、天井部未調整	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/4	12号墓	墨目後端墨み貼り付け 天井部外側面にスレ状状況あり 陶則:「A」の上に「正」の造形

図 番号	遺 物	種類(器種)	法 量(cm)	現 存 部	特 徴	色 調	出 土 場	備 考
13	土師器	盃(身)	口径 202 底径 186 高さ 209	口縁部定形	内: 回転ナギ、工具痕 外: 回転ナギ、ケズリ、 ヘラ状工具痕、底部 中央部未調査	内: Hue 75YR6/6 外: Hue 75YR6/6	12号墓	内面に工具痕がある 円筒式。微削:「政」
	土師器	盃(身)	口径 202 底径 202 高さ 213	一部欠損	内: 回転ナギ、 外: 回転ナギ、ケズリ、 ヘラ状工具、底部未 調査	内: Hue 75YR7/4 外: Hue 75YR7/4	12号墓	
	土師器	盃(身)	口径 246 底径 238 高さ 289	口縁部定形	内: 回転ナギ、斜削のナギ 工具痕 外: 回転ナギ、ヘラ状工 具痕	内: Hue 75YR7/6 外: Hue 75YR7/6	12号墓	瓶頸底部は接合痕あり 底部外側にスレ状痕あり
	土師器	盃(身)	口径 260 底径 212 高さ 201	口縁部定形	内: 回転ナギ、斜削のナギ ナギ、ヘラ状工具痕 外: 回転ナギ、ヘラ状工 具痕、底部未調査	内: Hue 75YR8/4 外: Hue 75YR8/4	12号墓	底部外側にスレ状痕あり
14	陶器	盃(蓋)	口径 125 底径 120 高さ 20	手 次	内: 回転ナギ 外: 回転ナギ	内: Hue 25YR4/4 外: Hue 5Y4/2 糊	糊	糊み部と颈部の片が同一個体 外側に白泥をハケ痕(回転)
	陶器	盃(身)	口径 143 底径 120 高さ 265	一部欠損	内: 回転ナギ、カギ目、 施釉 外: 回転ナギ、ケズリナギ 底部: 回転赤切り出し	内: Hue 75YR3/2 外: Hue 5YR5/2 糊	8号墓、95号墓 上端、底辺一括	糊焼成(自脱き取り)。波文(白 泥と白泥から脱き取り) 底部外側と口縁部に糸掛付着
	陶器	盃(身)	口径 82 底径 47	底部付	内: 回転ナギ、施釉 外: 回転ナギ、ケズリ出し 施釉	内: Hue 25Y7/4 外: Hue 25Y7/4	13号墓	
	陶器	碗	口径 37 底径 70 高さ 18.5	宋 形	内: 回転ナギ 外: 回転ナギ、タキ状直 高台ケズリ出し	内: Hue 75YR3/2 外: Hue 75YR3/2 糊	112号墓	施釉の銀灰色をハケ塗りし、肩 部に白泥の波文状 糊合: 2号と9号上の取りあひ 底部に糸掛付着
15	陶器	瓶	口径 35 底径 66 高さ 18.5	定 形	内: 回転ナギ 外: 回転ヘラケズリ、施釉 底部ケズリ出し	内: Hue 25YR3/2 外: Hue 25GY6/1	112号墓	施釉 底部に糸掛付着
	ガラス製品	ワイン瓶	口径 62 底径 55	口縁部定形	内: 外:	内: Hue 75Y4/3 外: Hue 75Y4/3	42号墓	重吹き技術(気泡が入る) 瓶底: 施釉のうなぎ痕あり 内面: 口沿部の痕跡あり
	ガラス製品	墨 瓶	口径 32 底径 70 高さ 18.5	口縁部定形	内: 外:	内: ブルー 外: ブルー	119号墓	飛翔鳥(若干の凹凸あり) 底部近に合せ目があり 底部外側に接合痕の痕跡あり
	ガラス製品	墨 瓶	口径 30 底径 10.5 高さ 14.5	宋 形	内: 外:	内: Hue 75YR5/9 外: Hue 75YR5/9	143号墓	全体に多く波文を含む 糊部周囲に酒巻き状ヌメリ 底部に飛翔:「\$」
16	ガラス製品	墨 瓶	口径 4.0 底径 1.65 厚さ 1.05	宋 形	内: 外:	内: Hue 10G1/2/1 外: Hue 10G1/2/1	143号墓	糸掛付着
	磁器	碗	口径 45 底径 40.5	口縁部分	内: 施釉 外: 施釉	内: Hue 5GY8/1 外: Hue 5GY8/1	19号墓	肥前系。糸掛け 内面: 茶文 外面: 面模・楕文?
	磁器	碗	口径 14 底径 12 高さ 10	口縁部分	内: 施釉 外: 施釉	内: Hue 10Y7/1 外: Hue 10Y7/1	99号墓	脚板刷。独下窓(桃色) 外側: 織文
	陶器	粗 瓜	口径 47 底径 14 高さ 17	手 次	内: 塗絵こし? 外: 塗絵こし?	内: Hue 10Y8/1 外: Hue 10Y8/3 糊	164号墓	内面から外面上方に施釉(白釉) 真人あり
17	磁器	杯	口径 7.1 底径 4.2 高さ 2.7	宋 形	内: 施釉、貼付け 外: 施釉、高台底に一部 背面部凹	内: Hue 10Y9/1 外: Hue 10Y9/1	42号墓	色绘(金・青・黒・赤) 内面: 山と花文、文字「天下春」 [一□]
	磁器	小 瓶	口径 18.15 底径 3.65 高さ 3.5	半 次	内: 施釉、贴付け 外: 施釉、贴付け	内: Hue 58/0 外: Hue 58/0	43号墓	色绘(金・青・緑) 外側: 草文 内面: 不明
	磁器	碗	口径 4.6 底径 4.8 高さ 2.6	底部分	内: 施釉 外: 施釉	内: Hue 5GY8/1 外: Hue 5GY8/1	67号墓	染付け 内面: 一重綾目文 外側: 二重綾目文
	磁器	碗?	口径 4.9 底径 3.11	底部分	内: 施釉 外: 施釉	内: Hue 5GY8/1 外: Hue 5GY8/1	84号墓	染付け 内面: 面模、波文、波文 外側: 面模
18	磁器	碗?	口径 22 底径 17	底部分	内: 施釉 外: 施釉	内: Hue 5GY8/1 外: Hue 5GY8/1	167号墓	染付け 外側: 面模、草文
	土師器	小 瓶	口径 6.1 底径 4.0 高さ 1.1	底部分	内: 回転ナギ 外: 回転ナギ、回転未切 底部	内: Hue 75YR7/6 外: Hue 75YR7/6	29号墓	
	土師器	小 瓶	口径 6.1 底径 4.0 高さ 0.9	口縁部~ 底部分	内: 回転ナギ 外: 回転ナギ、回転未切 底部	内: Hue 75YR7/6 外: Hue 75YR7/6	27号墓	口縁の一部にスス付着
	土師器	小 瓶	口径 2.3 底径 1.25 高さ 0.9	底部分	内: 回転ナギ 外: 回転ナギ、回転未切 底部	内: Hue 75YR7/4 外: Hue 75YR7/4	29号墓 1箱	内面中心部に重ねた粘土痕あ り
19	土師器	小 瓶	口径 2.2 底径 1.2 高さ 0.9	手 次	内: 回転ナギ 外: 回転ナギ、回転未切 底部	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	25号墓	
	土師器	小 瓶	口径 2.2 底径 1.2 高さ 0.9	口縁部?	内: 2重手牛 外: 2重手牛	内: Hue 10YR7/2 外: Hue 10YR7/2	94号墓	

回	番号	遺物	種類(断面)	法寸(cm)	残存部	特徴	色 調	出土遺構	備 考
15	52	磁器	碗	口径 29 深さ 5.5 厚さ 5.5	手 欠	内: 磁釉 外: 地釉	内: Hse 5GYR-1 外: Hse 5GYR-1	灰土一括	兔付 外面: 草文 接合痕跡あり
	53	磁器	碗	口径 60 底径 24 厚さ 4.6	変 形	内: 磁釉 外: 地釉	内: 白色 外: 白色	灰土一括	スクリーン通過(コハラト) 外面: 花文、文字「孝山」
	54	磁器	碗	口径 92 底径 32 厚さ 4.2	手 欠	内: 磁釉 外: 地釉	内: Hse 58-0 外: Hse 58-0	被覆	1940年代子ども用茶碗 外面: ゼロ波と太泡、圓線
	55	磁器	碗	口径 42 底径 42 厚さ 4.2	底部片	内: 磁釉 外: 地釉	内: Hse 25GYR-1 外: Hse 25GYR-1	硝煙一括	肥前系 外面: 草文、二重線、圓線 外側: 亂刷目文、コニニヤタ文
	56	陶器	碗	口径 385 底径 355 厚さ 35	底部片	内: 磁釉 外: 地釉ナマ、ケズリ	内: Hse 10YR5-6 外: Hse 10YR7-4	灰土一括	
	57	磁器	豆皿	口径 129 底径 73 厚さ 26	豆皿形	内: 磁釉 外: 地釉	内: Hse N8-0 外: Hse N8-0	112号墓、被覆	色绘(緑、青、白、本、黒) 外面: 草文、文字「秀山」
	58	磁器	豆皿	口径 120 底径 60 厚さ 30	豆皿部~ 底部片	内: 磁釉 外: 地釉	内: Hse 5GYR-1 外: Hse 5GYR-1	灰土一括	肥前系、兔付 外面: 雨滴、草文 外側: 草文
	59	磁器	豆皿	口径 182 底径 131 厚さ 35	豆皿部~ 底部片	内: 磁釉 外: 地釉	内: Hse 白色 外: Hse 白色	被覆	肥前系、兔付 外面: 雨滴、草文 外側: 草文
	60	陶器	大 盆	口径 118 底径 74 厚さ 1.6	豆皿部片	内: 回松チザ 外: 回松チザ	内: Hse 5YR-1 外: Hse 5YR-1	灰土一括	肥前系、一高平 13號窯場前庭象嵌 内側: 刻文
	61	陶器	小 盆	口径 84 底径 30 厚さ 2.25	豆皿部~ 底部片	内: 磁釉 外: 地釉	内: Hse 25YR-3 外: Hse 25YR-3	灰土一括	肥前系系鉢本、白土集鉢 外面: 花文と雨文
	62	陶器	火 入	口径 56 幅 63 厚さ 6.3	ほぼ完形	内: 回松チザ 外: 回松チザ、ケズリ	内: Hse 10YR7-4 外: Hse 10YR7-4	灰土一括	外面: 3面に白色絵
16	63	土製品 (磁器軸用)	破片面子	長さ 19 幅 205 厚さ 0.55	側部片	内: 外:	内: Hse 10YR-1 外: Hse 10YR-1	35号墓	重量 28g
	64	土製品 (磁器軸用)	破片面子	長さ 18 幅 20 厚さ 0.3	豆皿部	内: 外:	内: Hse 10YR-1 外: Hse 10YR-1	68号墓	重量 18g
	65	土製品 (磁器軸用)	破片面子	長さ 185 幅 185 厚さ 0.28	側部片	内: 外:	内: Hse 10YR-1 外: Hse 10YR-1	灰土一括	重量 16g
	66	土製品 (磁器軸用)	破片面子	長さ 165 幅 175 厚さ 0.3	側部片	内: 外:	内: Hse 10YR-1 外: Hse 10YR-1	硝煙一括	重量 13g
	67	土製品 (磁器軸用)	破片面子	長さ 245 幅 285 厚さ 0.65	側部片	内: 外:	内: Hse 10YR-1 外: Hse 10YR-1	36号墓	重量 49g
	68	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 245 幅 265 厚さ 1.25	側部片	内: 外:	内: Hse 10YR3-3 外: Hse 10YR3-4	40号墓	重量 122g
	69	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 21 幅 19 厚さ 0.69	側部片	内: 外:	内: Hse 10YR3-3 外: Hse 3YR-2	42号墓	重量 62g
	70	土製品 (信濃質土器軸用)	破片面子	長さ 225 幅 245 厚さ 0.65	側部片	内: 外:	内: Hse 25YR-2 外: Hse 25YR-2	43号墓	重量 53g
	71	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 230 幅 275 厚さ 0.65	側部片	内: 外:	内: Hse 5YR-1 外: Hse 5YR-2	45号墓	重量 82g
	72	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 24 幅 21 厚さ 0.75	側部片	内: 外:	内: Hse 10YR2-1 外: Hse 10YR2-2	46号墓	重量 53g
	73	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 255 幅 285 厚さ 1.25	側部片	内: 外:	内: Hse 75YR5-2 外: Hse 75YR8-1	112号墓	重量 126g
	74	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 195 幅 195 厚さ 0.75	側部片	内: 外:	内: Hse 25YR7-2 外: Hse 25YR7-2	158号墓	重量 39g
	75	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 205 幅 32 厚さ 0.66	側部片	内: 外:	内: Hse 10YR3-3 外: Hse 10YR3-3	166号墓	重量 49g
	76	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 23 幅 225 厚さ 0.85	側部片	内: 外:	内: Hse 75YR2-1 外: Hse 10YR3-3	171号墓	重量 55g
	77	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 31 幅 29 厚さ 0.65	側部片	内: 外:	内: Hse 25YR-2 外: Hse 10YR3-3	172号墓	重量 89g
	78	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 34 幅 28 厚さ 0.75	側部片	内: 外:	内: Hse 25YR-3 外: Hse 5YR-2	172号墓	重量 102g
	79	土製品 (陶器軸用)	破片面子	長さ 37 幅 225 厚さ 0.75	側部片	内: 外:	内: Hse 75YR2-1 外: Hse 75YR2-2	172号墓	重量 126g

## 熊本県中央区黒髪町道路群1309調査地点出土の近代人骨

回	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色・質	出土遺構	備考	
									内:	外:
16	80	土製品 (瓶詰使用)	破片直子	長さ 205 幅 105 厚さ 0.5	別部片	内: 外:	内: Hse 7SYR5-2 外: Hse 7SYR5-2	75号墓	重量: 4g	
	81	土製品 (瓶詰使用)	破片直子	長さ 26 幅 105 厚さ 0.5	別部片	内: 外:	内: Hse 5YR5-2 外: Hse 2SYR5-3	69号墓	重量: 62g	
	82	土製品 (陶器軸用)	破片直子	長さ 215 幅 215 厚さ 0.45	別部片	内: 外:	内: Hse 2SYT7-2 外: Hse 2SYT7-2	清掃一括	重量: 29g	
	83	土製品 (陶器軸用)	破片直子	長さ 195 幅 19 厚さ 0.65	別部片	内: 外:	内: Hse 10YR6-3 外: Hse 10YR7-1	清掃一括	重量: 38g	
	84	ガラス製品	破片直子	長さ 245 幅 19 厚さ 0.45	別部片	内: 外:	内: Hse 7SY4-3 外: Hse 7SY4-3	192号坑	重量: 4g	
	85	土製品	泥直子	長さ 20 幅 20 厚さ 0.8	半欠	背面: 指ナデ 裏面: 烧打ち	内: Hse 10YR6-4 外: Hse 7SYR7-4	123号墓	重量: 3g	
17	86	土師質	粗造不明品	長さ 30 幅 15 厚さ 1.15	完 形	内: 裏面中心部に孔 外: 工具による成形	内: Hse 7SYR6-6 外: Hse 7SYR6-6	堆土一括	花模様 裏面に孔。指印圧痕と爪跡あり	
	87	石製品	用途不明品	長さ (2.3) 幅 (3.1) 厚さ (1.6)	塊 片	内: 外:	内: Hse 外: Hse	112号墓	重量: 23g 2ヶ所穿孔が見られる 欠損の為用途不明	
	88	黒曜石	剥 片	長さ 29 幅 23 厚さ 1.3	不明	内: 外:	内: Hse 外: Hse	172号坑	重量: 81g	
	89	磁 砂	研磨	長さ 42 幅 23 厚さ 0.3	完 形	内: 外:	内: Hse NS-0 外: Hse NS-0	99号墓	重量: 9g	
	90	プラスチック製品	他	長さ 605 幅 厚さ 0.25	半 欠	内: 外:	内: Hse 10YRS-6 外: Hse 10YRS-6	底土一括	重量: 4g	
	91	プラスチック製品	扣	長さ 10 幅 8 厚さ 0.25	完 形	内: 外:	内: Hse NS-0 外: Hse NS-0	19号墓	重量: 0.5g 同形状が他2点	
	92	プラスチック製品	扣	長さ 1.15 幅 0.3 厚さ 0.03	完 形	内: 外:	内: Hse 外: Hse	49号墓	重量: 0.4g	
	93	プラスチック製品	扣	長さ 1.38 幅 0.3 厚さ 0.035	完 形	内: 外:	内: Hse NS-0 外: Hse NS-0	92号墓	重量: 0.9g	
	94	プラスチック製品	扣	長さ 1.35 幅 0.3 厚さ 0.03	完 形	内: 外:	内: Hse NS-0 外: Hse NS-0	100号墓	重量: 0.8g	
	95	貝製品	却	長さ 1.45 幅 0.45 厚さ 0.035	はび完形	内: 外:	表: Hse 10YR8-4 裏: Hse 10YR8-2	71号墓	重量: 0.5g	
	96	剝製品	板状製品	長さ 48 幅 32 厚さ 0.1	完 形	内: 外:	内: Hse 外: Hse	115号墓	重量: 68g 破片「七七」 上下2箇所に孔	
	97	青銅製品	鉄	長さ 4.9 幅 3.3 厚さ 0.25	完 形	内: 外:	内: Hse 外: Hse	16号墓	重量: 19.6g 「天保通寶」	
	98	青銅製品	鉄	長さ 2.4 幅 2.0 厚さ 0.01	完 形	内: 外:	内: Hse 外: Hse	21号墓	重量: 2.8g 「寛永通宝」	
	99	青銅製品	鉄	長さ 2.23 幅 0.9 厚さ 0.01	完 形	内: 外:	内: Hse 外: Hse	86号墓	重量: 3.6g 「大日本」「大正九年」「一鉄」	
18	100	鉄製品	和 釘 (舟釘)	長さ 9.9 幅 1.7 厚さ 0.5	日本定期	内: 外:	内: Hse 外: Hse	17号墓	重量: 21g	
	101	鉄製品	和 釘	長さ 7.65 幅 0.45 厚さ 0.25	一部欠損	内: 外:	内: Hse 外: Hse	15号墓	重量: 4.9g	
	102	鉄製品	和 釘 (頭巻釘)	長さ 5.25 幅 0.5 厚さ 0.4	一部欠損	内: 外:	内: Hse 外: Hse	24号墓	重量: 4.1g	
	103	鉄製品	和 釘 (平頭釘)	長さ 4.35 幅 0.55 厚さ 0.45	半 欠	内: 外:	内: Hse 外: Hse	168号坑	重量: 4.6g	
	104	鉄製品	洋釘	長さ 6.4 幅 0.55 厚さ 0.55	日本定期	内: 外:	内: Hse 外: Hse	113号墓	重量: 1.9g	
19	105	鉄製品	修伏製品	長さ 12.2 幅 0.6 厚さ 0.06	完 形 (變形)	内: 外:	内: Hse 外: Hse	112号墓	鐵修伏釘、裏面に木質付着 重量: 230g	
	106	鉄製品	缶	口径 198 底径 197 高さ 5.8	半 欠	内: 外:	内: Hse 外: Hse	112号墓	鐵修伏缶、木質付着 重量: 145g	
	107	鉄製品	缶	口径 198 底径 197 高さ	半 欠	内: 外:	内: Hse 外: Hse	143号墓	重量: 98.0g	

回	番号	遺物	種類(器種)	遺留(cm)	埋存層	特徴	色	周	出土遺構	備考
19	108	鉄製品	缶	11洋 底径 8.0 厚さ 0.5	底部片 内:外:	内: Hue 外: Hue	143号墓			重量 960 g
	109	鉄製品	缶?	長さ 6.8 幅 3.5 厚さ 0.5	141P定形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	6号墓		重量 164 g
	110	鉄製品	缶	長さ 17.0 幅 11.7 厚さ 0.8	不明 内: 外:	内: Hue 外: Hue	109号墓上層			重量 1150 g
20	111	鉄製品	板状製品	長さ 19 幅 1.9 厚さ 0.15	不明 内: 外:	内: Hue 外: Hue	109号墓上層			一部に別の鉄片が付着。鐵錆付有 あり(残りは黒い) 重量 198 g
	112	鉄製品	板状製品	長さ 19 幅 1.9 厚さ 0.2	不明 内: 外:	内: Hue 外: Hue	109号墓上層			内側に鐵錆付有。内側に別の鉄片 付有 重量 264 g
	113	鉄製品	環状製品	長さ 10.5 幅 4.4 厚さ 0.2	141P定形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	109号墓上層		鐵錆付有 重量 785 g
114	114	鉄製品	板状製品	長さ 42.5 幅 2.0 厚さ 0.2	不明 内: 外:	内: Hue 外: Hue	109号墓上層			全体を鐵錆製品で覆っている 重量 570 g
	115	鉄製品	板状製品	長さ 13.0 幅 2.1 厚さ 0.2	不明 内: 外:	内: Hue 外: Hue	109号墓上層			鐵錆付有 重量 334 g
	116	鉄製品	板状製品	長さ 20 幅 2.0 厚さ 0.15	不明 内: 外:	内: Hue 外: Hue	109号墓上層			全体的に鐵錆付有 重量 222 g
117	117	鉄製品	板状製品	長さ 20.8 幅 2.0 厚さ 0.13	不明 内: 外:	内: Hue 外: Hue	109号墓上層			全体的に鐵錆付有がみられる 重量 272 g
	118	ガラス製品	数珠玉	長さ 5.5 幅 2.0 厚さ	一部欠損 内: 外:	内: Hue 外: Hue	19号墓			黒 590点、白玉8点以上(一部プラ スチック製か) 重量 17.2 g
	119	貝	ハマグリ		一部欠損 内: 外:	内: Hue 外: Hue	112号墓			5点(破片除く)、風化 重量 131 g
	120	石製品	玉		完形 内: 外:	内: Hue 外: Hue	153号坑			重量 4.4 g

## Summary

In 1985, Kumamoto University planed a reconstruction of campus. But it was known that some of campus are designated as buried cultural assets zone. In the fiscal year 1994, Kumamoto University formed the Archaeological investigation committee and the Research Center for buried Cultural Properties in haste. and has been excavating the campus sites when the superannuated school buildings were rebuilt.

We have two main campus sites at other areas. The one is the Kurokami area where is constituted of faculty of Science and faculty of Engineering (south area) . faculty of Education, faculty of Law, and faculty of Letters (north area) and locates in Kurokamimachi site. The site is located at the foot of Mt.Tatuta on a low terrace formed by the Shirakawa River. The site is regarded as an ancient posting-station "Kokai". The other one is the Honjo area where is constituted of School of Medicine, Kumamoto University hospital and institutes (north and middle area), school of Health Science (south area), and belong to Honjo site. The site located on a low terrace formed by Shirakawa River, similar to Kurokamimachi site. It is 2km from Kurokamimachi site to Honjo site in a straight line.

In the circumstance of Honjo site, there are large ancient settlement sites like Oe site and Shinyashiki site. School of Pharmacy and Oe athletic field (Toroku area) belong to Oe site. Kyomachi area where is constituted Elementary School and Junior High School Attached to faculty of Education is belong to Kyomachidai site. The site is located on the Kyomachi plateau, and is famous for as the site of Yayoi period.

The result of the No.1309 in Kurokami South area where was investigated in the fiscal year 2013 is published in this report. No.1309 is located the edge of southwest in Kurokami South area. The investigated area is surrounded by the building of faculty of Engineering, such us Venture Labatory, Shock Wave and Condensed Matter Research Building and Incubation Center. In a previous survey, we discovered the field and graves in Edo period and modern graves. So we expected that there will be remains what is good condition in this investigation too.

By the result of this survey, we discovered the field remains in Late Edo period in west of investigation area on about 2.5m under the ground. And, we found over 100 burial pits what is The Kumamoto Prison from middle Meiji period to about Taisho period in east of investigation area on the same level. The depth of burial pits is about 1.8m and was formed cylindrical shape, almost human bones was buried sitting down. The burial facility was not survived, but we could think there were troughs or wooden coffins because of the modern literature and discovered iron nails in some graves. More than 90% of the human bones were males, and females were less than 10%. We got some burial goods in the grave with human bone, for example, bottles made by glazed stoneware and the sake cup and glass bottles, coins, iron implements, shellfish, string of beads. These situations indicated that feature of graves of prisoner in modern. In Kurokami area, the grave of Kumamoto Prison had been operated from 1881 to 1972. While the area of Kumamoto University is expanding, the area of the grave was incorporated in 1972. Now, there is the temple of Kumamoto Prison what human bones were gathered at the south of the investigation area.

## 概 要

1985 年，熊本大学曾计划过现在校园的重建开发项目。然而得知校园内几个地区是被指定的地下文物的埋藏地。1994 年，熊本大学作为考古研究机构迅速成立了文物保护研究所，在重建老朽化建筑物时，对校园地下进行挖掘调查。

大学有两个主要的校区。第一个是属于黑发町遗迹群的黑发校区。黑发校区由教育学部、法学部、文学部（北地区）、工学部和理学部（南地区）组成。遗迹位于立田山的山脚下，在白川形成的低阶地位置，推断古代的车站「養」站就是在这。

另一个是属于本庄遗迹群的本庄校区。本庄校区由熊本大学附属病院（北地区）、熊本大学医学部（中地区）、保健学科（南地区）组成。遗迹位于白川的低位阶地上，与黑发町遗迹群类似。黑发町遗迹群和本庄遗迹直线距离相隔 2 公里。本庄遗迹的周围有大江遗迹群和新屋敷遗迹，都是巨大的古代村落遗迹。熊本大学的药学部和运动场（渡鹿地区）都属于大江遗迹群。教育学部附属小学校和中学校所在地京町地区属于京町台遗迹群。遗迹是位于京町台地上，作为弥生時代的遗迹非常有名。

本报告书是记载了 2013 年度被调查的 1309 调查地点的挖掘调查成果。1309 调查地点位于黑发南地区的南西端，是白川河堤自然堤防最突出的位置。调查地点周围是被冲击实验楼和工学部的设施等。在以往的调查中，从周边发现了江户时代的田地、墓穴和近代墓地。预计在这次的调查中，遗迹会保留的很好。

调查结果发现在离地表大约 2.5 米，在调查区西侧发现了被认为是近代后期的田地遗迹。另外在调查区东侧同一水平位置，发现了明治中期至大正时期的作为熊本监狱和监狱所墓地的 100 多座土坑墓地。土坑墓，深度约 1.8 米的圆柱状，大部分的人骨都是以坐姿状态被埋葬的。被发现的人骨 90% 以上都是男性，女性不到 10%。发现墓地的随葬品有陶器瓶、瓷器杯、玻璃瓶、钱币、铁制品、念珠、贝壳等。从以上情况可以看出近代囚犯墓地的特征。熊本监狱、监狱所墓地的运营是从明治 14 年到昭和 47 年。在熊本大学不断扩大的过程中，昭和 47 年墓地占地被熊本大学收进。现在合葬墓也集聚在庙里，位于调查地点的南边。



# 写 真 図 版





写真1 近代土坑墓群検出状況（北より）



写真2 近世窯址検出状況（北より）

図版2 1309調査地点



写真3 調査区南壁土層断面1（北より）



写真4 調査区南壁土層断面2（北より）



写真5 調査区南壁土層断面3（北より）



写真6 松下孝幸先生指導風景



写真7 松下孝幸先生人骨取り上げ風景

図版3 1309調査地点



写真8 1号墓蔵骨器出土状況（方位不明）



写真9 2号墓蔵骨器出土状況（方位不明）



写真10 3号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

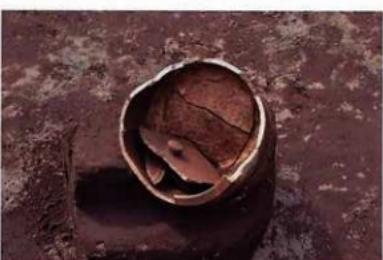


写真11 4号墓蔵骨器出土状況（方位不明）



写真12 5号墓蔵骨器出土状況（方位不明）



写真13 7号墓蔵骨器出土状況（方位不明）



写真14 9号墓蔵骨器出土状況（方位不明）



写真15 10号墓蔵骨器出土状況（方位不明）

図版4 1309調査地点



写真16 11号墓蔵骨器出土状況（南より）



写真17 12号墓蔵骨器出土状況（北より）



写真18 13号墓蔵骨器出土状況（方位不明）



写真19 14号墓人骨出土状況（方位不明）



写真20 16号墓人骨出土状況（方位不明）



写真21 16号墓銭出土状況（方位不明）



写真22 17号墓人骨出土状況（方位不明）



写真23 18号墓人骨出土状況（方位不明）



写真24 19号墓人骨出土状況（方位不明）



写真25 20号墓人骨出土状況（方位不明）



写真26 21号墓人骨出土状況（方位不明）



写真27 22号墓人骨出土状況（方位不明）



写真28 24号墓人骨出土状況（方位不明）

図版6 1309調査地点



写真29 26号墓人骨出土状況（方位不明）



写真30 29号墓人骨出土状況（方位不明）



写真31 30号墓人骨出土状況（方位不明）



写真32 32号墓人骨出土状況（方位不明）



写真33 33号墓人骨出土状況（方位不明）



写真34 34号墓人骨出土状況（方位不明）



写真35 35号墓人骨出土状況（方位不明）



写真36 36号墓人骨出土状況（方位不明）



写真37 37号墓人骨出土状況（方位不明）



写真38 41号墓人骨出土状況（方位不明）



写真39 42号墓人骨出土状況（方位不明）



写真40 45号墓人骨出土状況（方位不明）



写真41 46号墓人骨出土状況（方位不明）



写真42 48号墓人骨出土状況（方位不明）



写真43 51号墓人骨出土状況（方位不明）



写真44 56号墓人骨出土状況（方位不明）

図版8 1309調査地点



写真45 58号墓人骨出土状況（方位不明）



写真46 60号墓人骨出土状況（方位不明）



写真47 61号墓人骨出土状況（方位不明）



写真48 62号墓人骨出土状況（方位不明）



写真49 63号墓人骨出土状況（方位不明）



写真50 64号墓人骨出土状況（方位不明）



写真51 65号墓人骨出土状況（方位不明）



写真52 66号墓人骨出土状況（方位不明）



写真53 67号墓人骨出土状況（方位不明）



写真54 68号墓人骨出土状況（方位不明）



写真55 72号墓人骨出土状況（方位不明）



写真56 73号墓人骨出土状況（方位不明）



写真57 74号墓人骨出土状況（方位不明）



写真58 75号墓人骨出土状況（方位不明）



写真59 76号墓人骨出土状況（方位不明）



写真60 80号墓人骨出土状況（方位不明）

図版10 1309調査地点



写真61 81号墓人骨出土状況（方位不明）



写真62 82号墓人骨出土状況（方位不明）



写真63 83号墓人骨出土状況（方位不明）



写真64 83号墓纖維検出状況（方位不明）



写真65 84号墓人骨出土状況（方位不明）



写真66 84号墓纖維検出状況（方位不明）



写真67 85号墓人骨出土状況（方位不明）



写真68 96号墓人骨出土状況（方位不明）



写真69 109号墓鉄製品出土状況（方位不明）



写真70 111号墓人骨出土状況（方位不明）



写真71 112号墓遺物出土状況（方位不明）



写真72 115号墓青銅製品出土状況（方位不明）



写真73 120号墓人骨出土状況（方位不明）



写真74 136号墓人骨出土状況（方位不明）



写真75 142号墓人骨出土状況（方位不明）



写真76 143号墓鉄製品出土状況（方位不明）

図版12 1418調査地点

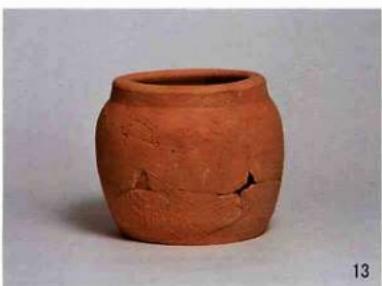
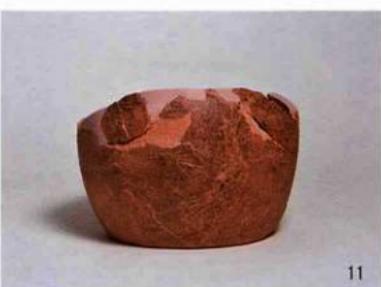
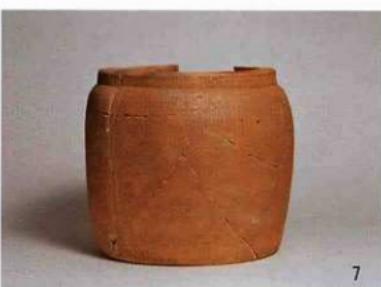
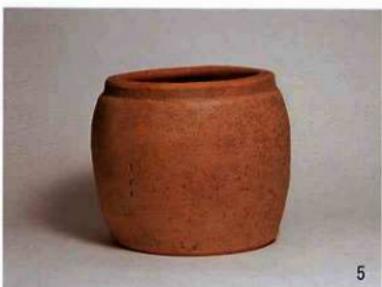
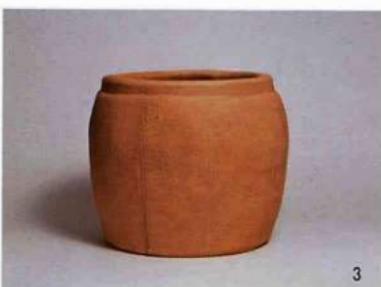
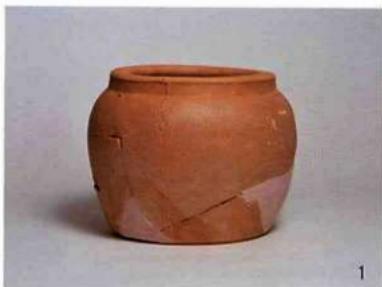


写真77 近代土坑墓検出状況（南より）

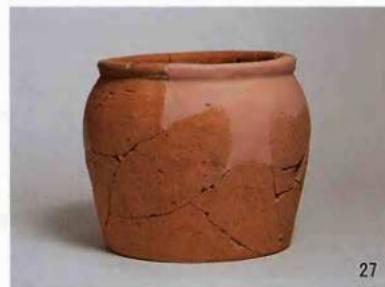
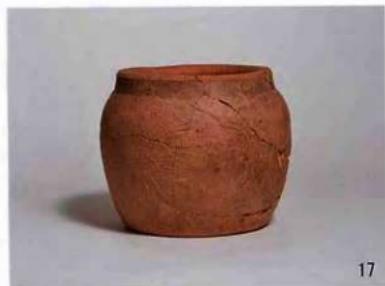


写真78 調査区南壁土層断面（北より）

図版13 1309調査地点出土遺物 1



图版14 1309调查地点出土遗物2



図版15 1309調査地点出土遺物3



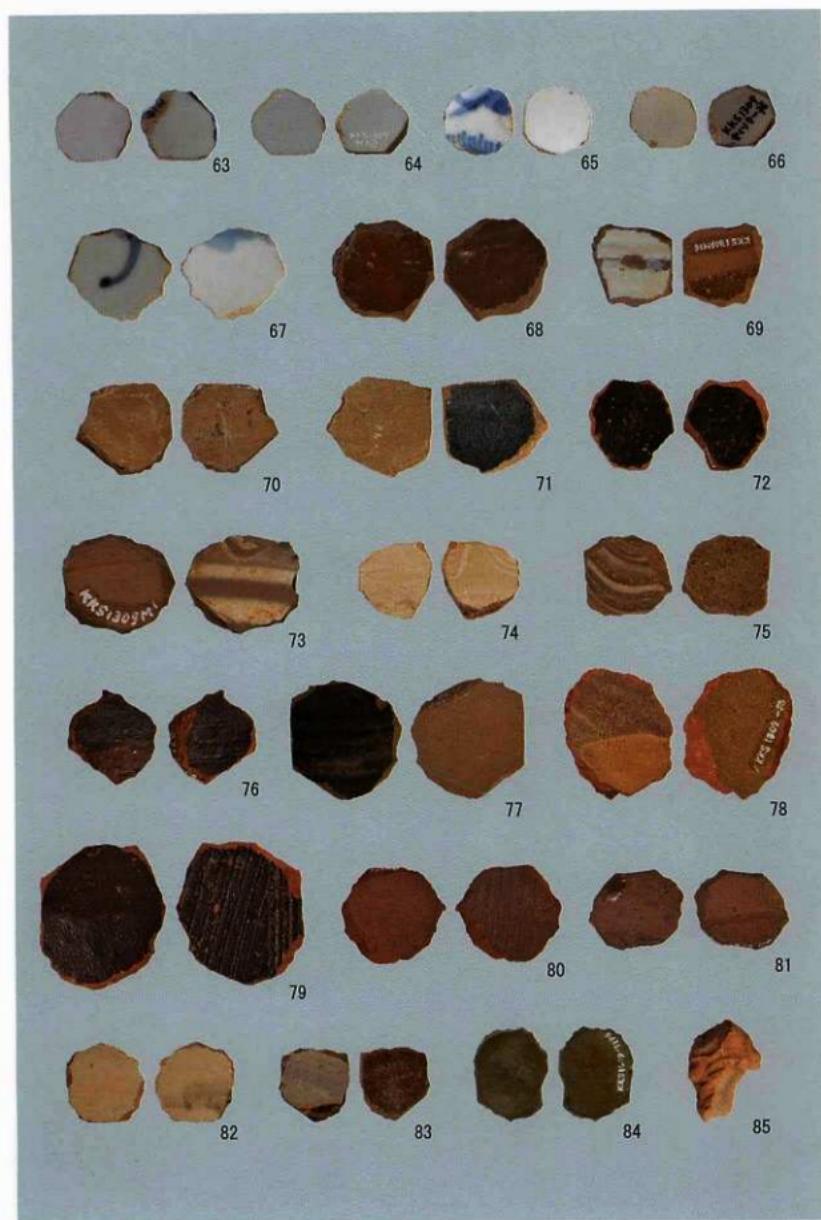
図版16 1309調査地点出土遺物4



図版17 1309調査地点出土遺物5



図版18 1309調査地点出土遺物6



圖版19 1309調查地點出土遺物 7



86



87



88



89



90



91



92



93



94



95



38



96



97



98



99



118

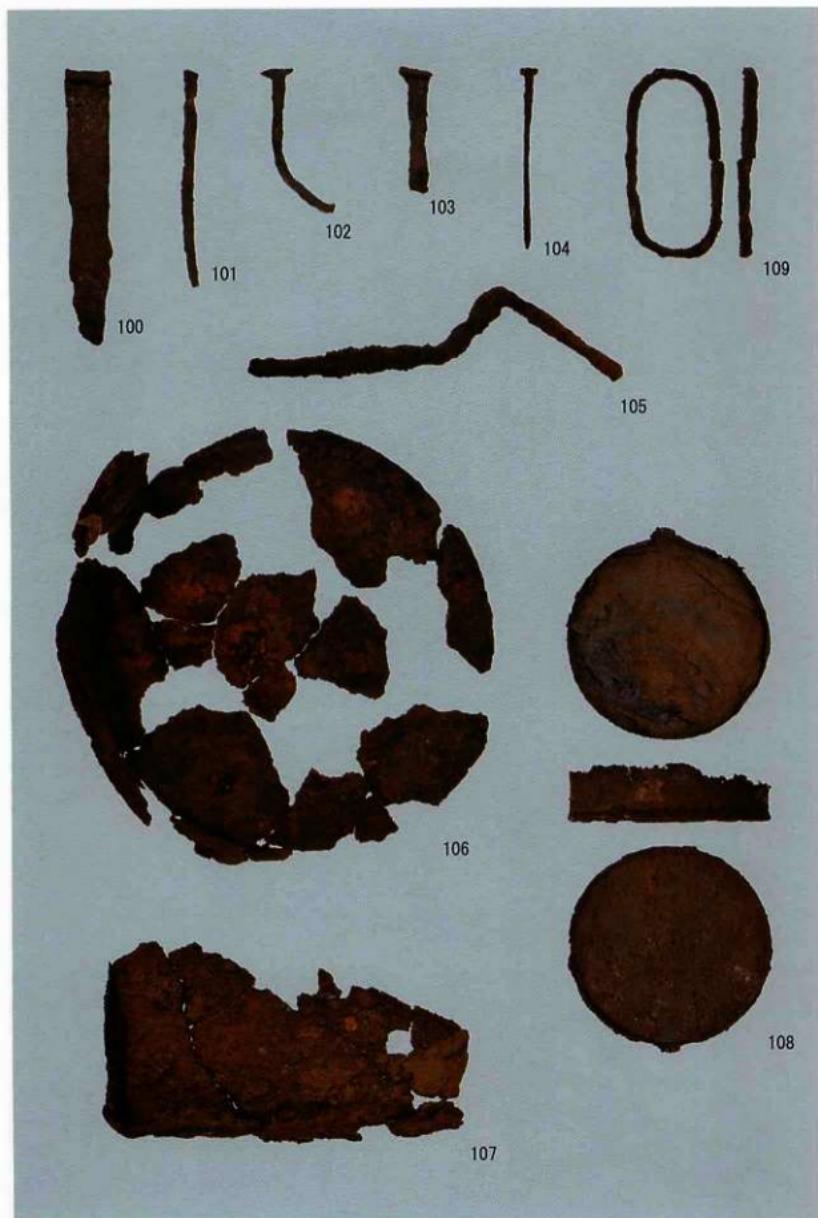


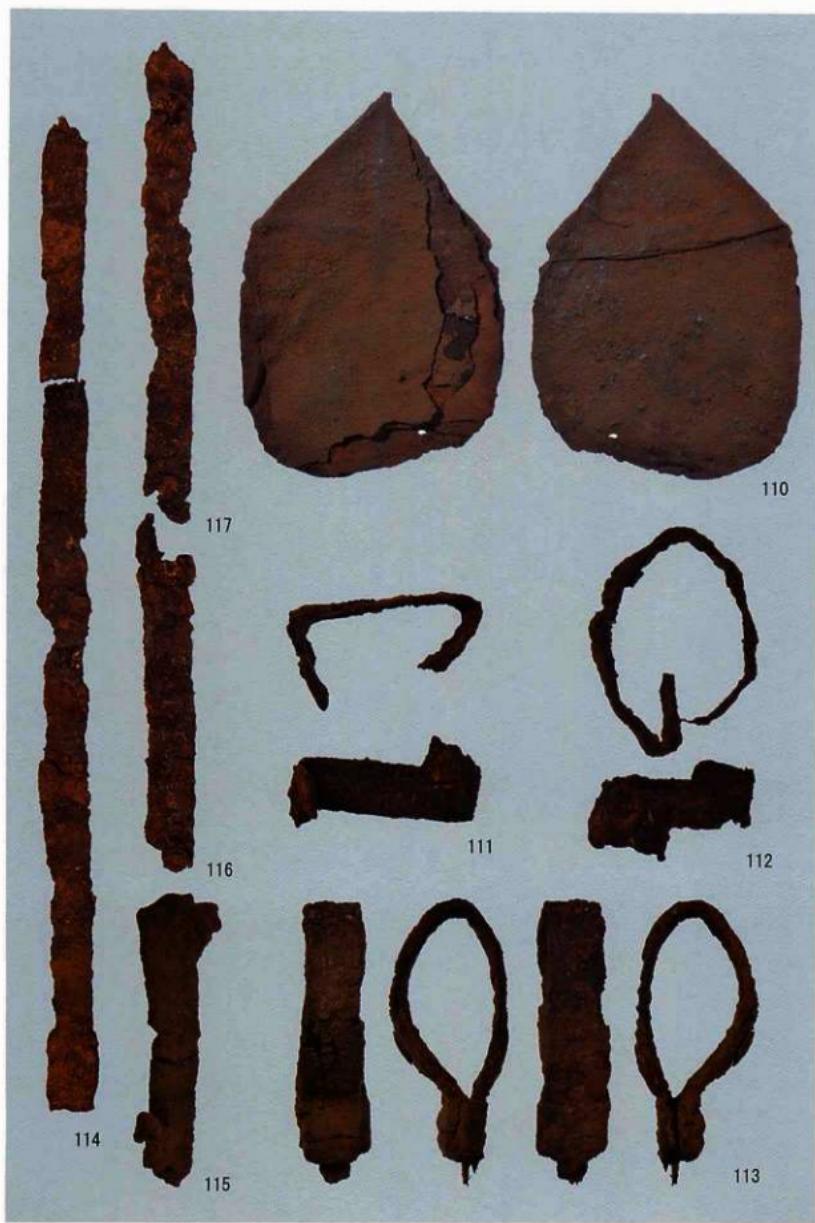
119



120

図版20 1309調査地点出土遺物8







## 報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないいせきはつくつちょうさはうこく							
書名	熊本大学構内道路発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ号	13							
編著者名	山野ケン陽・柴田亮							
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒860-8555 熊本駅熊本中央区黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832							
発行年月日	2018年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東經	調査期間	調査面積	調査原因
	市町村	遺跡番号						
黒髪町遺跡群 (1309地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48° 43°	130° 43° 36°	20130808 ~ 20131004	640m <sup>2</sup>	学校敷地内の開発事業に伴う
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
黒髪町遺跡群 (1309地点)	集落址	近世・近代	烟灰・墓	磁器・陶磁器・ガラス瓶・面子・錢・銭製品・故珠			熊本監獄・刑務所の墓	

---

---

熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第13集

熊本大学構内遺跡発掘調査報告 XIII

(2013年度：1309調査地点)

平成30年3月26日 印刷

平成30年3月31日 発行

編集・発行 熊本大学埋蔵文化財調査センター

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1

TEL 096(342)3832 FAX 096(342)3832

印 刷 シモダ印刷株式会社

---

---







